

ホンジュラス国  
社会統合副省 (SSIS)

ホンジュラス国  
金融包摂を通じた CCT 受給世帯の  
生活改善・生計向上プロジェクト  
事業完了報告書

2020 年 4 月

独立行政法人  
国際協力機構 (JICA)

株式会社 かいはずマネジメント・コンサルティング

ガ平
JR
20-019



## プロジェクト関連写真（活動展開の写真）



プロジェクト対象市における参加世帯（最貧困層）の零細ビジネス（生業活動）の様子  
（左：ラス・ベガス市村落部のパン作り、右：首都テグシガルパの零細商店）



プロジェクト対象市における参加世帯（最貧困層）向け研修の様子  
（左：テグシガルパ市の販売用軽食作り研修、  
右：国家銀行保険委員会職員を招いてのビジャ・デ・サンフランシスコ市の金融教育）



プロジェクト対象市以外に広がった活動の様子  
（左：バジェ県アラメシナ市での家計管理研修、中央：地域統合室長等との打合せ、右：サンタ・バル  
バラ県サンタ・リタ市における民間金融機関との協力による金融口座開設促進イベント）



金融セクター向け第三国研修と事前勉強会の様子  
（左：パラグアイ中央銀行での講義、右：第三国研修前のホンジュラス国内での事前勉強会）



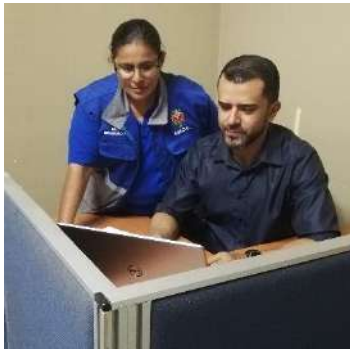
相手国関係者との様々な作業の様子  
 (左：金融機関での勉強会、中央：世帯調査、右：社会統合副省関係者との意見交換会)



社会統合副省 (SSIS) における  
 プロジェクト推奨モデルの内容検討



社会統合副省 (SSIS) 脆弱層支援部  
 とのプロジェクト内容の勉強会



テグシガルバ市庁舎内に設置された  
 本プロジェクトのオペレーション執務室  
 (対象5市の各自治体の庁舎内に、  
 執務スペースが設置された)



本プロジェクト立ち上げ式での取材の様子  
 (2015年7月)

## プロジェクト関連写真 (現地関係機関の写真)



ビジャ・デ・サンフランシスコ市庁舎



オクシデンテ銀行ラス・ベガス支店



プロジェクト関係地図  
(ホンジュラス全土地図と対象5市の位置)



<http://www.ezilon.com/maps/north-america/honduras-maps.html>

為替レート

1米ドル=24.3057 Lps. (ホンジュラスレンピーラ) =110.58 円  
(→1 レンピーラ=約 4.55 円)

(2020年2月20日現在、OANDA)

## 略語表

略語	正式表記（英語又は西語）	和文
ACTIVO	Ahorro, Cuenta Financiera, Trabajo e Ingreso para la Vida Optimizada	より良い生活のための貯蓄・口座・労働・収入（本プロジェクト推進のモデル名称）
AMHON	Asociación de Municipios de Honduras	全国市長会
AHIBA	Asociación Hondureña de Instituciones Bancarias	ホンジュラス銀行協会
BANRURAL	Banco de Desarrollo Rural	農村開発銀行（正式表記の和訳。民間銀行。この報告書では通称に則り「バンルラル」と表記する。）
BOP	Base of the Pyramid	BOP（人口ピラミッドの基礎部分）
BVM	Bono Vida Mejor	より良い生活のための給付金（ホンジュラスの条件付き給付金）
CCT	Conditional Cash Transfer	条件付き給付金
CEPROBAN	Centro de procesamiento interbancario	銀行間取引センター
CGAP	Consultative Group to Assist the Poor	貧困層支援諮問機関
CNBS	Comisión Nacional de Banco y Seguros	国家銀行保険委員会
CONSUCOOP	Consejo Nacional Supervisor de Cooperativas	国家協同組合監督委員会
CREDISOL	Fondo para el Desarrollo Local de Honduras	ホンジュラス地域開発基金（小規模金融実施機関。本報告書では通称に則りクレディソルと表記する。）
ENIF	Estrategia Nacional de Inclusión Financiera	国家金融包摂戦略
FACACH	Federación de Cooperativas de Ahorro y Crédito de Honduras	ホンジュラス信用組合連合会
FINSOL	Financiera Solidaria	連帯金融会社（小規模金融実施機関。本報告書では通称に則りフィンソルと表記する。）
IDB	Inter-American Development Bank	米州開発銀行
IDH	Instituto para el Desarrollo Hondureño	ホンジュラス開発機構（小規模金融実施機関）
JCC	Joint Coordination Committee	合同調整委員会
JICA	Japan International Cooperation Agency	独立行政法人国際協力機構
MFS	Mobile financial service	モバイル金融サービス
OPD	Organización Privada de Desarrollo	民間開発機関（ホンジュラスにおける小規模金融実施機関の一形態）
OPDF	Organizaciones Privadas de Desarrollo Financieras	金融開発民間機関（ホンジュラスにおける小規模金融実施機関の一形態）
PCM	Plan de Desarrollo Comunitario	コミュニティ開発計画
PDM（西）	Plan de Desarrollo Municipal	市開発計画
PDM（英）	Project Design Matrix	プロジェクト・デザイン・マトリックス
RCT	Randomized Controlled Trial	ランダム化比較試験
REDMICROH	Red de Microfinancieras de Honduras	ホンジュラス小規模金融実施機関協会
SEDIS	Secretaría de Desarrollo e Inclusión Social	社会開発包摂省
SEM	Structural Equation Modeling	構造方程式モデリング
SSIS	Sub Secretaría de Integración Social	社会統合副省

## 目次

プロジェクト関連写真	I
プロジェクト関係地図	II
為替レート	II
略語表	IV
<b>本報告書の要旨</b>	1
<b>第1章 プロジェクトの背景</b>	5
1.1 ホンジュラス貧困事情の概要	5
1.2 ホンジュラス社会保護政策とプロジェクト相手国実施機関の概要	6
1.3 ホンジュラス地方行政制度概要	8
1.4 ホンジュラスにおける金融包摂事情	9
<b>第2章 プロジェクトの実施方法と投入</b>	12
2.1 プロジェクトの枠組み	12
2.2 プロジェクト実施方法	13
2.3 プロジェクト実施プロセス	16
2.4 プロジェクト実施体制	17
2.4.1 プロジェクト実施のためのチーム体制	17
2.4.2 合同調整委員会 (JCC)	18
2.5 プロジェクト投入実績	19
<b>第3章 プロジェクト活動と目標・成果の達成状況</b>	21
3.1 プロジェクトの成果・効果の全体概要	21
3.2 ACTIVO モデル実施に関わる活動内容と成果	23
3.2.1 ACTIVO モデル適用準備に関わる活動と成果 (2015年2月～2016年3月)	23
3.2.2 ACTIVO モデルのパイロット適用の活動と成果 (2016年4月～2017年5月)	25
3.2.3 対象5市のACTIVO モデル普及展開活動と成果 (2017年6月以降)	28
3.2.4 対象5市外へのACTIVO モデル普及に関わる活動と成果 (2018年以降)	40
3.2.5 社会統合副省によるACTIVO モデル全国展開に関わる活動と成果 (2019年以降)	41
3.3 ACTIVO モデル施策化のための活動と成果	43
3.3.1 実証分析の実施	43
3.3.2 ACTIVO モデル運用ガイドラインの公式化と社会統合副省施策としての展開	44
3.4 ACTIVO モデル実施環境整備のための金融包摂推進活動と成果	45
3.4.1 プロジェクトによる金融包摂推進の内容・方法	45
3.4.2 参加金融機関における取り組み	47
3.4.3 制度面からの金融包摂推進	48
3.5 プロジェクト・デザイン・マトリックス上の目標と成果の達成状況	49
3.6 今後の展望と課題	50
<b>第4章 教訓と提言</b>	51
4.1 ACTIVO モデルの施策化・全国普及に関わる教訓と提言	51
4.2 実証分析方法に関わる教訓と提言	52
4.2.1 ランダム化比較試験 (RCT) 活用に関わる教訓	52
4.2.2 分析方法の適用に関わる技術的な教訓	53
4.2.3 将来の効果事後検証の方法提案	53
4.3 最貧困層女性のエンパワメント推進に関わる教訓と提言	54
4.4 金融包摂推進に関わる教訓と提言	59
4.5 結論	61
<b>付属資料</b>	63

## 付属資料：

1. CCT 受給世帯の生活改善・生計向上を促進するためのガイドライン（ACTIVO モデル運用ガイドライン）（和文）
2. 合同調整委員会（JCC）会合の議事録（計5回分）（英文・西文）
3. 第三国研修参加者リスト
4. 本プロジェクト関連の報道記事写し
5. 最貧困層向け ACTIVO モデル研修教材（西文）
6. ベースライン調査質問票（和訳版）
7. エンドライン調査質問票（和訳版）
8. プロジェクト・デザイン・マトリックス（2018年改訂版）（英文）

## 表：

- 表 1-1 ホンジュラスにおける世帯別 CCT 支給額積算方法（2016年以降）
- 表 1-2 ホンジュラスにおける市、市連合会、県の役割
- 表 1-3 ホンジュラスにおける金融監督・規制機関
- 表 1-4 ホンジュラスにおける主な金融商品・サービス
- 表 1-5 信用組合の金融セクターに占める割合
- 表 2-1 本プロジェクト・デザインの枠組みの概要
- 表 2-2 ACTIVO モデル支援内容
- 表 2-3 プロジェクト対象各市における ACTIVO モデル実施チームの体制概要
- 表 2-4 社会統合副省（SSIS）におけるプロジェクトチームの構成員（2020年2月時点）
- 表 2-5 本プロジェクトの JCC 会合の内容概要
- 表 2-6 第1期（2015年2月～2016年2月）の JICA 専門家現地派遣実績
- 表 2-7 第2期（2016年3月～2017年6月）の JICA 専門家現地派遣実績
- 表 2-8 第3期（2018年8月～2020年4月）の JICA 専門家現地派遣実績
- 表 3-1 最貧困層（CCT 受給世帯）のベースライン調査（2015年6～9月）結果概要
- 表 3-2 パイロット期間を通じて精緻化されたプロジェクト教材
- 表 3-3 対象5市における ACTIVO モデル適用世帯数（2020年1月現在）
- 表 3-4 ビジャ・デ・サンフランシスコ市での世帯の取り組み事例
- 表 3-5 テグシガルパ市バリオ・アバホ地区での世帯の取り組み事例
- 表 3-6 サン・ラファエル市での世帯の取り組み事例
- 表 3-7 ラス・ベガス市での世帯の取り組み事例
- 表 3-8 各市の市街地・村落部別のサブグループ解析結果一覧表
- 表 3-9 家計管理工夫項目数に対する ACTIVO モデルの影響に係る回帰分析結果
- 表 3-10 年間世帯収入への影響に係る回帰分析結果
- 表 3-11 算定される効果量等の一覧表
- 表 3-12 市連合会を通じた ACTIVO モデル普及の主な取り組み（2018年以降）
- 表 3-13 家計管理実践項目数の世帯平均値（共分散分析結果）
- 表 3-14 生計手段数（世帯経済活動数）の平均値（共分散分析結果）
- 表 3-15 本プロジェクトで用いられる計量経済学的・統計的な方法
- 表 3-16 本プロジェクトの第三国研修の内容概要
- 表 3-17 主な ACTIVO モデル参加金融機関の取り組みと成果
- 表 3-18 PDM 指標の達成状況
- 表 3-19 今後の展望と課題
- 表 4-1 実証分析手法の活用に関わる経験（メリットとデメリット）
- 表 4-2 本プロジェクト終了2年後における効果継続性検証のための簡易質問票（例）
- 表 4-3 各支援内容の目標水準達成への影響に関わるロジスティック回帰分析結果
- 表 4-4 インクルーシブビジネス推進に関わる ACTIVO モデル準拠活動事例一覧



図：

- 図① ACTIVO モデルの概要
- 図② ACTIVO モデル形成・施策化を通じた貧困削減の取り組みプロセス
- 図③ ACTIVO モデル普及状況地図
- 図④ ACTIVO モデル適用世帯と未適用世帯との年間世帯収入平均値の比較
- 図 1-1 1日 1.9 ドル（2011 年購買力平価）未満で暮らす人々の割合
- 図 1-2 社会統合副省を中心とする社会開発包摂省の組織図（2020 年 1 月時点）
- 図 1-3 CNBS 監督下金融機関の営業拠点数の推移
- 図 2-1 プロジェクト提唱の ACTIVO モデルとロゴ
- 図 2-2 本プロジェクト推進の最貧困層の極貧脱却の仕組み（ACTIVO モデル）
- 図 2-3 最貧困層のダウンサイドリスク
- 図 2-4 本プロジェクトの実施プロセス
- 図 3-1 ホンジュラス版卒業モデル（ACTIVO モデル）の主な成果・効果
- 図 3-2 ホンジュラス版卒業モデル（ACTIVO モデル）普及展開状況の全体図
- 図 3-3 時系列でみた ACTIVO モデルの実施展開活動
- 図 3-4 第 1 次エンドライン調査結果概要（市街地での結果）
- 図 3-5 第 1 次エンドライン調査結果概要（村落部での結果）
- 図 3-6 ビジャ・デ・サンフランシスコ市でのモデル普及状況地図
- 図 3-7 テグシガルパ市でのモデル普及状況地図
- 図 3-8 サン・ラファエル市でのモデル普及状況地図
- 図 3-9 ラス・ベガス市でのモデル普及状況地図
- 図 3-10 キミスタン市でのモデル普及状況地図
- 図 3-11 CCT 卒業戦略の一環としての社会統合副省（SSIS）の ACTIVO モデル適用手順
- 図 3-12 本プロジェクトを通じた金融包摂推進の取り組み方法
- 図 4-1 ACTIVO モデルに関わるパス図
- 図 4-2 議論参加と家計管理・金融行動等に関するパス図
- 図 4-3 インクルーシブビジネスを踏まえたバリューチェーン考察
- 図 4-4 金融機関に対する最貧困層顧客側イメージ
- 図 4-5 金融包摂に向けた持続可能な金融機関 BOP ビジネス・モデル例
- 図 4-6 金融機関と利用者双方への働きかけ



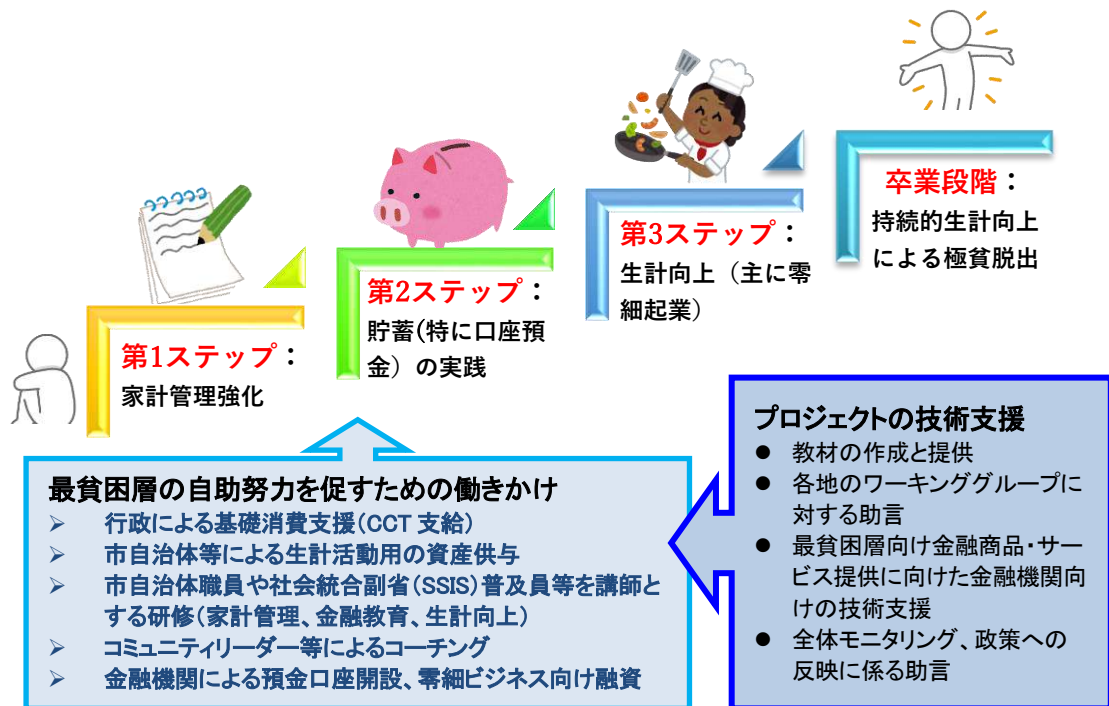
## 本報告書の要旨

中米ホンジュラスは、中南米カリブ地域において最も貧困が深刻な国の一つである。1日1.9米ドル（2011年購買力平価）未満で暮らす人々の割合は17.2%（世銀2017年）であり、中南米カリブ地域では、ハイチに次いで高い。こうした厳しい貧困等から逃れるために、2018年及び2020年に北米への移民キャラバンが結成され、世界中の注目を浴びた。

こうした中、ホンジュラス政府は、貧困削減施策として、条件付き給付金（CCT）制度を実施している。この制度では、最貧困層世帯の子供の就学等を条件として、給付金を支給している。同制度の実施機関は、社会統合副省（SSIS）である。SSISは、最貧困層が給付金に依存せず、生計向上に取り組むように促すため、最貧困層の能力強化も重要視している。

上記背景を踏まえ、本技術協力プロジェクトは、ホンジュラスの貧困削減に向けて、SSISを先方政府実施機関として、2015年2月から2020年4月にかけて活動を実施した。

プロジェクトでは、貧困削減のための方法として、現地愛称「ACTIVOモデル」と呼ばれる極貧（最貧困）脱却モデルを形成し、その施策化・普及に取り組んだ。その概要を下図に示す。



図① ACTIVOモデルの概要

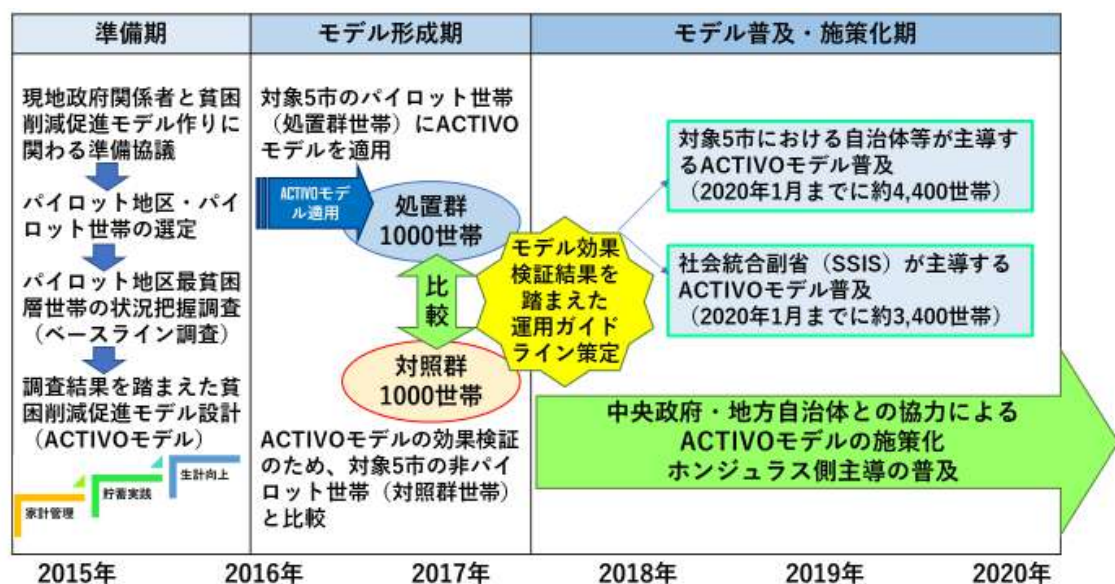
ACTIVOモデルでは、上図の通り、①家計管理強化、②貯蓄実践、③生計向上の3ステップを通じて、最貧困層の極貧状態からの脱却を図ってきた。この3ステップを進める事由は、以下の通りである。

- 家計支出の記録や見直し等を通じて、貯蓄習慣をつけてもらい、収入の少ない時期や緊急時にも貯蓄で対応できるようになる。
- 貯蓄を元手として生業ビジネスを始めることで、生計手段を複数化し、生計を安定させることができるようになる。

この ACTIVO モデルは、様々な国で貧困削減施策として活用されている「卒業モデル」を応用したものであり、ACTIVO モデルは、ホンジュラス版の卒業モデルであると言える。

このモデルの実践のため、社会保護政策に関わる政府関係者、自治体、金融機関などが各地でワーキンググループを形成し、最貧困層世帯向けの研修やコーチング活動等を実施してきた。このワーキンググループの調整の下、最貧困層向けの研修では、市自治体職員や SSIS 普及員が講師を務めてきた。また、最貧困層向けの預金口座開設や金融教育実施においては、民間金融機関にも参加してもらった。このように、現地既存リソースを活用することで、多額な予算がなくても実施可能なモデルとした。

この ACTIVO モデルを通じた貧困削減の取り組みプロセスは、以下の通り図示することができる。



図② ACTIVO モデル形成・施策化を通じた貧困削減の取り組みプロセス

上図の通り、ACTIVO モデルは、当初、約 1 千世帯のパイロット世帯群のみに試行的に適用された。その試行で得られた教訓・知見等を活かして、2017 年央以降、各地での普及が開始された。特に、2019 年以降では、先方実施機関 SSIS が、その普及員を活用して、全国的に体系的な普及展開をするようになった。

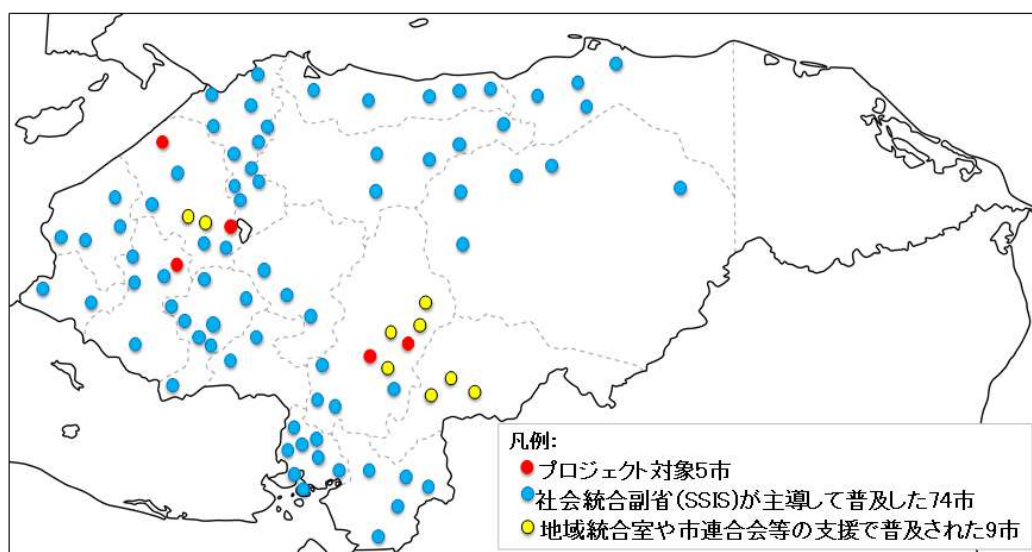


最貧困層向け働きかけをモニタリングする SSIS の地方組織強化課長（写真右）

こうした活動の結果、以下の成果・効果が確認されるようになった。

### (1) 貧困削減施策としての ACTIVO モデルの体系化と全国普及

2019年9月に ACTIVO モデル運用ガイドラインが SSIS 副大臣に承認され、同モデルは SSIS の貧困削減に関わる戦略の一環として、全国普及展開されるようになった。結果、下図③の通り、2020年1月までに全国88市の約9千世帯(5万人程度と推計)<sup>1</sup>に同モデルが適用された。プロジェクトは、元々、5市を対象とすることになっていたが、プロジェクトの形成したモデルは、その目標を大きく超えて全国各地での貧困削減に貢献するようになっている。プロジェクト終了後も、相手国側の自助努力で、このモデルが展開されるものと期待できる。



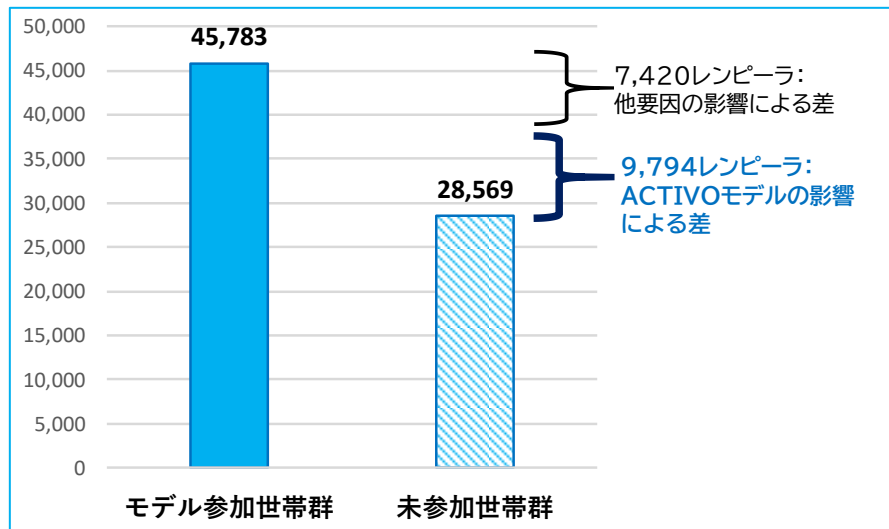
図③ ACTIVO モデル普及状況地図

### (2) ACTIVO モデル適用世帯における貧困状況の軽減

2019年実施の調査では、対象5市最貧困層の世帯標本において、ACTIVO モデル適用世帯群と未適用世帯群との間の年間世帯収入平均等を比較した。回帰分析を適用したところ、図④の通り、ACTIVO モデルの適用が、年収にして4万5千円程度(9,794 レンピーラ)の好影響を与えることが推計された。

<sup>1</sup> 2017年実施のパイロット地域エンドライン調査によると、1世帯当たりの家族数平均は5.4人。





図④ ACTIVO モデル適用世帯と未適用世帯との年間世帯収入平均値の比較

### (3) 金融包摂の推進

最貧困層の極貧状態脱出のためには、金融包摂の推進が重要である。CCTによる基礎消費支援は一過性のものであるため、最貧困層世帯はCCTに依存せず、金融を利用しながら、持続的に家計・生計を強化していくことが求められるからである。不安定な収入であっても、口座預金を適切に利用することで、収入の少ない時期における生活及び経済活動を維持することができる。また、貧困層開業規模者向けの融資プログラム等を利用すれば、開業技能を得ながら、生計向上を図ることができるようになる。

こうした金融商品・サービスに最貧困層がアクセスできるようにするため、このプロジェクトでは、金融包摂に取り組み、結果、以下の成果をあげることができた。

- 国家協同組合監督委員会（CONSUOCOOP）によると、信用組合セクター融資における零細ビジネス向け小規模融資の割合は、2015年当時、ほぼ皆無であったが、2019年には3%を占めるまでになった。同委員会は、このプロジェクトの貢献も大きかったと言及している。
- 商業銀行バンルラルにおけるビレッジバンキング方式の新金融商品、全国信用組合連合会を通じた貧困層開業者支援融資等、貧困層等に適した金融商品が開発された。結果、金融教育の普及と合わせて、口座預金や融資の利用も活発化した。

こうした金融包摂関連の成果により、全国的に数万人規模で金融利用に関わる利便が向上した。こうした金融包摂の進展は、プロジェクト終了後においても、貧困削減の推進力となる。

## 第1章 プロジェクトの背景

「金融包摂を通じた CCT 受給世帯の生活改善・生計向上プロジェクト」（以下、本プロジェクト）は、ホンジュラスの貧困削減を目的として実施されてきた。本プロジェクトの背景及び実施環境に関わる情報として、以下、①ホンジュラス貧困事情、②相手国実施機関、③ホンジュラス地方行政制度、④金融包摂事情について言及する。

### 1.1 ホンジュラス貧困事情の概要

ホンジュラスは、中南米カリブ地域では、最も貧困が深刻な国の一つである。1日1.9米ドル（2011年購買力平価）未満で暮らす人々の割合は、17.2%（2017年）<sup>2</sup>であり、中南米カリブ地域では2位である。2014年の同割合は、15.9%であり、この数年間で見ると微増している。また、5.5ドル未満で暮らす人々の割合では52.6%と半数を超す。国別貧困ラインで見た貧困率では、2016年64.3%、2017年60.9%、2018年61.9%と高止まりしている。

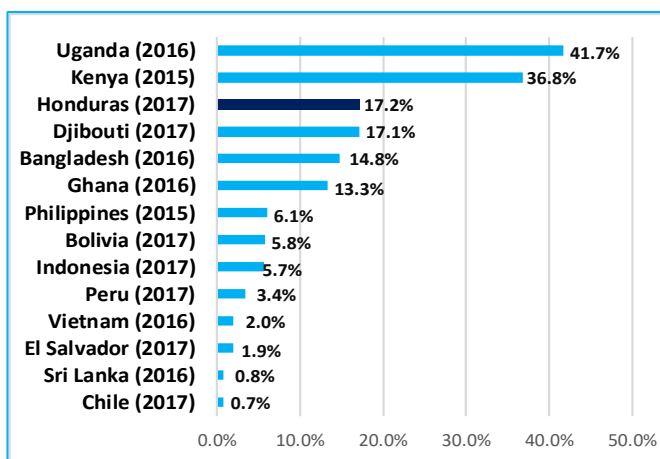


図1-1 1日1.9米ドル（2011年購買力平価）未満で暮らす人々の割合 (%)

出典：世銀データを基に執筆者作成

国連開発計画（UNDP）による2017年の人間開発指標で見ても、0.617と、世界133位であり、他の中南米諸国の後塵を拝している。（アルゼンチン47位、コスタリカ63位、パナマ66位、メキシコ74位、ボリビア118位、エルサルバドル121位、グアテマラ127位等）。

近年のマクロ経済成長（2017年経済成長率4.8%、2018年同3.7%）が貧困削減に結び付いていない理由として、⑦世界有数の治安の悪さ（人口10万人当たりの殺人件数41件：2017年）、⑧気候変動の影響により豪雨や干ばつ等が頻発するようになっていること、⑨国民間の経済的不平等が大きいこと等が考えられる。

こうした貧困事情等により、2018年及び2020年には、収入機会に乏しいホンジュラスから逃れるため、北米への移民キャラバンが結成され、世界中の注目を集めた。

このような深刻な貧困問題を抱えるホンジュラスにおいて、「最貧困層の持続的生計向上を促すモデル」の形成を目的として、本プロジェクトは実施された。貧困事情の厳しいホンジュラスで構築された本プロジェクトの知見・方法は、他国にも参考となろう。

<sup>2</sup> 世界銀行ウェブサイトからの情報。後述の殺人件数や経済成長率のデータの出所も同様。

## 1.2 ホンジュラス社会保護政策と相手国実施機関の概要

本プロジェクト相手国実施機関は、社会開発包摂省 (SEDIS) の社会統合副省 (SSIS) である。社会保護政策の一環として、貧困対策に取り組んでいる。以下、実施機関の実施施策や組織体制等について概要情報を示す。

### (1) 相手国実施機関の実施施策の内容概要

SEDIS は、複数省庁で実施されている社会保護政策を主管している。その具体的な施策として、「より良い生活プログラム (Programa Vida Mejor)」を実施している。このプログラムには、CCT 制度の他、基礎教育支援 (学校給食含む)、家族ガイドと呼ばれる普及員による支援活動、高齢者・障害者への支援、食と栄養の改善支援、住居改善支援、経済機会創出等が含まれる。

SSIS は、SEDIS の下部組織として、「より良い生活プログラム」の下、CCT 制度とそれに関連する諸事業を行っている。

### (2) 社会統合副省 (SSIS) による条件付き給付金 (CCT) 制度

SSIS の主要業務は、CCT 制度の運営である。この制度は、「より良い生活プログラム」の一環として実施されているため、「より良い生活のための給付金 (Bono Vida Mejor)」と呼ばれている。基礎教育課程 (1～9 年生) の児童又は 5 歳以下の乳幼児のいる最貧困層世帯に対して、給付金を SSIS が支給している。給付金施策運用ガイドラインによると、支給対象となるには、⑦児童が定期的に通学していることが学校側より確認される場合、又は⑩0～5 歳の乳幼児が年 2 回以上診療所を利用している場合である。最低賃金を超える収入がある場合には、支給対象から外れる。下表に示す通り、児童数又は乳幼児数によって、各世帯の支給額は異なる。2014～2017 年における世帯当たり受給額は、市街地平均が約 6 千レンピーラ、村落部平均が約 8 千レンピーラであった。

表 1-1 ホンジュラスにおける世帯別 CCT 支給額積算方法 (2016 年以降)

居住地域	条件		支給額 (レピーラ)
村落部	支給基本額		4,020
	診療所支援の必要な乳幼児の人数	1 人	1,320
		2 名以上	1,500
	1～6 年生の基礎教育就学児童の人数	1 人	1,320
		2 名以上	1,500
	7～9 年生の基礎教育就学児童の人数	1 人	2,520
2 名以上		3,480	
市街地	支給基本額		3,480
	1～6 年生の基礎教育就学児童の人数	1 人	2,520
		2 名以上	3,000
	7～9 年生の基礎教育就学児童の人数	1 人	3,000
		2 名以上	3,480

全国 247 名<sup>3</sup>の SSIS 普及員が、CCT 給付調整、受益者情報データ整備の補佐等を行っている。2014 年から 2017 年における給付実績は、村落部 236,266 世帯、市街地 126,177 世帯であった。この間、村落部では現金支給が中心であり、市街地では銀行口座を通じた支給も行われたが、2019 年の CCT 支給は、全て現金支給になった。

過去の支給では、口座に関する理解が不十分な最貧困層が多かったために、折角開設した口座を有効利用しようとしなかったケース、口座から給付金を引き出さないままにするケース等が発生した。このような経験を踏まえて、SSIS は、一旦、支給方法を全て現金支給に戻した経緯がある。将来の方策として、SSIS は、金融口座を既に持っている最貧困層世帯に対しては、その口座を通じた支給を行うこと等を検討している。

### (3) 相手国実施機関の組織体制

社会開発包摂省 (SEDIS) の組織図を、社会統合副省 (SSIS) を中心にして以下に示す。

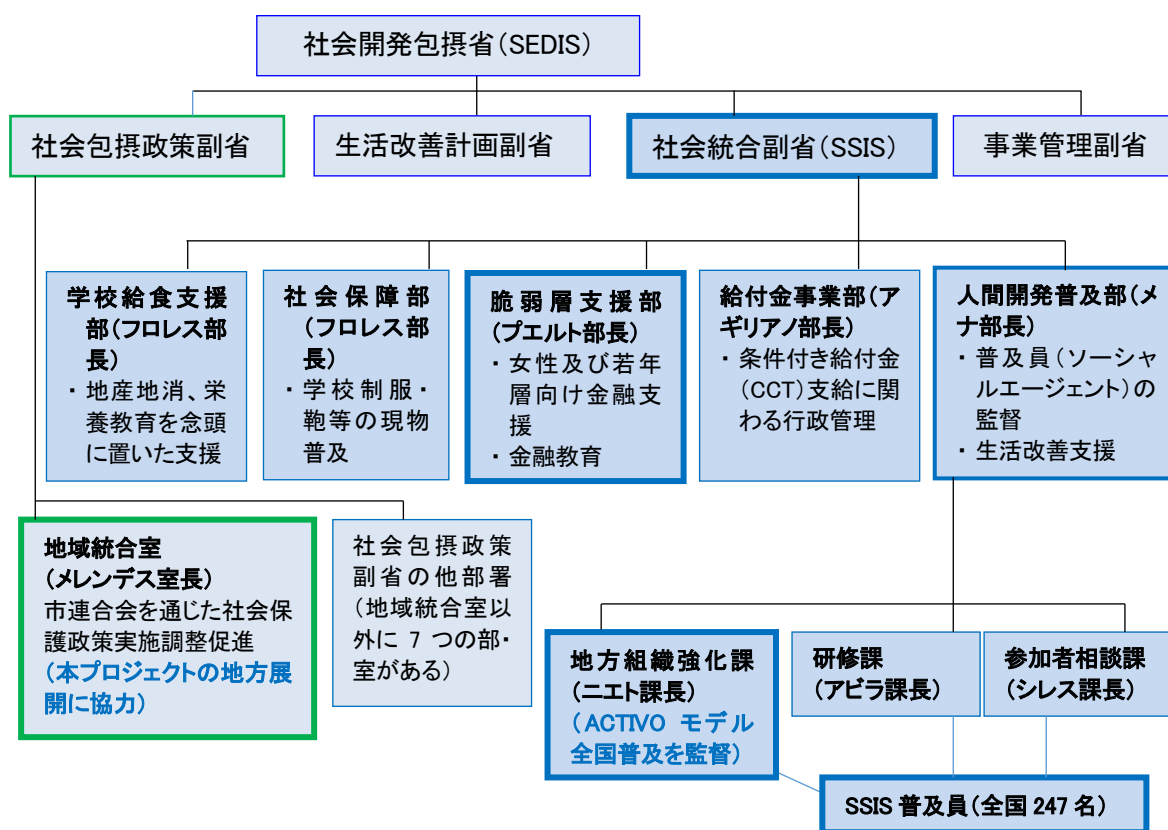


図 1-2 社会統合副省を中心とする社会開発包摂省の組織図 (2020 年 1 月時点)

上の組織図に関し、以下の通り補足する。

<sup>3</sup> 2019 年末時点で、市レベルの SSIS 普及員が 226 名、県調整官 17 名、地方統制官 4 名で合計 247 名。

- 組織図の通り、SSIS は、CCT 事業に加え、CCT 事業と相互補完的な諸事業を行っている。
- 本プロジェクト推進の ACTIVO モデル（ホンジュラス版卒業モデル）は、SSIS 人間開発普及部の地域組織強化課が専属的に普及活動を行ってきた。全国 247 名の SSIS 普及員のうちの大半が ACTIVO モデル指導者育成研修（ToT）に参加し、2020 年 1 月までに全国 74 市で SSIS 普及員によるモデル適用がなされるようになった。
- ACTIVO モデルの現場活動では、SSIS 普及員のみならず、家族ガイドと呼ばれる生活改善計画副省所属の普及員も協力している。家族ガイド<sup>4</sup>は、全国で約 15,000 名在籍している。
- 2017 年前半まで SSIS に属していた地域統合局は、⑦地域統合室と⑩学校給食支援部に分割され、そのうち、地域統合室は社会包摂政策副省に移管された。その後も、地域統合室は、市連合会を通じた ACTIVO モデル普及を継続的に促している。

### 1.3 ホンジュラス地方行政制度概要

ホンジュラスは 18 県 298 市で構成される。本プロジェクトは、そのうちの 5 市を直接対象とし、そのモデルは他市にも波及している。地方行政制度については、下表の通りである。

表 1-2 ホンジュラスにおける市、市連合会、県の役割

市	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市は、2009 年制定の地方自治法によって、自治体であることが定められている。市の主な機能は、地方自治法により、市開発計画の作成、土地管理、上下水事業、道路整備、公共場所の清掃、消防、地域経済振興等とされている。</li> <li>● 市予算財源には税収入（固定資産税、事業者税等）と交付金等がある。</li> <li>● 各市は、市開発計画（PDM）を 5 年に 1 回作成することになっている。これは、市内各地のコミュニティ開発計画（PCM）を集約したものである。市予算は、この市開発計画に基づく年間運営計画（POA）に基づいて支出される。</li> <li>● 地方自治体の予算及び人口規模で各市が分類されている。多くが「C（小規模）」又は「D（最も小さく脆弱）」に分類されている。</li> </ul>
市連合会	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ホンジュラスの多くの市がいずれかの市連合会に参加している。</li> <li>● 市連合会は、地方自治法に基づき、加盟市への支援を行う公益団体である。その活動資金は、加盟市や支援機関等からの拠出金を原資としている。</li> </ul>
県	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地方自治法に則り、県知事は中央行政によって任命される。</li> <li>● 県知事は、当該県における中央政府の代表者という立場であり、県内の中央政府施策の実施支援、県内の市行政への便宜供与が主な役割になっている。</li> <li>● 県自体には、住民に行政サービスを直接行う機能はない。</li> </ul>

<sup>4</sup> 「より良い生活プログラム」受益世帯のモニタリングを担当する。最貧困層世帯に対し、住宅資材やエコカマドの供与調整を行う。供与後は生活改善状況のモニタリングも行う。地域の掃除なども行う。月給は 2 万円弱であり、家族ガイドとして、フルタイムで働いている訳ではない。農業や零細商工業と兼業している者も多い。



## 1.4 ホンジュラスにおける金融包摂事情

本節では、ホンジュラスの金融包摂事情について、情報を整理する。ホンジュラスは、他の中南米諸国と比べて金融包摂が遅れているが、国家金融包摂戦略を作成し、近年、金融包摂の取り組みを強化している。以下、ホンジュラス金融セクターの概要情報を含め、記述する。

### (1) ホンジュラスにおける金融監督・統制機関

ホンジュラスには、下表のとおり、フォーマル金融機関に対する監督機関が3つ存在する。

表 1-3 ホンジュラスにおける金融監督・規制機関

監督機関	組織・業務概要
中央銀行	ホンジュラス金融政策を企画・実施する。金融セクター全体の安定化を使命とし、金融機関プルーデンス規制に係る最上位機関である。
国家銀行保険委員会 (CNBS)	元々は中央銀行に属していたが、独立した機関になった。銀行及び小規模金融実施機関の認可と監督を行う。金融に関わる規制を発令することができる。
国家協同組合監督委員会 (CONSUCOOP)	2014年の改訂協同組合法に基づき、発足。CNBSの監督対象外である信用組合の認可と監督を行う。CONSUCOOPは、信用組合以外の協同組合も監督の対象としている。

### (2) ホンジュラスにおける金融サービス提供機関の概要

国家銀行保険委員会 (CNBS) が認可・監督している金融機関は、2019年12月時点で、商業銀行15行、金融会社10件、金融開発民間機関 (OPDF) 5件、保険会社13社等となっている。

これ以外に、2019年12月時点で、289の信用組合が金融事業を行っている。うち百万米ドル以上の総資産を持つ86信組が国家協同組合監督委員会 (CONSUCOOP) の重点監督対象となっている。

主な金融機関の特徴は、次の通りである。

- 商業銀行： 他の金融機関よりも営業可能分野が広く、預金、融資等、計26の金融商品・サービスの提供が可能である。CNBSが監督する。
- 金融会社： 小規模金融実施機関の一形態と見做すことができる。預金と融資の双方を扱うことができる。CNBSが監督する。
- 金融開発民間機関 (OPDF)： 融資を中心に扱う。固定客等に対して預金サービスも提供できる。小規模金融実施機関の一形態と見做すことができる。CNBSが監督する。
- 民間開発機関 (OPD)： 融資は提供できるが、預金サービスは提供できない。プルーデンス規制の対象外であり、内務司法省が監督する。

- 信用組合： 組合員向けの金融サービス提供を行う。CONSUCOOP が監督する。

ホンジュラス小規模金融実施機関協会（REDMICROH）には、3 種類の小規模金融実施機関（金融会社、OPDF、OPD）に加え、一部の商業銀行も加盟している。

CNBS 監督下の金融機関は、代理店を持つことができる。CNBS の基準に準拠する審査により、代理店が適格であると判断される場合に、金融機関は代理店契約を結ぶことができる。代理店が実行できる金融業務範囲は、口座開設、預金の預け入れ・引出し、融資の受け取り、国内送金、公共料金払い、残高照会等である。融資申請は、本支店で行う必要がある。

他方、信用組合の場合、現行規程では代理店設置要件が厳しく、実質的に代理店を持つことが困難になっているところ、CONSUCOOP は、要件緩和を検討している。

### (3) ホンジュラスにおける主な金融商品・サービス

ホンジュラス国内で流通している主な金融商品の特徴を、次のとおり要約する。

表 1-4 ホンジュラスにおける主な金融商品・サービス

預金	<p>2018 年のホンジュラス国内の預金残高（CNBS 監督下の金融機関における総額）は、GDP 総額の約 3 分の 1 となっている。その多くは普通預金である。</p> <p>CNBS によると、2018 年末時点の口座数は約 693 万口座である。預金口座を保有する成人人口の割合は、2017 年末の 43% から、2018 年末には 46% に上昇した。</p> <p>金融包摂促進のため、ホンジュラスでは、低所得者層向けの基礎口座という預金商品がある。2015 年、社会統合副省（SSIS）は、都市部において、この基礎口座を通じた CCT 給付を進めた経緯がある。基礎口座の最低預金額は 10 レンピーラである。金融機関は基礎口座の維持手数料を徴収することができない。</p>
融資	<p>融資を受けている成人人口の割合は、2014 年の 14.6% に対して、2018 年には 15.7% にまで増えている。商業銀行の融資は、消費資金融資及びクレジットカードによるものが全体の 39.9% と最も多く、次いで、住宅資金融資 29.4%、商業融資 22.3% であり、小規模融資は 2.5% を占めるのみである。</p>
保険	<p>保険商品を直接的に販売することができるのは、保険会社のみである。保険会社以外の金融機関は、保険商品の仲介を行うことができる。CNBS 資料によると、2018 年、保険料総額が最も多いのは損害保険（55.8%）であり、次いで生命保険（22.0%）、医療保険（21.6%）となっている。</p>
送金及びモバイル金融サービス	<p>ホンジュラスをはじめとする中米諸国は、国外の出稼ぎ家族からの送金の多いことで知られる。ホンジュラスの場合、こうした国外からの送金は、国内総生産（GDP）の約 2 割を占める。</p> <p>送金手段に関し、近年、モバイル金融サービス（MFS）利用が増えてきた。多国籍企業ミリコム通信会社の提供するモバイル電子マネーサービス（Tigo マネー）は、中南米及びアフリカ諸国で広く活用されており、ホンジュラスの場合、米国からの送金は、提携会社を通じて行われている。海外送金その他、Tigo マネーは、電話料金チャージ、国内送金、公共料金支払い等に使うことができ、2018 年末には利用者数は 400 万人に達した。電子マネー口座を持つのは 130 万人である。Tigo マネー事業は、2019 年 11 月、中央銀行により、電子マネー事業者として認可を受けた。</p>

#### (4) ホンジュラスにおける金融包摂の進捗状況

米州開発銀行(IDB)の支援で作成された報告書「グローバルマイクロスコープ 2019」によると、調査対象 55 か国中、ホンジュラスの金融包摂進展度は第 22 位と評価されている。同報告書によるホンジュラス金融包摂進展度の総合得点は、調査対象国全他の平均点を若干上回っているが、順位としては、中南米主要国の後塵を拝している（コロンビア 1 位、ペルー 2 位、メキシコ 4 位、ブラジル 9 位、エルサルバドル 13 位、パラグアイ 16 位など）。

ホンジュラス政府は、2015 年、国家金融包摂戦略 (ENIF) を策定し、それに基づいて、CNBS 等が中心となって金融包摂を推進している。同戦略に基づき、CNBS は、毎年、金融包摂進捗に関わる報告書を取り纏めると共に、国家金融教育週間を開催している。

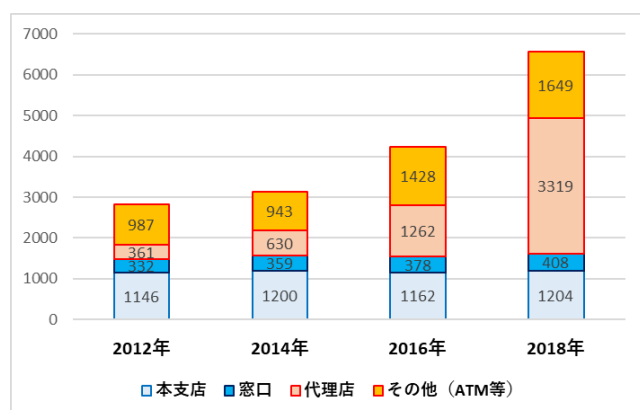


図 1-3 CNBS 監督下金融機関の営業拠点数の推移

左図の通り、近年、ホンジュラス金融機関の営業拠点数は増えており、金融アクセスが改善されてきたと言える。近年の特徴として、銀行及び小規模金融実施機関の代理店が増えている様子が窺える。代理店網を持っているのは商業銀行 6 件と小規模金融実施機関 6 件である。こうした代理店網が、銀行支店のない地域の金融アクセスを支えている。

地域金融の担い手としては、信用組合も重要である。右表の通り、ホンジュラスは、中南米諸国の中でも、金融セクターにおける信組のプレゼンスが高い。ホンジュラスにおける金融包摂の推進に際し、信用組合は重要なアクターであると言える。CONSUCOOP は、金融包摂推進に向けて、信組の代理店設定要件の緩和を検討している。信組も代理店網を持つことができれば、今後、金融アクセスは更に改善されるものと期待される。

表 1-5 信用組合の金融セクターに占める割合

	金融セクターの総資産 (A)	信用組合セクターの総資産 (B)	信用組合の金融セクターに占める割合 (B/A)
ECUADOR	50,632	9,300	18.4%
EL SALVADOR	19,224	2,571	13.4%
PARAGUAY	23,142	2,507	10.8%
COSTA RICA	54,186	5,469	10.1%
HONDURAS	21,766	1,147	5.3%
BOLIVIA	29,609	1,448	4.9%
GUATEMALA	40,546	1,602	4.0%
REP. DOMINICANA	29,992	1,032	3.4%
PERU	120,509	3,486	2.9%
COLOMBIA	187,328	4,640	2.5%
BRASIL	2,527,209	47,342	1.9%
PANAMA	122,976	1,900	1.5%
MEXICO	423,140	6,459	1.5%
NICARAGUA	8,301	113	1.4%
CHILE	320,163	2,872	0.9%
URUGUAY	37,681	315	0.8%
ARGENTINA	176,619	16	0.0%
VENEZUELA	2,150	0	0.0%

単位 100 万米ドル (2016 年)

出所：ドイツ組合連合資料より編集

近年、ホンジュラスでは、モバイル金融サービス (MFS) 利用者が増えている。こうした中、2019 年 10 月、中央銀行、CNBS 等が中心となって、金融イノベーション作業部会を立ち上げた。その中で、多国籍企業ミリコム通信会社のモバイルマネーである Tigo マネーも扱われることになった。翌 11 月、中央銀行により、Tigo マネー事業が電子マネー取扱事業として認可されたところ、今後、MFS 利便性向上による金融アクセス改善も期待される。

## 第2章 プロジェクトの実施方法と投入

本プロジェクトが最貧困層の持続的な生計向上のために適用してきた方法と、そのために要した投入について、本章で述べる。

### 2.1 プロジェクトの枠組み

本プロジェクトは、条件付き給付金（CCT）支給となっている最貧困層の持続的生計向上モデル構築を目標としている。プロジェクト・デザインの枠組み概要は、次の通りである。

表 2-1 本プロジェクト・デザインの枠組みの概要

プロジェクトの要約	指標
<b>上位目標</b> CCT 受給世帯の生活改善・生計向上を促進するために構築されたモデルが全国展開に向けて制度化される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 構築されたモデルが法令もしくは条例として制定される。</li> <li>● 構築されたモデルを実施するための予算が社会統合副省及び市・市連合会において確保される。</li> </ul>
<b>プロジェクト目標</b> CCT 受給世帯の生活改善・生計向上を促進するモデルが構築される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 対象市の CCT 受給世帯のうち、500 世帯以上が生活改善・生計向上のための活動を開始する。</li> <li>● 成果 4 のガイドラインが社会統合副省により承認される。</li> </ul>
<b>期待される成果</b>	
<b>成果 1.</b> 対象市の CCT 受給世帯の家計管理能力が強化される。	1-1. 対象市の CCT 受給世帯のうち、2,000 世帯以上が家計管理研修を受講する。 1-2. 対象市の CCT 受給世帯のうち、1,000 世帯以上が家計簿などにより家計管理をする。
<b>成果 2.</b> 対象市の CCT 受給世帯の金融サービスへのアクセスが改善される。	2-1. 対象市の CCT 受給世帯のうち、2,000 世帯以上が金融教育を受講する。 2-2. 金融機関等が実践した受給世帯向けの金融サービス提供の取り組み事例と数。 2-3. 対象市の CCT 受給世帯のうち、1,000 世帯以上が金融口座を開設し、貯蓄を開始する。
<b>成果 3.</b> 対象市 CCT 受給世帯が生活改善・生計向上に必要な技術を身に受ける。	3-1. 対象市の受給世帯のうち、2,000 世帯以上が生活改善・生計向上のための研修を受講する。 3-2. 対象市の受給世帯のうち、1,000 世帯以上が生活改善・生計向上のための活動計画を策定する。
<b>成果 4.</b> 成果 1～3 を取り纏め、CCT 受給世帯の生活改善・生計向上を促進するためのガイドラインが作成される。	4.CCT 受給世帯の生活改善・生計向上を促進する関係機関のためのガイドライン

その他、本プロジェクトの枠組みに関わる主な情報は、以下の通りである。

- 実施機関： 社会統合副省（SSIS）。SSIS は、CCT 制度の実施機関でもある。
- 実施期間： 2015 年 2 月から 2020 年 4 月までの約 5 年間。
- 対象地域： サンタ・バルバラ県キミスタン市とラス・ベガス市、レンピーラ県サン・ラファエル市、フランシスコ・モラサン県ビジャ・デ・サンフランシスコ市とテグシガルパ市（首都）の 5 市を対象とした。但し、実施期間中に、本プロジェクトの構築したモデルは他市にも波及されている。

## 2.2 プロジェクト実施方法

本プロジェクトでは、プロジェクト目標にある「CCT 受給世帯の生活改善・生計向上を促進するモデル」を形成するため、貧困層支援諮問機関(CGAP)<sup>5</sup>とフォード財団によって世界中に広められた卒業モデルを応用した。卒業モデルでは、基礎消費支援によって、最貧困層の基礎的ニーズを満たした上で、貯蓄奨励、技能訓練、生業ビジネス用資産供与を通じて、最貧困層の極貧状態からの卒業を図っている。2017 年央時点において、43 か国 99 プログラムを通じて、卒業モデルの全裨益世帯数は、310 万世帯であったと目されている<sup>6</sup>。

本プロジェクトでは、ホンジュラス版卒業モデルとして「ACTIVO モデル」を体系化した。この「ACTIVO」という名称は、下図の通り、本プロジェクトのスローガンである「より良い生活のための貯蓄、口座、労働、収入」に基づく。



図 2-1 プロジェクト提唱の ACTIVO モデルとロゴ

スペイン語の ACTIVO という単語には、英語のアセット（資産）とアクティブ（活動的）の 2 つの意味があり、「活動的に資産形成する」という意味合いが込められている。

この ACTIVO モデルは、下図の通り、最貧困層の家計管理強化、貯蓄形成、生計向上に向けて、行政機関、金融機関、地元関係者（コミュニティリーダー等）が協力して最貧困層に働きかける仕組みである。

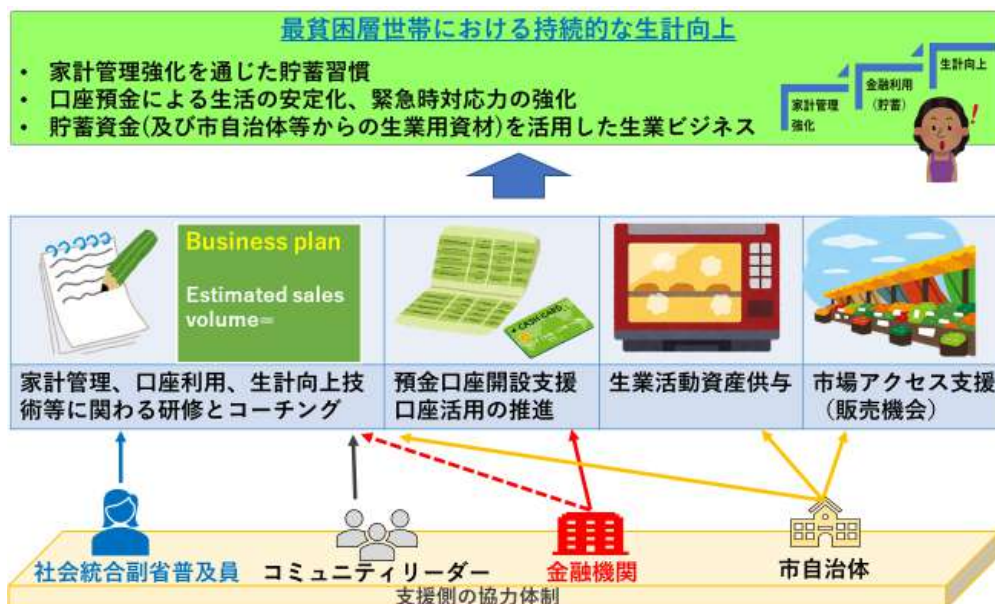


図 2-2 本プロジェクト推進の最貧困層の極貧脱却の仕組み (ACTIVO モデル)

<sup>5</sup> 金融包摂に関する研究・政策提言のための世界銀行グループの国際機関。

<sup>6</sup> 2018 State of sector, PEI (Partnership for Economic Inclusion)より。当時実施中であった 35 か国と計画中の 8 か国を併せて 43 か国。本プロジェクトも 99 プログラムの中にカウントされている。



上図に関し、以下、補足する。

### (1) 最貧困層の家計・生計事情を踏まえた最貧困脱却方法

最貧困層の家計・生計事情は、次の通り不安定であり、安定的な生計向上は容易ではない。

- 多くの最貧困層は安定した雇用に就業していない。
- 最貧困層の自営業は、類似分野での開業が多く、競争過多に晒されやすい。
- 生計を農業に依拠している場合、干ばつ等の気候変動により収穫量が変化してしまう。また、収穫・換金までの間、現金収入が限定される。市況により、農産品価格も変動する。
- 不衛生な生活環境下、家族が病気になると、薬品購入代等が家計を圧迫する。しのぐために、インフォーマル融資を受ければ、高利息の返済を求められ、家計が更に圧迫される。
- 最貧困層の家屋は、都市圏では傾斜地に建設されていることが多く、ハリケーン等の自然災害が発生すると、家財を消失してしまう恐れがある。



図 2-3 最貧困層のダウンサイドリスク

上図の通り、外的ショック（自然災害や市況変動等）と最貧困層の持つ内部脆弱性（不衛生な生活、不十分な資産蓄積等）が連鎖すると、安定的な生計活動を行うことが更に困難になる。そこで、本プロジェクトでは、既述の卒業モデルを応用して、①最貧困層の家計管理能力強化②貯蓄形成、③生計手段の複数化・強化を重視する取り組みを進めてきた。

特に重視してきたのは、貯蓄形成である。家族の疾病等の緊急時においても、貯金があれば、生活・家計を維持することができるからである。また、貯金は、最貧困層の生業ビジネスのための元手資金としても活用することができる。自分の貯めたお金により開業すれば、援助資金だけで開業した場合と比べて、事業に対する熱意も強くなり、自己尊重にもつながる。

貯蓄方法としては、口座預金を重視した。その理由は、①通帳記録により貯蓄目標達成に向けての進捗が確認しやすいこと、②タンス貯金や家畜等のように自然災害や盗難による消失リスクがないこと、③無駄遣いしづらいこと、④口座を通じて他の金融活動を促すことができること等による。

## (2) ACTIVO モデルにおける最貧困層への働きかけ内容

図 2-2 の通り、ACTIVO モデルでは、最貧困層の自助努力を促すための包括的な支援を行っている。研修とコーチングを通じて、貯蓄実践のための家計管理を導入し、口座開設を促して預金できるようにする。その上で、生計向上のための研修を行い、市場アクセスも支援する。

こうした最貧困層への働きかけは、既存の政府支援施策や自治体施策を活用し、本プロジェクトからの追加的な支援については最小限にとどめた。現地で持続可能なモデルとするためである。一方で、既存施策の有効活用を重視したため、全ての ACTIVO モデル参加世帯が均一的な支援を受けられた訳ではない。例えば、地区によってはコーチングや市場アクセス支援等が受けられなかった場合もある。図 2-2 で示した ACTIVO モデルの支援内容について、項目ごとに下表に示す。

表 2-2 ACTIVO モデル支援内容

<p><b>研修</b></p>	<p>ACTIVO モデルの活動の一環として、最貧困層向けに様々な研修が行われてきた。これには、①家計管理研修、②金融教育、③生計向上研修が含まれる。上述①については、貯蓄目標設定と家計簿作成に焦点を置いた。最貧困層は収入が不安定であり、脆弱性が高いところ、家計の安定化が重要だからである。市自治体職員や社会統合副省 (SSIS) 普及員等が講師を務めた。</p> <p>上述②については、特に、口座預金の使い方の紹介等に重点を置いた。金融機関関係者を講師として招くことで、金融アクセス強化も促した。</p> <p>上述③については、生業ビジネスに係る事業計画作成の研修を行った。事業計画の実践を後押しするため、パン作り、衣服販売等の技術研修も行った。地元零細事業主に協力してもらうことで、安価な予算で実施できるようにした。</p>
<p><b>コーチング</b></p>	<p>ACTIVOモデルでは、研修のみならず、コミュニティリーダーによる最貧困層向けコーチングも実施されてきた。コーチングでは、参加世帯における家計簿作成のフォローアップ等がなされた。</p>
<p><b>生業用の資産供与</b></p>	<p>ACTIVO モデルでは、自ら蓄えた資金による生業ビジネス開業・強化を推奨しているが、資金不足が深刻な最貧困層世帯に対しては、市自治体等による生業活動用資産の供与も推奨している。プロジェクト対象市等では、家計簿を作成することができるようになった世帯等に対して、その事業計画に合致した生業用資産が供与された。</p> <p>供与された生業資産には、開業用資金、販売用資産、パン焼きかまど、子豚、鶏、野菜種子等が含まれる。市自治体による予算による供与、中央政府施策を活用しての供与等があった。</p>
<p><b>市場アクセス支援</b></p>	<p>最貧困層の生業活動の持続性を高めるためには、インクルーシブビジネスの考え方が重要である。すなわち、最貧困層女性をバリューチェーンに組み込むことで、安定的な現金収入の獲得を図ることができるようにすべきである。これを踏まえて、市自治体等による週末市への最貧困層の参加支援、市街地における取引関係のネットワーク強化等が行われてきた。</p>
<p><b>金融アクセス支援</b></p>	<p>ACTIVO モデルでは、貯蓄習慣形成を最重要視している。特に、預金口座を推奨しているところ、民間金融機関と連携して、最貧困層の口座開設を促した。</p>



市連合会実施による研修に参加した最貧困層に対して市自治体が供与した屋台



政府支援による週末市への最貧困層出展支援

## 2.3 プロジェクト実施プロセス

本プロジェクトは、社会統合副省（SSIS）を実施機関として、条件付き給付金（CCT）受給世帯等の最貧困層の持続的な生計向上を図ってきた。そのために、ホンジュラス版卒業モデルである ACTIVO モデルの普及展開を進めた。その実施プロセスを以下に図示する。

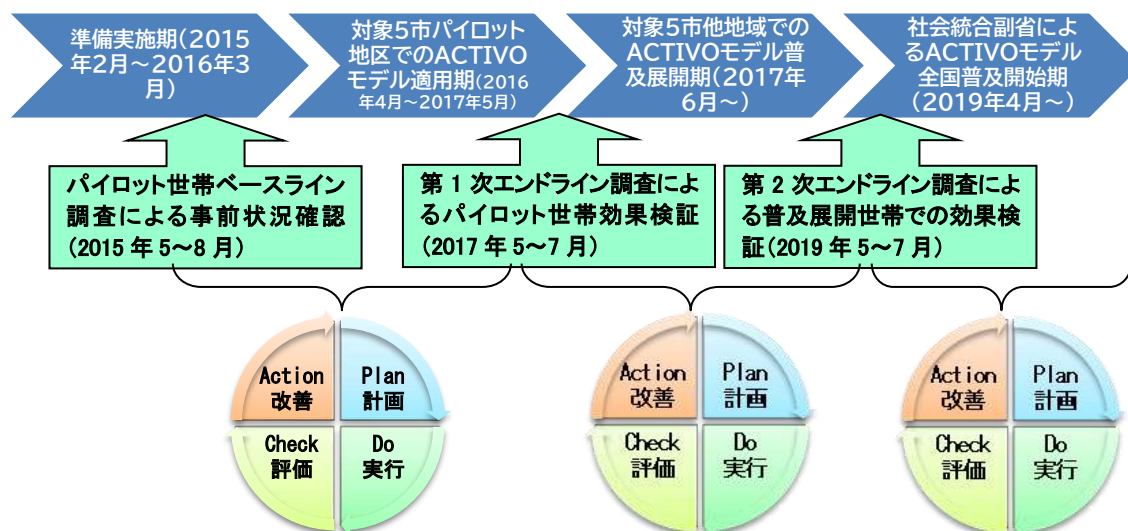


図 2-4 本プロジェクトの実施プロセス

上図のプロセスは、本プロジェクトの3つの期（2015年2月～2016年2月の第1期、2016年3月～2018年6月の第2期、2018年8月～2020年4月の第3期）の区分とも、ほぼ整合している。この図の通り、本プロジェクトの実施プロセスには、以下の特色があった。

- 本プロジェクトは、元々5市を支援対象としている。当初、5市内のパイロット地区のみで、ACTIVOモデルを適用した。その後、5市内の他地区にもモデル適用を普及するという段階的なプロセスで活動を進めた。
- 元々の計画設計では、本プロジェクト終了後に現地側がモデル全国展開を図る見通しであったが、現地側努力によりプロジェクト実施期間中から、前倒しで全国展開が開始された。結果、2020年1月までに、SSISの指揮により全国74市でモデル展開が進められた。
- パイロット地区でのモデル適用を一通り終えた段階で、パイロット世帯のモデル効果を検証するため、第1次エンドライン調査を行った。その後、パイロット地区外での普及効果も検証するため、第2次エンドライン調査も実施した。これら計2回のエンドライン調査では、計量経済学的手法を応用して、施策効果の実証分析を進めた。こうした分析結果を活かして、ACTIVOモデルの普及展開と併行して、施策としてのモデル精緻化も図った。

以上の通り、計量経済学的な実証分析を行いながら、施策としてのACTIVOモデル普及展開を段階的に広げていった点が、実施プロセスの特徴である。PDCAサイクル（計画・実行・評価・改善サイクル）を回すことで、施策としての品質向上を図ってきたとも言える。

## 2.4 プロジェクト実施体制

### 2.4.1 プロジェクト実施のためのチーム体制

図 2-2 に示した通り、本プロジェクトの推進する ACTIVO モデルは、行政機関、金融機関、地元関係者（コミュニティリーダー等）が協力して、最貧困層に働きかける仕組みである。プロジェクト対象 5 市では、こうした関係者が協力して作業をすることができるようにするため、ワーキンググループ（実施チーム）が形成されている。その体制概要を下表に示す。

表 2-3 プロジェクト対象各市における ACTIVO モデル実施チームの体制概要

市名	各市のチーム実施体制の概要
キミスタン市	市監査役のエクトル氏がチームリーダーとなり、市自治体の計画課、SSIS 普及員と共に、実施チームを形成している。ACTIVO モデルを通じて家計管理を強化し、生業ビジネス計画を策定した世帯に対して、市自治体予算により、生業用資産供与も行われている。金融教育実施においては、小規模金融実施機関である IDH の現地支店とも協力関係にある。
サン・ラファエル市	副市長が市実施チームのリーダーとなり、女性課が実際の ACTIVO モデル展開を進めている。副市長の指揮下、毎月、市女性課、中央政府施策（社会保護、農業振興、教育、保健）の市駐在スタッフが会議を行い、その中で ACTIVO モデルを適用している。例えば、農業振興支援を受けた貧困世帯に、女性課が家計管理研修を行うことを計画したり、有望な女性グループに女性課予算で資産供与したりする等の調整を行っている。金融教育実施においては、民間銀行バンルラルのラ・ウニオン支店とも協力関係にある。
ラス・ベガス市	市自治体の土地台帳・社会保護政策担当職員が、ACTIVO モデル実施チームのリーダーになっている。SSIS 普及員と、市内各地のコミュニティリーダー（市自治体との連絡役）と調整しながら、モデル準拠の研修・コーチングを行っている。金融教育実施においては、オクシデンテ銀行の現地支店とも協力関係にある。
ビジャ・デ・サンフランシスコ市	市長がリーダーとなって、ACTIVO モデル実施を進めている。ACTIVO モデルを通じて家計管理を強化し、生業ビジネス計画を策定した世帯に対して、市自治体予算により、生業用資産供与も行われている。金融教育実施においては、民間銀行バンルラルの現地支店とも協力関係にある。
テグシガルパ市	首都テグシガルパ市では、SSIS がイニシアティブをとり、市自治体の女性課の協力を得て、研修、貧困層女性の商品・製品の販売促進支援等を行っている。プロジェクト実施期間満了後も、SSIS 側チームが中心となって、首都圏の活動を進める見通しである。

上表の通り、各市とも、市自治体と SSIS 普及員との連携体制により、ACTIVO モデルの普及展開が進められている。2019 年以降、SSIS により、全国各地で ACTIVO モデルが普及展開されるようになったところ、こうした対象 5 市以外の各市でも、SSIS 普及員が市自治体に協力を求める形で、連携体制の構築を図っている。

こうした SSIS の活動は、CCT 卒業戦略の一環として進められている。最貧困層が一過性の政府補助に依存することなく、持続的な生計向上を図ることができるようにするためである。

SSIS による本プロジェクト中央チームでは、各地での ACTIVO モデル普及と、CCT 卒業戦

略における調整を図っている。その構成員を下表に示す。

表 2-4 社会統合副省 (SSIS) におけるプロジェクトチームの構成員 (2020 年 2 月時点)

メンバー	副省内の職位	役割
リシ・カノ・マトウテ	副大臣	現地側のプロジェクト・ディレクターとして、プロジェクトの方向性に関わる意思決定を行う。
ミルタ・マラディアガ	大臣補佐官	現地側のプロジェクト・マネージャーとして、プロジェクトの方向性に関わる全体調整を行う。
パオラ・アリアサ	副大臣補佐官	プロジェクト・ディレクター及びマネージャーを補佐する。
ロレナ・メナ	人間開発普及部部長	全国に展開する SSIS 普及員に対して、ACTIVO モデルに関わる能力強化を促し、その実践を監督する。
ファブリシオ・プエルト	脆弱層支援部長	CCT 卒業戦略の一環として、ACTIVO モデルが実施されているところ、ACTIVO モデルで生計が安定し始めた世帯に対して、グループ化支援等、自立に向けた高次な支援を行う。
トニー・ニエト	人間開発普及部地方組織強化課長	課長として、ACTIVO モデルの実践・普及を専属的に行う。2019 年内に全国各地 50 市で ACTIVO モデルを普及展開できたのは、ニエト課長による各地普及員への働きかけによるところが大きい。
ジェシー・イベット	地方組織強化課職員	ACTIVO モデル普及展開を専属的に行う課の職員として、全国の SSIS 普及員との調整を行う。

この他、プロジェクトの円滑な実施のため、以下の関係機関・関係者とも連携を図ってきた。

- 社会包摂政策副省の地域統合室： 市連合会を通じた ACTIVO モデル実施展開で協力してきた。
- 国家銀行保険委員会 (CNBS) 及び国家協同組合委員会 (CONSUCOOP)： 金融機関監督機関であるこれらの機関と共に、金融包摂推進で協力してきた。
- 金融機関及び金融機関の団体： 最貧困層・貧困層に適した金融商品の開発・普及、金融教育実施等で協力を進めてきた。
- 家族ガイド： 生活改善計画副省の傘下にある政府普及員である家族ガイドは、全国で約 1 万 5 千人在籍しており、ACTIVO モデル実施適用現場で協力を図ってきた。

#### 2.4.2 合同調整委員会 (JCC)

本プロジェクトの意思決定機関として、合同調整委員会 (JCC) が設置され、年 1 回、会合が実施された。各会合の主な内容は、以下の通りである。



第 5 回合同調整委員会 (JCC) 会合の様子



表 2-5 本プロジェクトの JCC 会合の内容概要

第 1 回 JCC 会合 2015 年 10 月 16 日	プロジェクト立ち上げに伴い、JCC 会合にて、①プロジェクト目標の指標設定、②現地側プロジェクト・マネージャーの確認等を行った。
第 2 回 JCC 会合 2017 年 2 月 23 日	プロジェクト実施期間が中盤に差し掛かったことを受け、①パイロット活動開始後の進捗状況の確認、②生計向上促進ガイドライン案の確認、③今後の活動予定等について話し合いを行った。運営指導調査団が同席した。
第 3 回 JCC 会合 2017 年 9 月 26 日	パイロット活動のエンドライン調査実施を受け、JCC 会合にて、パイロット活動の成果を確認した。その上で、今後の活動の継続性が重要である旨、話し合った。また、今後の第三国研修実施予定についても話し合った。
第 4 回 JCC 会合 2018 年 8 月 23 日	プロジェクト実施期間が中盤から終盤に入ってきたことを踏まえ、プロジェクト終了時を見据えた活動方針について討議した。また、プロジェクト・デザイン・マトリックス (PDM) の微修正を行った。
第 5 回 JCC 会合 2019 年 12 月 5 日	2020 年 4 月のプロジェクト実施期間満了を見据えて、これまでの ACTIVO モデルの成果を確認の上、今後の方向性が議論された。その際、SSIS 側より、生計向上促進ガイドライン (ACTIVO モデル運用ガイドライン) の承認がなされた。運営指導調査団が同席した。

## 2.5 プロジェクト投入実績

プロジェクトの日本側投入実績に関し、JICA 専門家の現地派遣実績について、以下の通り、本プロジェクトの 3 つの期間毎に報告する。

表 2-6 第 1 期 (2015 年 2 月~2016 年 2 月) の JICA 専門家現地派遣実績

団員名・担当業務	第 1 期												日数合計	人月合計	
	2015年														
	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2		
塚本明広 (総括/生活改善・生計向上(1))	2/8 21	3/22 22	4/5 26	5/10 10			8/16 16	9/14 14						109日	3.63
妹尾隆児 (副総括/生活改善・生計向上(2))					6/13 18	7/27 27			10/9 23	11/14 24	11/21 11	12/11 15	1/17 1/31	118日	3.93
エステバン・アルマダ・ロマン (金融アクセス(1))									10/12 20	11/10 10				30日	1.00
クリスティアン・カンディア (金融アクセス(2))					6/27 4	7/28 26								30日	1.00
梶房大樹 (家計管理/ジェンダー)	2/8 21	3/22 22		5/9 23	6/28 28			9/6 25	10/12 12					131日	4.37
城元章 (ビジネス連携)		3/15 17	4/12 12											29日	0.97
山口達哉 (業務調整/研修計画)			4/5 26	5/1 31	6/6 6					11/8 23	12/7 7			93日	3.10
望月貴子 (インパクト評価)			4/5 26	5/1 1		7/13 19	8/16 16							62日	2.07



表 2-7 第 2 期 (2016 年 3 月~2017 年 6 月) の JICA 専門家現地派遣実績

団員名・担当業務	第2期															日数合計	人月合計														
	2016年					2017年					2018年																				
	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5			6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5		
塚本明広 (総括/生計向上(1))	7	16	23	10		4	7	20	18	22	5		14	25		2	17				16	11	11	29						362日	12.07
妹尾隆児 (副総括/生計向上(2))	7	16				9	13				1	9	18	9		2	5													174日	5.80
エステバン・アルマダ・ロマン (金融アクセス(1))						22	17	14	16		8	8	14	10	17	9					3	28	14	17						205日	6.83
アレクサンダー・ポルティエリョ (金融アクセス(2))						3-16										1	30													90日	3.00
山口達哉 (ビジネス連携/家計管理)	27	14				24	19	15	27												3	17			14	19				232日	7.73
弓削田高次 (研修監理)	18	22																												35日	1.17
小林智(2016年)/植松美喜(2017年) (業務調整/研修計画)	27					31	21				19	21	9	4	23	20														381日	12.70
望月貴子 (インパクト評価)	5	30	31	31		25	21						2	12																70日	2.33
合計																										1549日	51.63				

表 2-8 第 3 期 (2018 年 8 月~2020 年 4 月) の JICA 専門家現地派遣実績

団員名・担当業務	第3期																日数合計	人月合計					
	2018年				2019年								2020年										
	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11			12	1	2	3	4
塚本明広(総括/金融包摂・インクルーシブビジネス(1))	5	16					11	29				4	23	4	14	16	28					257日	8.57
妹尾隆児(副総括/金融包摂・インクルーシブビジネス(2))							10	25														16日	0.53
エステバン・アルマダ・ロマン (金融アクセス)	13	12	12	1	10	2	5	1	7	27	1	21	1	21	27	17		16	15			193日	6.43
山口達哉(バリューチェーン/地方行政支援)			3	9	12	10	6	29				5	1	12	27							225日	7.50
望月貴子(インパクト評価/社会金融包摂戦略)												3	20	30	9							90日	3.00
合計																	781日	26.03					

第三国研修費用を含むプロジェクト活動に要した現地業務費（一般業務費と再委託費の合計）は、第1期 16,675 千円(実績)、第2期 70,611 千円(実績)、第3期 37 百万円(概算)である。

他方、ホンジュラス側投入については、表 2-3 及び 2-4 で示した人員配置に加えて、社会包摂政策副省地域統合室の職員（マウレン・メレンデス室長をはじめとするチーム）の貢献があった。また、ホンジュラス側の予算支出については、以下の通り概算することができる。

- SSIS 予算負担 (ACTIVO モデル普及展開経費) : 約 16.5 万レンピーラ<sup>7</sup>
- 対象 5 市自治体の予算負担 (ACTIVO モデル適用経費) : 約 52.1 万レンピーラ<sup>8</sup>
- 信用組合セクターの予算負担 (ACTIVO モデル推奨の小規模金融業務導入経費) : 約 920 万レンピーラ<sup>9</sup>

<sup>7</sup> SSIS 地方組織強化課長と相談の上、概算した。ACTIVO モデル普及支援に係る地方組織強化課職員の出張経費 8,750 x 計 11 回で約 96 千レンピーラ。ACTIVO モデル準拠研修実施費用負担は、20x3,439 世帯で約 69 千レンピーラ。合せて、約 165 千レンピーラ。

<sup>8</sup> 2019 年実施の第 2 次エンドライン調査によると、対象 5 市の参加世帯の約 23%が資産供与を受けた。1 件当たり 300 レンピーラとすると、300 x 4,382 世帯 x 0.23=約 302 千レンピーラ。各世帯への研修経費を約 50 レンピーラとすると、計 219 千レンピーラ。合計すると、521 千レンピーラ。

<sup>9</sup> 全国信用組合連合会 (FACACH) 財務部長と概算。小規模金融様式を導入した 8 信組での必要人員の雇用・活動経費が 30 万 x 計 24 人で 7.2 百万レンピーラ。FACACH での小規模融資及び開業希望者支援融資プログラム立上げの必要人員の雇用・活動経費が 50 万 x 計 4 人で 2 百万レンピーラ。合せて 9.2 百万レンピーラ。

### 第3章 プロジェクト活動と目標・成果の達成状況

本プロジェクトの活動には、主に、①ACTIVO モデル実施に関わる活動、②ACTIVO モデル実施環境整備としての金融包摂推進、③ACTIVO モデルの施策化の3つが含まれる。3.2 節以降では、これら3つの主要活動の内容と成果について報告する。

各活動の内容・成果の報告に先立ち、3.1 節では、ACTIVO モデルによる成果・効果の概要を示す。また、3.5 節では、当初プロジェクト設計から見た成果達成状況の情報を纏める。

#### 3.1 プロジェクト全体の成果・効果の概要

本プロジェクトによる ACTIVO モデルが生み出してきた成果・効果の概要を、下図の通り纏める。下図の通り、ACTIVO モデルは、貧困削減施策として、全国的に普及するようになり、8,878 世帯（約 5 万人と推計される）の最貧困層に対して適用された。また、参画金融機関を通じて、最貧困層・貧困層に適した金融商品・サービスの提供もなされるようになった。このモデルの適用は、最貧困層の家計管理強化、金融利用活発化、生計向上に貢献し、世帯年収に対して、4 万 5 千円程度の好影響を生み出していると推計される。

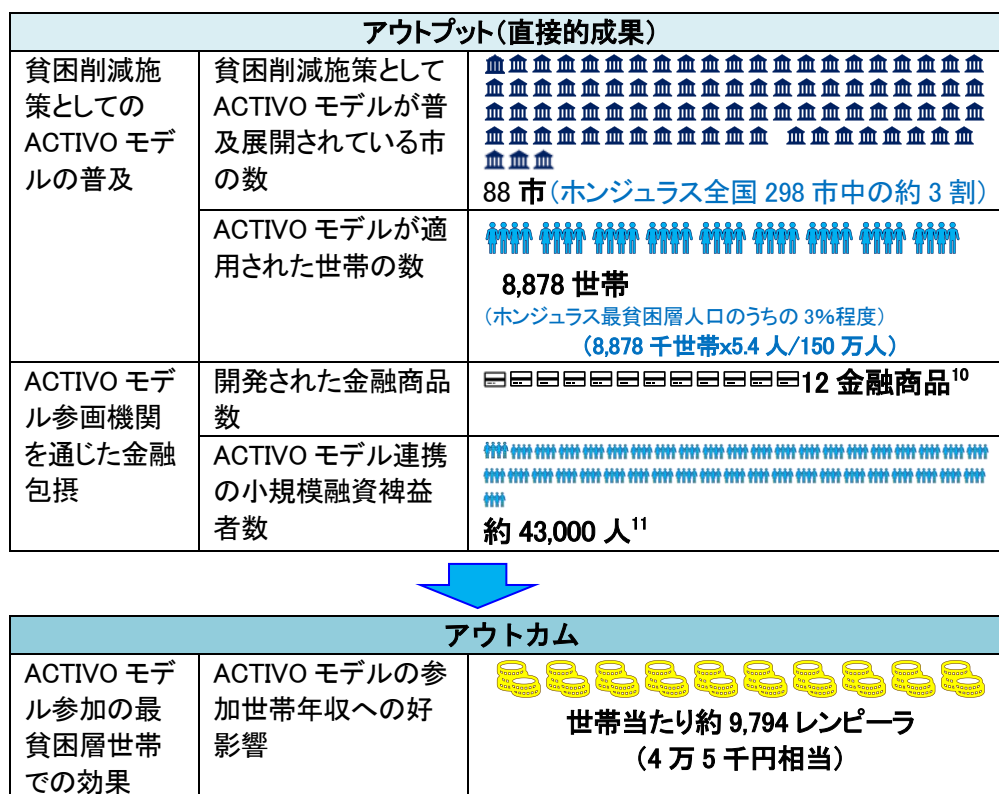
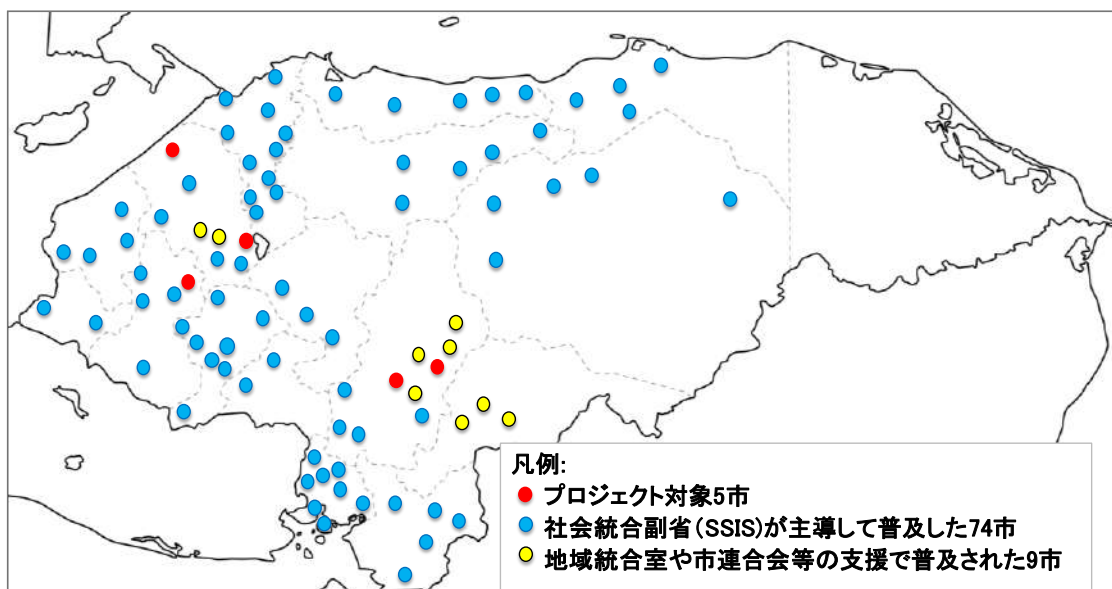


図 3-1 ホンジュラス版卒業モデル (ACTIVO モデル) の主な成果・効果

<sup>10</sup> 8 信組での新小規模金融様式導入 (8 件)、タランガ信組の開業者支援融資、サン・マルケーニャ信組の社会性商品 (学資融資等)、FACACH の開業希望者支援融資、バンルラルの新商品セットの計 12 商品。本プロジェクトが間接的に支援した商品を含めると、更に多い。

<sup>11</sup> 上述 8 信組と ACTIVO モデル参画銀行の提供した小規模融資の受益者総数は、約 4 万 3 千人である。

ACTIVO モデルの全国普及展開状況について補足する。本プロジェクトは、元々5 市を対象としてきたが、これら 5 市の成功に触発されて、相手国実施機関である社会統合副省（SSIS）が ACTIVO モデル全国普及に着手した。併せて、社会包摂政策副省の地域統合室等の尽力により、他市にも普及された。結果、既述の通り、2020 年 1 月時点までに、計 88 市の 8,878 世帯に ACTIVO モデルが適用された。モデル普及展開状況と各市の参加世帯数を以下に示す。



県	市	参加世帯数
Francisco Morazán	Tegucigalpa	1,160
	Villa de San Francisco	394
	Maraita	63
	Alubarén	48
	Lepaterique	46
	Curaren	51
	Valle de Angeles	233
	Cantarranas	434
	Talanga	110
	San Antonio de Oriente	174
小計	2,713	
Santa Bárbara	Las Vegas	731
	Quimistán	1,187
	Protección	37
	Santa Rita	32
	Chinda	38
	Azacualpa	39
	San Nicolas	50
小計	2,314	
Lempira	San Rafael	910
	San Sebastian	44
	La Iguala	49
	Tomala	40
	Talgua	29
小計	1,072	
Copan	Copan Ruinas	45
	Santa Rita	44
	Nueva Arcadia	40
	San Jose	40
小計	169	
Choluteca	Apacilagua	40
	Marcovia	44
	Namasigue	40
	Pespire	40
	San Marcos de Colon	39
小計	203	

県	市	参加世帯数
Gomayagua	Villa de San Antonio	39
	Ajuetruque	62
	Siguetepeque	39
	小計	140
	Gortés	San Manuel
Villanueva		44
Proterrillos		40
San Francisco		44
San Antonio		40
Lima		42
San Pedro Sula		161
Pimienta		40
Puerto Cortes		41
Omoa		37
Choloma	38	
小計	567	
Intibuca	San Miguelito	40
	Intibuca	40
	Yamaranguila	40
	San Marcos de la Sierra	40
	San Antonio	40
	San Francisco de Opalaca	40
Jesus de Otoro	40	
San Juan	40	
小計	320	
Ocotepeque	Concepcion	50
	San Marcos	42
小計	92	
La Paz	Chinacua	43
	Yarula	40
	小計	83
El Paraíso	San Matias	15
	Potrerillos	15
	Yuscaran	101
小計	131	

県	市	参加世帯数
Valle	San Francisco de Cor	37
	Nacaome	40
	Langue	44
	Goascoran	42
	San Lorenzo	40
	Alianza	40
	Amapala	40
Aramecina	32	
小計	315	
Olancho	Silca	40
	Gualaco	40
	Dulce Nombre de Culr	41
	La Union	40
	Guata	40
	小計	201
Colón	Trujillo	40
	Santa Rosa de Aguan	40
	Sonaguera	40
	Tocoa	40
小計	160	
Yoro	Sulaco	39
	Yoro	40
	Olanchito	40
	El Arenal	35
	Jocón	44
小計	198	
Atlántida	El Porvenir	40
	Tela	40
	Jutiapa	40
	La Ceiba	40
	Esparta	40
小計	200	

対象5市参加世帯数	4,382
SSISの普及展開市での参加世帯数	3,439
地域統合室等促進の参加世帯数	1,057
参加世帯数の総計	8,878

図 3-2 ホンジュラス版卒業モデル（ACTIVO モデル）普及展開状況の全体図

### 3.2 ACTIVO モデル実施に関わる活動内容と成果

第2章に示した実施方法及びプロセスに則り、ホンジュラス版卒業モデルとして、ACTIVO モデルの実施を推進してきた。時系列的に見ると、次の5つの活動に整理される。

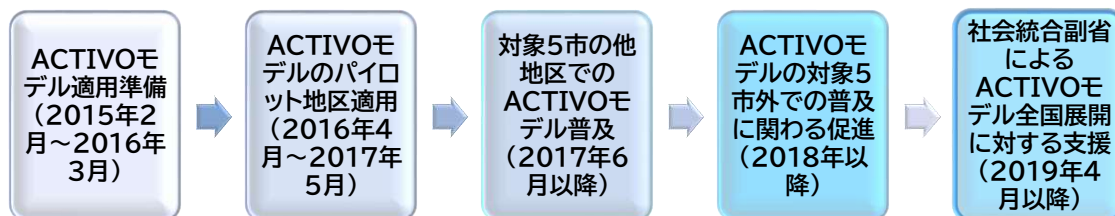


図3-3 時系列でみた ACTIVO モデルの実施展開活動

これら5つの活動について、以下、各々の内容と成果を紹介する。

#### 3.2.1 ACTIVO モデル適用準備に関わる活動と成果 (2015年2月～2016年3月)

プロジェクト開始直後の2015年2月から2016年3月の期間では、ACTIVO モデル適用準備として、主に、次の作業を進めた。

- ① 本プロジェクト実施チームの体制作り (中央チームと各市ワーキンググループ形成)
- ② パイロット地区選定とパイロット世帯に関わるベースライン調査
- ③ 同調査結果を踏まえた ACTIVO モデルの起案 (モデル愛称作り、教材作り等)

上述①の実施体制は前章で報告したところ、本節では、②と③について、以下に述べる。

##### (1) パイロット地区・世帯の選定とベースライン調査

本プロジェクトでは、まずプロジェクト対象5市のパイロット地区・世帯において ACTIVO モデルを試行し、その後、その経験を踏まえて広域展開を図るという方法を用いた。このために、プロジェクト初年次では、「パイロット地区・世帯の選定<sup>12)</sup>」が、重要な活動の一つであった。

パイロット地区・世帯選定後、パイロット地区最貧困層世帯のベースライン調査を実施した。同調査の目的は、⑦現地最貧困層の状況・課題を把握して適切なモデル適用を検討すること、④パイロット期間終了後の効果検証内容の設計の参考情報を得ること等であった。2015年実施のベースライン調査結果概要を下表に示す。

<sup>12)</sup> ランダム化比較試験 (RCT) による効果検証を行えるようにするため、対象5市の市街地では、ホンジュラス政府の CCT 受給世帯リストに基づき、世帯レベルで処置群 (パイロット世帯) と対照群 (モデルを適用しない世帯群) を無作為割当てした。村落部では、介入効果の波及流出影響を抑え、且つ、モデル適用展開にあたり、世帯レベルよりも適切と思われる集落 (Caserio) を介入の単位とした。以上に則り、パイロット世帯 (処置群) と非パイロット世帯 (対照群) について、市街地と村落部で約 500 世帯ずつ選定し、これら計 2 千世帯程度の最貧困層に対して、2015年6～9月、ベースライン調査を行った次第である。なお、RCT とは、無作為割当てされた 2 群 (介入群と非介入群) について比較することで、介入効果を客観的に検証するための手法である。

表 3-1 最貧困層（CCT 受給世帯）のベースライン調査（2015 年 6～9 月）結果概要

<p>一般事情</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>世帯構成：</b> 30～40 歳代の夫婦を中核とした世帯が多く、家族構成員の人数は平均して 5 名強。うち約 1.7 名が就労している。</li> <li>● <b>教育水準：</b> 16 歳以上の家族構成員のほとんどは、小学校卒業又は中退である。村落部では家長の約 3 分の 1 が、読み書きができない。</li> <li>● <b>給付金：</b> 多くの世帯が金融機関を通じて受給している。結果、調査対象世帯の約半数が預金口座を保有するに至っている。給付金の主な用途は、食費と教育費である。</li> <li>● <b>金融サービス利用状況：</b> 対象世帯の保有口座の約半数が残高 200 レンピーラ未満である。実質的な遊休口座も多い。過去 12 カ月以内に融資を利用している世帯は、全体のわずか 3% 強である。穀物、家畜、住宅資材を貯金代わりにしている世帯もある。</li> <li>● <b>家計：</b> 多くの世帯の収入は、法定最低賃金レベルに及ばない。CCT 給付金は、世帯総収入の 1 割弱を占める。家計簿を作成していると回答した世帯は全体の 7% 弱。うち、実際に記帳しているのは、その半数程度と見られる。</li> <li>● <b>生計活動：</b> 全般的に見て、農業収入や自営業収入よりも被雇用収入のほうが高い。</li> </ul>
<p>家計・生計事情</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 家計簿を作成している世帯は、（そうでない世帯より）経済活動及び金融サービス利用が活発である。</li> <li>● 金融機関に対する信頼度、口座知識が高いと、貯蓄目標額も高い傾向にある。</li> <li>● 貯蓄目標を設定している世帯では、預金残高を増やす傾向が強い。</li> <li>● 融資を活用する世帯は、金融知識・家計管理能力が高い傾向にある。</li> </ul>

## （2）ベースライン調査結果を踏まえた ACTIVO モデルの設計

上述のパイロット地区 CCT 受給世帯のベースライン調査結果を踏まえて、2015 年後半から 2016 年 3 月にかけて、ホンジュラス版卒業モデルとしての ACTIVO モデル設計のための諸作業を行った。具体的な作業内容には、以下が含まれる。

- モデル愛称の選定（JICA 専門家チームで複数案を起案の上、SSIS 副大臣が ACTIVO モデルという愛称を選定した。）
- 各種教材及び家計簿フォーマット起案・準備
- 金融機関との連携準備
- 次年度以降の研修実施方法を検証するための最貧困層向け試行的研修の実施（2015 年 8～10 月に女性 396 名と男性 53 名が参加した。）



試行的研修の様子（左：年間収支カレンダーの検討、右：貯蓄で実現したい夢の意見交換）



### 3.2.2 ACTIVO モデルのパイロット適用の活動と成果（2016年4月～2017年5月）

上述の通り、2016年3月までにACTIVOモデルの基本設計を終え、その後、2016年4月から2017年5月までの約1年間、対象5市パイロット地区において、同モデルを適用した。モデルを適用したのは、約1千世帯のパイロット世帯（処置群世帯）に対してである。本節では、このパイロット地区におけるモデル適用に関わる主な活動内容と、その成果を報告する。

#### （1）パイロット活動の内容

パイロット期間（2016年4月から2017年5月までの約1年間）では、ACTIVOモデルに基づき、対象5市のパイロット世帯（処置群世帯）の自助努力を促すため、以下の通り、研修・コーチングの提供、資産供与、金融商品・サービス提供を進めた。（なお、CCT受給者のほとんどが女性であることから、ACTIVOモデル試行の直接的受益者の多くも女性であった。）

- **研修の実施：** ほぼすべての処置群世帯が、少なくとも1回以上の研修に参加した。各世帯は平均5回程度の研修講座に出席した。実施した研修内容等は、以下のとおりである。
  - **導入研修：** ①貯蓄目標設定と②家計簿導入を主目的とした研修。2016年4月に実施。
  - **家計管理研修：** 2016年5月に実施し、家計簿作成や年間資金フロー等を取り上げた。上の導入研修と、この家計管理研修では、主に、市職員とSSIS普及員が講師を務めた。
  - **金融教育：** 2016年6月以降に、市職員、SSIS職員、金融機関職員、国家銀行保険委員会（CNBS）職員が講師となって実施した。
  - **生計向上研修：** 2016年6～7月、市職員やSSIS普及員などを講師として、地元需要を踏まえた生計向上計画作成研修を実施した。各世帯で作成された生計向上計画を踏まえて、2016年9月～2017年5月にかけて、就業支援研修、開業技術研修（経営計画、縫製、養鶏等）を複数回行った。講師は、地元零細ビジネス経営者（例：調理講座における地元レストラン経営者）、公的機関関係者（労働省職員等）が務めた。2016年中の研修は、本プロジェクトの直接的調整により実施されるものが多かったが、2017年以降、市（自治体）が主体的に企画・予算負担することが多くなった。



家計簿講習



縫製講座



労働省の職業紹介



自治体等による資産供与

- **生業活動用資産供与：** 生計向上研修の実施と併せて、生計向上活動用の資産供与の調整も行った。資産には、市自治体からの零細ビジネス補助金、農業資材（簡易灌漑設備等）、中央政府施策「より良い生活プログラム」による製パン資材（オープン）等が含まれる。






- **コーチングの提供：** パイロット期間中、コミュニティリーダーによるコーチングも実施した。処置群1,003世帯のうち800世帯がコーチングを受けた。各世帯のコーチング受入れ回数平均は約4回であった。コーチングでは、個別の家庭訪問やグループ形式での相談会等を通じて、家計簿記帳実践に関わる助言提供等を進めた。

## (2) 教材の精緻化と整備

既述の通り、ACTIVOモデルによる研修・コーチングのために、最貧困層向けの教材や家計簿フォーマット等が準備された。これらの教材等は、パイロット活動の進捗と共に、その経験を踏まえながら随時改良をしていった。こうして、パイロット期間中にかけて、各種教材が精緻化されていった。主な教材等について、下表の通り紹介する。

表3-2 パイロット期間を通じて精緻化されたプロジェクト教材  
(パイロット期間後に最終化されたものも含む)

<p>最貧困層向け <b>ACTIVO</b> モデル準拠の研修教材</p>	<p>最貧困層向け研修・コーチング等で活用するメイン教材は、家計管理、金融利用、生計向上の3モジュールの教育内容を一括して扱っている。貯蓄、家計管理、金融基礎、生計向上計画、事業計画等の各テーマについて、見開き2頁ずつで提示している。以下にイメージを示す。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>表紙</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>貯蓄説明ページ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>生計向上のページ</p> </div> </div>
<p>家計簿フォーマット</p>	<p>家計簿フォーマットでは、毎月の収支を記録できるようにした他、貯蓄目標設定のためのフォームも用意した。貯蓄をするために、家計管理を強化するという意識付けを図るためである。</p>
<p>補助ビデオ教材</p>	<p>補助教材として、①家計管理、②金融利用、③生計向上に関わるビデオ教材を用意した。ウェブ上で視聴可能にした (<a href="https://p-active.jimdofree.com/">https://p-active.jimdofree.com/</a>)。研修で参加者間議論を促すための素材として使ったり、自習に活用したりすることができる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>家計管理教育ビデオ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>金融教育ビデオ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>生計向上教育ビデオ</p> </div> </div>

### (3) ACTIVOモデルのパイロット適用による効果

2016年4月から2017年5月に実施してきたパイロット活動の効果を検証するため、処置群世帯（パイロット世帯：約1千世帯）と対照群世帯（比較のための非パイロット世帯：約1千世帯）に対して、質問票調査を行った。本プロジェクトでは、これを第1次エンドライン調査と呼んでいる。

第1次エンドライン調査では、ランダム化比較試験（RCT）<sup>13</sup>に基づいて、分析を行った。すなわち、処置群と対照群は、無作為割付けによるものであるため、両群の背景には相違がないという前提で、比較分析を行った。

第1次エンドライン調査の主な結果を下に示す。下図の通り、家計簿作成、緊急時資金における貯蓄活用、預金残高増加、生計活動等の指標において、両群間で有意差が観察された。パイロット世帯において、ACTIVOモデル資産形成効果、家計安定化効果が実証されたと言える。これらの図から、特に、貯蓄形成により生活・生計が安定しやすくなったことが示唆されており、これがACTIVOモデルの成功要因につながっているものと考えられる。（下の図において、\*\*\*、\*\*、\*は、各々、有意水準1%、5%、10%の有意差を示す。）

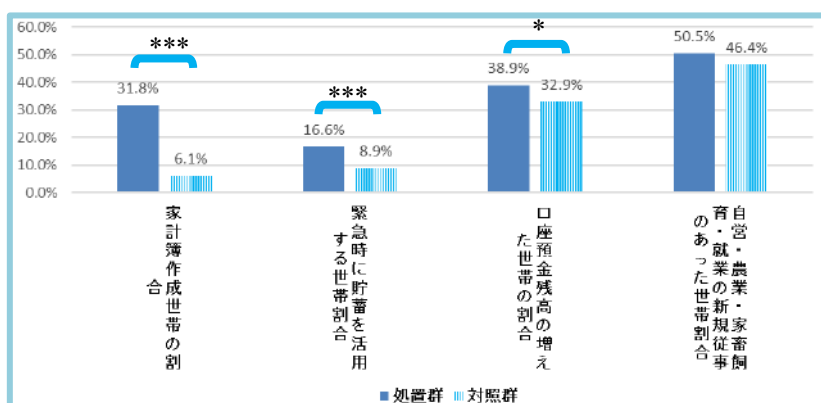


図3-4 第1次エンドライン調査結果概要（市街地での結果）

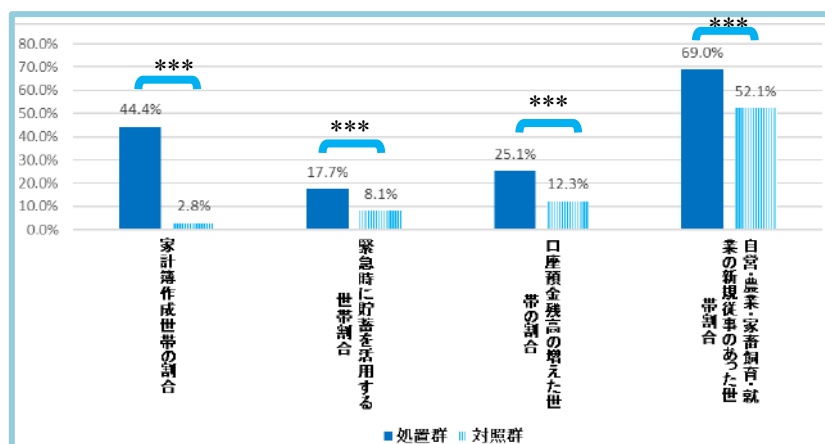


図3-5 第1次エンドライン調査結果概要（村落部での結果）

<sup>13</sup> 実証分析のための手法。実際に介入を行うべき処置群と、その比較対象となる対照群（又は統制群と呼ぶ）を無作為割当てして、介入後において両群の比較を行う。回帰分析よりもエビデンス性が高いとされる。

### 3.2.3 対象5市のACTIVOモデル普及展開活動と成果（2017年6月以降）

既述の通り、ACTIVOモデルは、パイロット地域において、最貧困層の貯蓄習慣及び家計管理強化を促すことができた。これはRCTの分析結果によっても実証された。

これにより、対象5市では、2017年6月以降、ACTIVOモデルをパイロット地区内外にも普及しようとする動きが強まり、本プロジェクトとしても、これを推進した。

この取り組みは本報告書作成時点でも展開中であり、本プロジェクト期間満了後も、現地自治体等により継続される見通しである。本節ではこの取り組みの活動内容と成果を紹介する。

#### （1）対象5市の広域におけるACTIVOモデル普及展開活動の概要

2017年6月以降の対象市パイロット地区内外でのモデル展開活動の特徴は、次の通りである。

- それまでのパイロット活動の教訓を活かして、金融機関の巻き込み、市場アクセス等のマーケティング活動が強化された。各市での普及展開に関わる主な特徴は次の通りである。
  - ▶ テグシガルバ市：大都市ならではの零細ビジネス開発を踏まえて展開が図られた。
  - ▶ サン・ラファエル市：ジェンダー課題を意識したモデル展開が図られた。
  - ▶ ラス・ベガス市：銀行や地元商店等とのネットワーク性を活かした展開がなされた。
  - ▶ キミスタン市及びビジャ・デ・サンフランシスコ市：市自治体の最貧困層による生業用資産の供与等、市の自発性の強いACTIVOモデル展開が図られた。
- 2020年1月までの対象5市におけるACTIVOモデル適用世帯数（当初のパイロット世帯を含む）は、下表の通り、4千世帯を超えた。

表 3-3 対象5市におけるACTIVOモデル適用世帯数（2020年1月現在）

	旧処置群	旧対照群	新参加群	合計
ラス・ベガス市	153	146	432	731
キミスタン市	255	246	686	1,187
サン・ラファエル市	201	181	528	910
テグシガルバ市	245	228	687	1,160
ビジャ・デ・サンフランシスコ市	129	118	147	394
合計	983	919	2,480	4,382

上表のうち、旧対照群とは、既述の第1次エンドライン調査においてパイロット世帯群との比較のためにモデル適用をしなかった世帯群である。パイロット期間（2016年4月～2017年5月）終了後に、ACTIVOモデルが適用された。これに対し、新規参加群は、旧対照群以外で、新たにモデルを適用した世帯である。市自治体のイニシアティブによりモデル適用されたため、CCT受給世帯以外の最貧困層・貧困層も含まれている。元々のパイロット世帯（旧処置群）に対しては、その自発的な活動の継続を促した。但し、追加的に研修に出席した世帯もある。

以下、各市でのACTIVOモデル普及活動の概要を紹介する。

## (2) ビジャ・デ・サンフランシスコ市での ACTIVO モデル普及展開状況

ビジャ・デ・サンフランシスコ市は、首都から近いが、産業は少ない。これまで銀行支店がなく、2017年1月に、ようやく民間銀行バンルラルの支店が開設されたところである。このバンルラルの支店は、ACTIVO モデルと整合して、地域住民の預金奨励等を進めてきた。

市自治体は、ACTIVO モデル準拠研修を修了した裨益者に対して、生業強化に向けた支援を行っている。具体的には、生業用資産として、業務用冷凍庫、発電機等を供与したり、市の観光促進イベントに最貧困層を招待して販売機会を提供したりしている。



市創設記念祭での地元産品展示販売 (ACTIVO モデル参加世帯も出展)

同市におけるモデル普及展開状況を下図に示す。

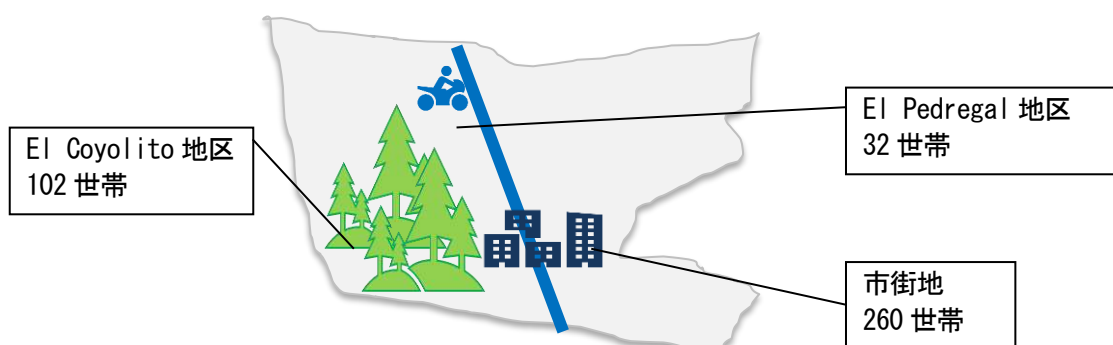


図 3-6 ビジャ・デ・サンフランシスコ市でのモデル普及状況地図

市自治体は、プロジェクト終了後も、ACTIVO モデルの実施を継続する意向を示している。

以下に、同市における参加世帯の例を示す。ACTIVO モデル参画金融機関を通じた金融アクセス改善が、最貧困層の貯蓄形成に役立っている様子が窺える。

表 3-4 ビジャ・デ・サンフランシスコ市での世帯の取り組み事例

遠隔地の不便さを活かしたビジネス	この事例は、山間の村落部に居住する女性のケースである。買い物に不便な遠隔地域ならではの商売に取り組んでいる。近所の住民から注文を受け、商品（衣類、豚、家電等）を仕入れ、販売をするビジネスである。店舗を設置しておらず、在庫リスクがない。家計管理研修で習った帳簿作成を実践しており、商品ごとに収支を記録している。家計簿技術をビジネス会計にも役立てている好事例である。
預金習慣の形成	この事例は、市中心部に住むシングルマザーである。ACTIVO モデル準拠研修を受講後、貯蓄の重要性を理解し、スイカ農園での賃金の一部を民間銀行バンルラルの口座に預金するようになった。口座預金の利点として、通帳に記録されるために、貯蓄計画実践度が可視化しやすく、貯蓄意欲を高めている。新たに銀行支店が開設されたことを受けて、金融包摂による資産形成が図られた好事例である。

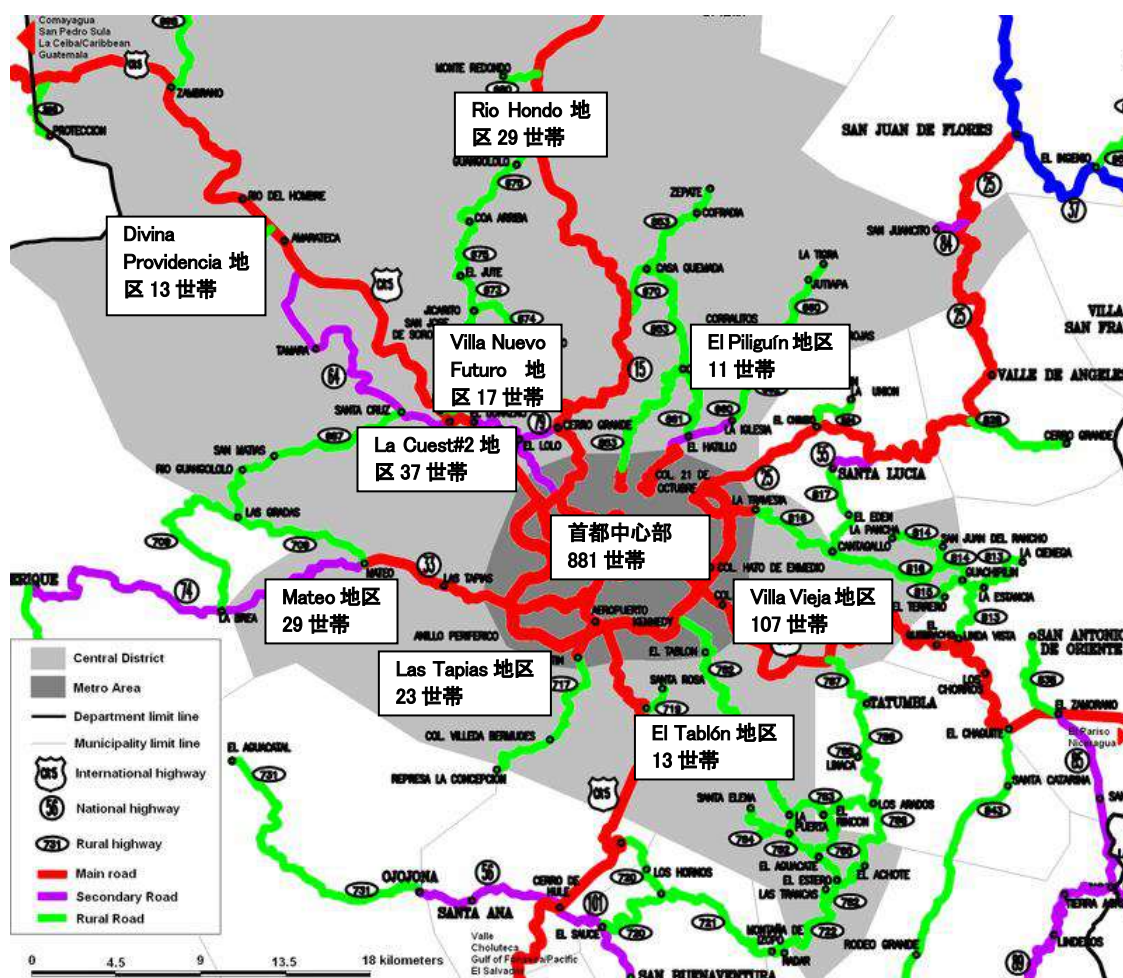
### (3) 首都テグシガルパ市での ACTIVO モデル普及展開状況

テグシガルパ市は首都であり、本プロジェクト対象 5 市のうち、最も人口が多い。金融機関の本支店も多数営業している。他方、世界的に見ても不安定な治安状況にあるホンジュラスの中でも、テグシガルパには、特に治安の悪い地区が多い。

テグシガルパでの ACTIVO モデル適用普及では以下の特徴があった。

- SSIS 普及員と協力して、市女性課職員が、ACTIVO モデル準拠研修の講師等を担ってきた。
- 金融機関と連携した研修、市女性課と連携しての市場アクセス支援（生計向上に向けた、最貧困層の生産品の販売のため）等、都市圏の利点を生かした活動が展開された。
- 治安の影響や都市におけるコミュニティ社会基盤の脆弱性等のため、他の対象 4 市と比べて、コミュニティリーダーによるコーチング活動の実施は難しかった。

下図に、首都テグシガルパ市内で ACTIVO モデルを展開してきた地域を示す。参加世帯の大半は中心部（特に中心街・商業街に近い住居地域）に居住している。中心部の中で、特に参加世帯数が多いのは、旧市街地北辺のエル・ボスケ地区（79 世帯）とバリオ・アバホ地区（131 世帯）である。



<https://en.wikipedia.org/wiki/Tegucigalpa>

図 3-7 テグシガルパ市でのモデル普及状況地図



テグシガルパ市のバリオ・アバホ地区における取組事例2件を下表に紹介する。

下表の事例からは、以下の示唆を得ることができる。

- 家計管理の知見は、零細ビジネス会計の能力強化にも役立ち、結果、企業家としての視座を養うことにもつながる。零細ビジネスでは、家計とビジネス会計が分離していないが、逆に、これを一括して扱った上で強化することも有効な方策になり得る。
- 融資や口座預金等の金融商品を適切に活用するためには、会計能力強化が重要である。
- 治安の悪い都市圏では、市営市場等で商売することが重要な選択肢になり得る。

表3-5 テグシガルパ市バリオ・アバホ地区での世帯の取組事例

<p>預金・融資を活用した事業拡大</p>	<p>この事例では、最貧困層女性が自宅内に店舗を構え、野菜や果物等を対面販売している。店舗は小さいながらも、家庭用冷蔵庫を備えており、商売は順調である。</p> <p>この最貧困層女性は、銀行及び信組の複数の融資を上手く活用してきた。融資は、前述した店舗の整備のほか、居住空間の改装に充てた。複数の返済義務が並行して生じていたが、返済期日から遅延することは一度もなく、本人は誇りに思っている。家計管理研修で学んだ収支管理・記録のノウハウが役立ったとしている。</p>	 <p>帳簿作成の様子</p>  <p>自宅内販売スペースの様子</p>
<p>開業が成功し、リーダーになった例</p>	<p>この事例の最貧困層女性は、2016年当時、対照群（非パイロット世帯）に無作為割当てされていた。すなわち、ランダム化比較試験の適用のために、研修に招待されていなかった。しかし、ACTIVOモデルの研修があることを隣人から聞き、度々研修会場に足を運んだため、主催者側としても参加を拒むことができなくなった。</p> <p>受講当初、経済状況が悪く病気がちであったが、家計簿管理や貯蓄習慣を強化して、その貯金を元手に、商売を開始した。息子夫婦も商売に参加し、自宅店舗と市営市場の両方で商売を拡充していくことができるようになった。家計管理研修で学んだことがビジネスにも役立ったとしている。利益が増え、家も増築した。</p> <p>その後、本プロジェクト実施機関のSSISの脆弱層支援部は、CCT卒業戦略の一環として、より多くの最貧困層女性が生計向上を図ることができるようにするため、この女性をリーダーとする女性グループを形成した。この女性の経験が成功事例として共有・活用されていくことが期待される。</p>	 <p>市営市場での販売の様子</p>  <p>自宅隣接店舗の様子</p>



#### (4) サン・ラファエル市での ACTIVO モデル普及展開状況

サン・ラファエル市はレンピーラ県に属する。2020年3月時点で、対象5市のうち、唯一銀行支店が存在しない。近隣市を結ぶ街道はアスファルト舗装されておらず、市街地は山々に囲まれて主要都市からのアクセスは良くない。古くからの伝統も根強い。

同市では、副市長が市実施チームのリーダーとなり、女性課が実際の ACTIVO モデル展開を進めている。副市長の指揮下、毎月、市女性課、中央政府施策（社会保護、農業振興、教育、保健）の市駐在スタッフが会議を行い、その枠組みを通じて ACTIVO モデルを適用している。例えば、農業振興支援を受けた貧困世帯に、女性課が家計管理研修を行うことを計画したり、有望な女性グループに女性課予算で資産供与したりする等の調整を行っている。こうした枠組みによる ACTIVO モデル活用は、本プロジェクト期間満了後も継続される見通しである。なお、副市長は女性であり、ACTIVO モデルに共感し、自らも家計管理研修の講師となって、最貧困層女性の啓発に取り組んでいる。同市における ACTIVO モデル普及展開状況を地図に示す。



図 3-8 サン・ラファエル市でのモデル普及状況地図

金融教育実施においては、民間銀行バンルラルのラ・ウニオン支店（サン・ラファエル市からは 10 キロメートル程度の距離）とも協力関係にある。

銀行支店のないサン・ラファエル市において、口座開設希望者が 10 人程度集まれば、バンルラル行員が出向いて、口座開設手続きをとってくれた。



銀行支店のないサン・ラファエル市における民間銀行職員による口座開設促進

下表に、同市における参加世帯の事例を示す。これらの例や、これまで副市長及び市女性課職員と意見交換してきたことを踏まえると、マチスモと呼ばれる男性上位文化が根強いサン・ラファエル市の場合、以下のような配慮・視点が重要であると考えられる。

- マチスモの影響により、女性は自由に家から外出できない場合がある。他方、研修への招待・参加は、女性が家から外出する機会にもなる。研修会場での意見交換を通じて、女性のエンパワメントを図ることが重要である。(同様に、銀行口座を開設して金融行動を行うことは、女性の外出機会を増やすことにもなる。)
- 女性同士で生業活動を開始し、また、それによる生産品を近隣等に販売することで、最貧困層女性の経済的・社会的活動範囲を広げることができる。グループによるビジネスは、利益分配で争いの原因になることもあるが、マチスモの根強いサン・ラファエル市の場合、女性のグループ活動はエンパワメントの観点から推奨され得る。

表 3-6 サン・ラファエル市での世帯の取組事例

<p>市女性課の支援を受けたグループでのビジネス</p>	<p>エデン地区に住む ACTIVO モデル参加女性は、コーヒー収穫時期の季節労働者としての収入が唯一のものだった。現在、彼女は、トウモロコシ製粉サービスを営む女性グループ経理担当者として精力的に働いている。売上等の記録に際し、ACTIVO モデル準拠研修で学んだ家計簿の知識を応用している。</p> <p>この女性グループは、市の女性課により、エデン地区に住む ACTIVO モデル裨益者女性 7 名で形成された。市の女性課は、2019 年 3 月、ACTIVO モデルの研修修了者に対する支援の一環として、このグループに製粉機を供与した。</p> <p>トウモロコシ製粉サービス業は、ホンジュラスの一般家庭の主食であるトルティーヤ作りのため需要が高い。そのため、グループとしての貯蓄も増えてきた。</p>	 <p>市自治体供与の製粉機</p>
<p>仕入費用削減による零細ビジネス例</p>	<p>ケルコ地区に住む ACTIVO モデル参加女性は、自宅内に小規模店舗を設置している。ACTIVO モデルで学習した節約（支出入の把握、貯金）の考え方を応用して、それまで大きな課題であった運転資金のやりくりを見直した。商品として売る野菜の仕入れの一部を自家栽培に切り替えることで、仕入費用の削減に成功した。</p> <p>また、ACTIVO プロジェクトを踏まえて、市女性課が実施支援したパン作り研修にも参加した。その後、ACTIVO プロジェクトの裨益者 8 名が形成したパン製造グループに参画し、会計係を務めている。参加者は、研修で作ったパンの収益金 650 レンピーラ（約 3 千円）を、グループ事業の元手として、市自治体の供与した資材を活用してパン作りを進めている。</p>	

### (5) ラス・ベガス市での ACTIVO モデル普及展開状況

ラス・ベガス市は、サンタ・バルバラ県に属し、山岳地域と湖岸地域の双方がある。湖岸地域では、淡水魚販売や観光を生業とする住民もいる。山岳地ではコーヒー栽培が盛んである。この他、鉱山があり、複数の金融機関が市街地に支店を持っている。鉱山労働者については、月1千米ドル程度稼ぐ者も少なくないそうである。

市自治体では、土地台帳・社会保護政策担当職員が ACTIVO モデル普及を担当し、副市長及び SSIS 普及員と連携しながら、各地域のコミュニティリーダーと打合せをして、モデル普及を展開してきた。各地域に、市自治体と連携した女性リーダーが配置されているのが、ラス・ベガス市での ACTIVO モデル実施体制の大きな特徴である。ラス・ベガス市での普及状況を以下の地図に示す。

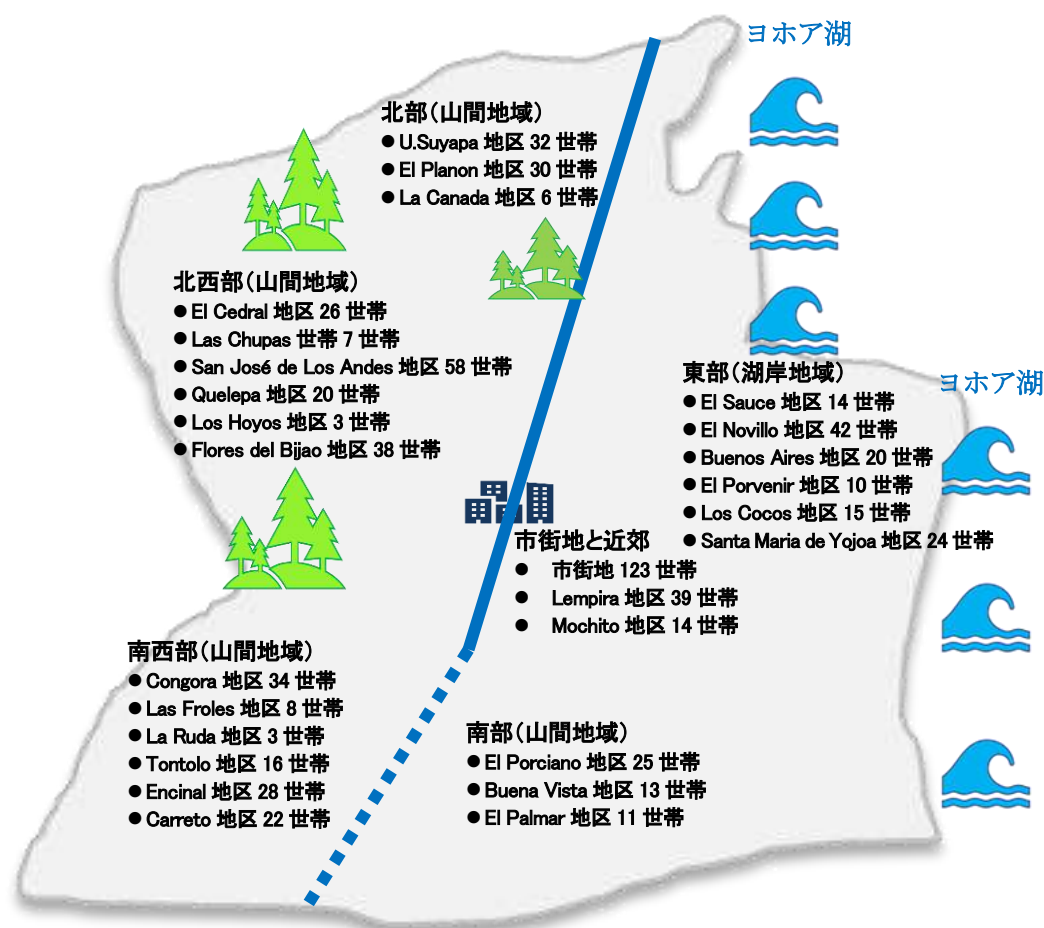


図 3-9 ラス・ベガス市でのモデル普及状況地図

ラス・ベガス市における ACTIVO モデル普及では、市自治体、SSIS 普及員の他に、民間銀行オクシデンテ銀行の支店が積極的な役割を果たしてきた。



オクシデンテ銀行支店長による週末の金融勉強会



同行ラス・ベガス支店は、市自治体等と連携して、市内各地で、金融利用に関わる相談会を行ったり、口座を開設しようとする現地住民に対し、迅速な対応をしたりしている。

また、地元資本の小売店も、最貧困層を含む地元生産者の製品を積極的に取り扱っている。これは、市自治体による週末市と共に、ACTIVO モデル参加世帯にとっては、大きな市場機会となっている。以下、ラス・ベガス市における参加世帯の取組事例を紹介する。



地元資本の小売店による  
地元生産者製品の販売

表 3-7 ラス・ベガス市での世帯の取組事例

<p>コミュニティーリーダーとして口座を率先して導入した例</p>	<p>この事例の女性は、村落部のコミュニティリーダーである。女性の住む地区は、市街地からは、舗装された道路で連絡されておらず、2019年になってから、新たに、ACTIVO モデル適用対象地区となった。</p> <p>この女性は、SSIS 普及員が講師を務めた ACTIVO モデル準拠金融教育を踏まえて、早速、貯蓄を開始した。そのために、2019年に、オキシデンテ銀行ラス・ベガス支店で、預金口座を開設したところである。同支店は、ACTIVO モデル普及に協力しているところ、迅速に口座開設手続きをとってくれた。</p> <p>預金口座には、零細ビジネスで捻出した利益を貯めており、この貯金を使って、自宅の改修を行おうとしている。この女性は、地区女性 12 名のリーダーとして、口座利用方法や家計簿作成等について、他の女性の相談役にもなっている。</p>	 <p>リーダー女性の住む家</p>
<p>研修受講者が近隣市の講師になった例</p>	<p>ACTIVO モデル準拠の生業研修に、ほぼ毎回参加して、その度に新たなスキルを習得してきた女性がいる。技術習得後、ビジネスとして試し、現在では、くす玉、自家製菓子、野菜ピクルス、ドーナツ、自家製洗剤、養鶏等の事業に取り組んでいる。</p> <p>彼女は、自分の経験を他の最貧困層に伝えることに意欲的であり、SSIS 普及員の調整により、他市（チンダ市）で研修講師を務めることもある。他市が講師として招聘する場合、SSIS 普及員の調整により当該自治体が交通費を負担している。</p>	 <p>多様な取り扱い製品 (ピクルス、洗剤、菓子)</p>

上の事例の通り、SSIS 普及員は、ラス・ベガス市自治体と連携しながら ACTIVO モデル準拠研修の講師を担当している他、他市 SSIS 普及員と連携して、サンタ・バルバラ県全体でのモデル普及にも取り組んでいる。ラス・ベガス市の先行経験を近隣市で役立てることは、まさにパイロット市として期待されている役割である。本プロジェクト期間満了後も、SSIS 普及員が自治体に協力する形で、この地域での ACTIVO モデル適用が継続されるものと期待される。



## (6) キミスタン市での ACTIVO モデル普及展開状況

キミスタン市はサンタ・バルバラ県に属するが、経済的には、国内屈指の商工業都市サン・ペドロ・スーラ市との結びつきが強く、幹線道路沿いの住民は、同市に通勤している者も多い。他方、山岳部ではコーヒー栽培が盛んである。市街地には複数の金融機関が営業しており、ACTIVO モデルと連携して、地域住民の金融教育にも取り組む金融機関がある。

キミスタン市では、市長の監督下、市監査役がリーダーとなり、市計画課職員、SSIS 普及員、地元金融機関等と連携して、ACTIVO モデル適用を普及してきた。市自治体は、早くから ACTIVO モデルに賛同し、ACTIVO モデル準拠研修に積極的に参加した世帯に対して、生業用資産（開業用資金、資材、豚等）を供与してきた。

キミスタン市での ACTIVO モデル普及展開状況を以下の地図に示す。



図 3-10 キミスタン市でのモデル普及状況地図



新たな地区で ACTIVO モデル適用を普及している市自治体の取り組み (2019 年 10 月)

以下、キミスタン市での ACTIVO モデル参加世帯の事例を言及する。

写真の世帯は市街地に住んでいる。以前は口座を持っていなかったが、ACTIVO モデルの金融教育を受講後、地元信組の口座を開設した。市の支援を受けて家具製造・販売を開始し、その利益を口座に貯蓄するようになった。また、電子マネー口座も開設し、顧客からの販売代金を、同口座に振り込んでもらうようになった。「資産形成のための貯蓄は信組口座の方が良いが、資金のやり取りについては電子マネー口座の方が使いやすい。」と言っている。様々な金融サービスを組み合わせて、ビジネスにも活用している好事例である。



家具製造販売を行う世帯

### (7) 対象5市における ACTIVO モデル適用効果

以上に言及してきた、対象5市での ACTIVO モデルの適用効果を検証するため、2019年5～7月に、第2次エンドライン調査を行った。この調査では、対象5市以外のモデル適用世帯も調査対象に加えたが、本節では、対象5市における調査結果に焦点を置いて報告する。

この調査では、2019年5～7月に計1,444世帯(対象5市以外含む)に質問票を適用した。質問票適用のための標本世帯は、参加者リスト等から無作為抽出した。

調査対象世帯標本の多い主要4地区(ラス・ベガス市村落部、キミスタン市村落部、サン・ラファエル市村落部、首都テグシガルパ市)について、CCT受給対象経験のある世帯のみを対象として、下表の通り、サブグループ解析<sup>14</sup>を行った。下表では、ACTIVOモデル参加世帯群と未参加世帯群に分けて、それぞれの地区別に、家計簿作成世帯率や貯蓄実践率等の各種割合を示すと共に、両群間に有意差があるかどうかも提示している。

表 3-8 各市の市街地・村落部別のサブグループ解析結果一覧表<sup>15</sup>

	ラス・ベガス市村落部		キミスタン市村落部		サン・ラファエル市村落部		テグシガルパ市	
	参加群	未参加	参加群	未参加	参加群	未参加	参加群	未参加
n	119	59	129	78	74	47	124	50
家計簿を作成している世帯の割合	80.7%	22.0%***	58.9%	9.0%***	17.6%	6.4%*	75.0%	12.0%***
貯蓄目標を持つ世帯の割合	78.2%	23.7%***	47.3%	1.3%***	86.5%	76.6%	97.6%	14.0%***
貯蓄を実践している世帯の割合	79.8%	23.7%***	64.3%	7.7%***	23.0%	6.4%**	96.8%	22.0%***
金融口座保有世帯の割合	23.5%	11.9%*	31.0%	2.6%***	23.0%	12.8%	86.3%	76.0%*
MFS利用世帯の割合	2.5%	3.4%	4.7%	1.3%	14.9%	2.1%**	27.4%	16.0%
既存経済活動を強化した世帯割合	93.3%	81.4%**	82.9%	20.5%***	40.5%	36.2%	58.9%	6.0%***
新規経済活動を開始した世帯割合	93.3%	89.8%	7.8%	6.4%	44.6%	38.3%	67.7%	8.0%***
収入が維持又は増加した世帯割合	95.0%	72.9%***	66.7%	19.2%***	81.1%	83.0%	75.0%	60.0%**

上表の通り、ACTIVOモデル参加群の方が、未参加群よりも、家計管理、金融利用、生計活動が進展しており、多くの層において両群間の有意差が観察される。このことから、対象市では、ACTIVOモデル適用効果を、概ね確認することができたと言える。

<sup>14</sup> 第2次エンドライン調査の分析方法は、ランダム化比較試験(RCT)に基づかないため、比較群の背景のずれを調整する必要がある。そこで、サブグループ解析を行った。

<sup>15</sup> 表中では、有意水準10%、5%、1%の統計的有意差を、各々、\*、\*\*、\*\*\*で示している。



このサブグループ解析結果を補完するため、回帰分析による検証も行った。その結果を次の通り紹介する。

- **家計管理の工夫に与える影響：** 多くの世帯では、不要な支出を減らす、家計予算の見直しを立てる、等々の家計管理上の工夫をしている。こうした家計管理上の工夫を凝らしている項目数の平均値について、ACTIVO モデル参加世帯群（762 世帯標本）と未参加世帯群（294 世帯標本）とを比較すると、参加世帯群では、平均 2.67 項目の工夫を行っており、未参加群の平均値 1.13 項目と比べると、1.54 の差がある。この 1.54 の差のうち、下表の通り回帰分析を適用すると、ACTIVO モデル参加は、家計管理上の工夫を 1.48 項目分促す影響があると考えられる（統計的にも有意）。下表の回帰式の予測精度はかなり高い<sup>16</sup>。
- **世帯年収に与える影響：** 下表の回帰分析結果を踏まえると、ACTIVO モデル適用は、約 1 万レンピーラの年間世帯収入についてプラスに影響していると推計することができる。回帰式の予測精度は中程度である。

表 3-9 家計管理工夫項目数に対する ACTIVO モデルの影響に係る回帰分析結果

	係数	標準誤差	t	P-値
切片	-0.21	0.18	-1.15	0.252
介入（卒業モデル適用）	1.48	0.11	13.38	0.000
受けている支援施策の数（卒業モデル以外）	0.16	0.04	4.10	0.000
初等教育を修了したかどうか	0.13	0.11	1.20	0.230
最寄り金融機関までの近さ	-0.01	0.01	-0.94	0.345
シングルマザーでないかどうか	-0.19	0.11	-1.65	0.099
市街地であること	0.43	0.14	3.08	0.002
テグシガルパ市であるかどうか	2.14	0.19	11.21	0.000
キミスタン市であるかどうか	-0.35	0.16	-2.13	0.034
ラス・ベガス市であるかどうか	2.01	0.15	13.11	0.000
ビジャ・デ・サンフランシスコ市であるかどうか	2.94	0.19	15.51	0.000
			補正R2 =	0.505

表 3-10 年間世帯収入への影響に係る回帰分析結果

	係数	標準誤差	t	P-値
切片	11,602	5,341	2.17	0.030
介入（卒業モデル適用）	9,794	3,325	2.95	0.003
受けている支援施策の数（卒業モデル以外）	7,658	1,093	7.01	0.000
初等教育を修了したかどうか	3,171	2,973	1.07	0.286
最寄り金融機関までの近さ	702	334	2.10	0.036
シングルマザーでないかどうか	7,148	3,473	2.06	0.040
市街地であること	11,086	3,996	2.77	0.006
テグシガルパ市であるかどうか	37,159	5,338	6.96	0.000
キミスタン市であるかどうか	1,743	4,880	0.36	0.721
ラス・ベガス市であるかどうか	-19,670	4,236	-4.64	0.000
ビジャ・デ・サンフランシスコ市であるかどうか	4,101	5,173	0.79	0.428
			補正R2 =	0.267

<sup>16</sup> 予測精度は、決定係数（補正 R2）が 0.36 以上の場合、高いと評価され、0.16～0.36 の場合で中程度と評価される（サイエンス社「Q&A で知る統計データ解析」参照）。

諸指標（家計管理上の工夫項目数、利用金融商品種類数、口座残高、強化された既存経済活動の数、新規開始された世帯経済活動の数、世帯年間収入額）について、回帰分析により推測される影響の大きさ、効果量等を、以下の通り、一覧化する。

表 3-11 算定される効果量等の一覧表

指標	回帰分析から推測される ACTIVO モデル参加の影響	効果量
家計管理上の工夫項目数	モデル参加は、1 世帯当たり 1.48 件分の工夫を促す影響がある。(統計的に有意)	0.38
利用している金融商品種類数	モデル参加は、1 世帯当たり 0.20 件の金融商品利用を促す影響がある。(統計的に有意)	0.09
口座預金残高	モデル参加と口座預金残高との関連性は、回帰分析上、統計的に有意ではない。しかし、テグシガルパ市内の調査対象世帯のみでサブグループ解析を行った結果等を踏まえると、モデル参加は預金残高を増やす影響があると推測される。	0.06
強化された既存経済活動の数	モデル参加は、1 世帯当たり 0.40 件の既存経済活動強化を促す影響がある。(統計的に有意)	0.27
新規開始された経済活動の数	モデル参加は、1 世帯当たり 0.16 件の新規経済活動を促す影響がある。(統計的に有意)	0.13
世帯の年間収入額	モデル参加は、1 世帯当たり 9,794 レンピーラ分の年収について、プラスに影響すると推計される。(統計的に有意)	0.10

上表の計算では、フィールドの効果量<sup>17</sup>を採用した。効果量を踏まえると、数理的には以下が示唆される。

- ACTIVO モデルの家計管理強化及び既存経済活動強化に対する介入効果は高い。
- ACTIVO モデルの金融商品種類利用数、新規経済活動数、年間収入額等に対する影響は統計的に有意であり、介入効果は数理的には中程度である。

ここで、費用対効果を検証する。1 世帯当たりの支援に必要なコストは、30～40 米ドル程度であると試算される<sup>18</sup>。各世帯での効果として、既述の 9,794 レンピーラ（約 400 ドル）の年間収入への影響可能性を考えると、費用対効果は 10 倍程度と推計される。

以上を踏まえると、対象 5 市における ACTIVO モデル適用は、十分な効果を上げたと見えよう。こうした効果を上げた要因としては、以下の点を想定することができる。

- 第 1 次エンドライン調査で得られた教訓により、モデルの改良を図ることができた。
- 市自治体や金融機関等の巻き込みが、効果発現に役立った。
- 家計管理、金融利用、生計向上が関連しあって取り組まれるため、最貧困層のダウンサイドリスクに対する脆弱性が軽減された。

<sup>17</sup> 効果量の評価については「英語教育研究 31（2008 年）」を参照した。

<sup>18</sup> 研修開催に必要な資材・茶菓 15 米ドル（1 回 3 ドル x 5 回）、生業資金供与 10～15 ドル、その他運営調整コストを 5～10 ドル程度と見做す。

### 3.2.4 対象5市外へのACTIVOモデル普及に関わる活動と成果（2018年以降）

本プロジェクト対象5市での活動と並行して、2018年以降、ACTIVOモデルの対象5市外での普及も進められた。これは、ACTIVOモデルに関心を示すようになった市連合会を通じての活動であった。市連合会とは、地方自治法に基づき、加盟市への支援を行う公益団体であり、ホンジュラスのほとんどの市自治体は、いずれかの市連合会に加盟している。こうした市連合会のうち、幾つかが、加盟市への支援活動の一環として、ACTIVOモデルの適用を検討するようになった。こうした市連合会を通じたACTIVOモデル普及展開の取り組みについて、以下の通り、幾つか事例を紹介する。なお、こうした市連合会を通じた取り組みには、社会包摂政策副省の地域統合室が大きく貢献した。

表 3-12 市連合会を通じたACTIVOモデル普及の主な取り組み（2018年以降）

市連合会	取り組み内容
フランシスコ・モラサン県北西部市連合会 (MANOFM)	<p>本プロジェクト対象市の一つであるビジャ・デ・サンフランシスコの市長は、市連合会 MANOFM の会長を務めている。同市長は、市内の好事例を近隣市にも広げるため、2018年4月、MANOFM 加盟の近隣市自治体職員を招待して、ACTIVOモデルの研修会を開催した。</p> <p>こうした研修会のおかげで、例えば、バジェ・デ・アンヘレス市では、家族ガイド等を通じて、200世帯以上にACTIVOモデル準拠の家計管理研修がなされるようになった。</p> <div data-bbox="1062 835 1321 1003" data-label="Image"> </div> <p>近隣市職員の視察案内をするビジャ・デ・サンフランシスコ市の市長</p>
サンタ・バルバラ県南西部市連合会 (MUNASBAR)	<p>市連合会(MUNASBAR)加盟市のうち、サン・ニコラス市は、市連合会に勧められて、ACTIVOモデルを導入した。</p> <p>地域のリーダーを育成し、それを通じて、モデル普及を図るようにした。</p>
アトランティダ県中央部市連合会 (MAMUCA)	<p>MAMUCA はアトランティダ県の5市自治体が加盟している市連合会である。2018年4月、MAMUCA 代表者と加盟市副市長等3名が、本プロジェクト対象市の一つであるキミスタン市を視察した。</p> <p>こうした情報交流の結果、市連合会がACTIVOモデル準拠の家計管理・生計向上研修を行い、市自治体が、それを補完する生業用資産供与を行うという事例も形成された。</p>
北部エル・パライス県市連合会 (MANORPA)	<p>社会包摂政策副省の地域統合室は、全国各地に社会保護政策調整会合を形成し、市連合会を通じた貧困削減関連施策の整合的実施を推進している。</p> <p>地域統合室の提案により、市連合会 MANORPA に加盟する2市の自治体が、市連合会の支援を受けつつ、ACTIVOモデルを本格適用し始めた。これらの市では、市自治体の複数の部署にまたがる実施チームを形成し、市職員が研修講師を務める形で、ACTIVOモデルを適用している。</p> <div data-bbox="1046 1731 1297 1850" data-label="Image"> </div> <p>地元女性に家計管理教育を行うサン・マティアス市の市職員 (市連合会支援を受けて実施)</p>

### 3.2.5 社会統合副省による ACTIVO モデル全国展開に関わる活動と成果（2019 年以降）

前節の通り、ACTIVO モデルが、対象 5 市外で普及されるようになったことも踏まえつつ、本プロジェクト相手国実施機関の社会統合副省（SSIS）は、CCT 卒業戦略の一環として、ACTIVO モデルの体系的な全国普及に着手した。CCT 卒業戦略とは、CCT 受給世帯が政府補助金に依存することなく、極貧状態から脱却してもらうための戦略である。

SSIS による ACTIVO モデル普及展開は、次のプロセスで進められてきた。

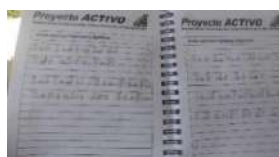
- **SSIS 普及員向け ACTIVO モデル指導者育成研修（ToT）の実施：** 2018 年 9 月以降、全国各地の SSIS 普及員に対して、ToT を行った。ToT では、ACTIVO モデルの概念・効果等と共に、最貧困層向け家計管理・生計向上研修の実施方法等が伝授された。全国 247 名（2019 年末時点）の SSIS 普及員の大半が ToT を受講した。
- **ACTIVO モデルの全国普及：** SSIS 人間開発普及部の監督下、2019 年 4 月以降、SSIS 普及員らは、ToT 学習内容を活かして、全国各地で ACTIVO モデルを普及するようになった。2020 年 1 月までに、全国 74 市の 3 千世帯強において ACTIVO モデルが普及された。
- **SSIS 普及員向けフォローアップ：** 2019 年 10 月から 2020 年 1 月にかけて、県ごとに SSIS 普及員を集めて、勉強会を開始した。これまでの ACTIVO モデル適用展開経験を SSIS 普及員間で意見交換し、モデル運用知見を高めることが目的であった。かかる勉強会を通じて、⑦市自治体や金融機関等の他機関との連携、⑧他の SSIS 施策との整合性、⑨対面式研修における参加者間意見交換等の認識が深まった。こうしたフォローアップを受け、プロジェクト期間満了後においても、SSIS 普及員達が持続的に ACTIVO モデルを普及展開していくことが期待される。



コマヤグア県での  
SSIS 普及員向け  
ACTIVO モデル指  
導者育成研修  
(ToT)  
(2019 年 4 月)



CCT 受給者向け  
家計管理研修を行  
う SSIS 普及員  
(2019 年 4 月)



生業ビジネスの収支を  
記録するようになった  
最貧困層  
(2019 年 8 月)



オランチョ県での  
SSIS 普及員勉強会  
(2020 年 1 月)

なお、2019 年、SSIS 主導による ACTIVO モデル普及展開活動の効果検証のため、簡易調査を行った。調査方法としては、40 世帯（調査時点で ACTIVO モデル準拠研修の受講済み 20 世帯と未受講 20 世帯）に質問票回答をお願いし、その上で、共分散分析<sup>19</sup>を適用した。

以下の 2 つの表の通り、SSIS 普及員を講師とする ACTIVO モデル準拠研修を受けた標本世帯群では、家計管理実践項目数と生計手段数の双方が増えており、これは統計的にも有意である。

<sup>19</sup> 回帰分析と分散分析とを併せて行い、介入効果の測定を行うための解析手法。

効果量（フィールド）を見ても、数理的に非常に高い施策効果が確認された。

表3-13 家計管理実践項目数の世帯平均値（共分散分析結果）

	研修受講済み 世帯群	研修未受講 世帯群	効果量	P値
2019年6月時点の平均値(全体平均)①	2.9		0.87	0.000
2019年9月時点の平均値(共分散分析による修正平均)②	8.8	2.7		
変化量(②-①)	5.9	-0.1		
両群間の差	6.0			

表3-14 生計手段数（世帯経済活動数）の平均値（共分散分析結果）

	研修受講済み 世帯群	研修未受講 世帯群	効果量	P値
2019年6月時点の平均値(全体平均)①	3.0		0.52	0.001
2019年9月時点の平均値(共分散分析による修正平均)②	3.7	3.1		
変化量(②-①)	0.7	0.1		
両群間の差	0.6			

SSIS 普及員による ACTIVO モデル普及活動は、短期間（3 か月程度）であっても、適用世帯において高い効果を生み出していることが窺える。成功要因は次の通りであると考えられる。

- SSIS の CCT 卒業戦略の一環として、組織的・体系的に ACTIVO モデルが適用されたため、短期的に成果が出やすくなった。CCT 支給タイミングと合わせて、家計管理教育を行ったため、受講者（CCT 受給世帯）としても、政府支援金を無駄遣いせず、有効に活用しようとする意欲が働きやすくなった。SSIS 人間開発普及部が、組織的に SSIS 普及員達の活動をモニタリング・支援していることも、効果発現に寄与していると考えられる。
- SSIS 普及員は、市自治体やコミュニティレベルで活動する家族ガイドと連携しながらモデル適用を図った。市自治体によっては、SSIS 普及員の依頼を受けて、研修場所を提供したり、予算補助をしたりするようになっている。



オコテペケ県コンセプション市では、SSIS 普及員の要請を受け、市自治体が ACTIVO モデル適用を支援している。参加貧困世帯への研修受講証等も市予算で提供された。(2019 年 11 月)

#### コラム 金融機関との連携事例



金融口座開設の  
プロモーション会

2019 年 10 月、ACTIVO モデル参画金融機関と SSIS 普及員との連携により、サンタ・バルバラ県サンタ・リタ市では、CCT 受給者向けの預金口座開設プロモーション会が行われた。このイベントでは、金融機関側より、口座利用方法が説明されると共に、民芸品製作に係る簡易職業訓練も行われた。

このイベントの参加者の半数程度は、ACTIVO モデル適用世帯の最貧困層女性であった。うち 4 人は、SSIS 普及員を講師とする生計向上計画作成研修を受けたことがきっかけとなり、協力して軽食販売業を開始するようになった。

この口座開設促進イベントにおいて、4 人の女性グループは、金融機関側から、参加者用の軽食ケータリングの注文を受けた。販売機会としてもイベントを活かすことができた。



### 3.3 ACTIVO モデル施策化のための活動と成果

前節 3.2 で提示した通り、ホンジュラス版卒業モデルである ACTIVO モデルは、社会統合副省 (SSIS) の CCT 卒業戦略に則り、SSIS 施策として、全国普及展開に着手されている。

本節では、次の通り、ACTIVO モデル施策化のために実施した活動と、その成果を報告する。

#### 3.3.1 実証分析の実施

既述の通り、本プロジェクトでは、パイロット活動の成果確認に関わる第 1 次エンドライン調査を 2017 年 6～8 月に行い、その後、対象 5 市及び他市でのモデル適用成果を考察するための第 2 次エンドライン調査を 2019 年 5～7 月に実施した。これらの調査結果の概要は、3.2 節で報告した通りである。

こうした調査を実施した目的は、ACTIVO モデルの施策化促進にあった。施策化を進めるためには、現地側関係者に対して ACTIVO モデル効果を実証して見せることが重要だからである。こうした実証分析のために適用した統計的手法を下表に纏める。これらの手法を通じて、効果発現状況及び要因について客観的に示すことができ、施策化を推進することができた。

表 3-15 本プロジェクトで用いられた計量経済学的・統計的な方法

<p>第 1 次エンドライン調査で用いられた方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>ランダム化比較試験 (RCT)</b> : パイロット活動効果を RCT により検証するため、市街地では、選定されたパイロット地区の CCT 受給世帯について、処置群と対照群とを予め約 500 世帯ずつ無作為割当てした。村落部では、クラスター・ランダム化比較試験による検証を行うため、集落 (Caserio) 単位で処置群と対照群とを割り当てた。</li> </ul>
<p>第 2 次エンドライン調査で用いられた方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>推定</b> : 統計的推定ができるように、標本の無作為抽出を行った。具体的には、対象 5 市では、元々のパイロット世帯群 (旧・処置群)、新たな参加世帯群 (旧・対照群及び新規参加群) 毎に標本を無作為抽出し、各市で計 150 標本程度から質問票回答を得た。併せて、対象 5 市における 2018 年の CCT 受給者リスト等を利用して、約 300 世帯のモデル未適用世帯を無作為抽出した。なお、対象市外では、4 市からモデル参加世帯標本を抽出した。合計標本数は 1,444 世帯である。</li> <li>● <b>サブグループ解析</b> : 第 2 次エンドライン調査は RCT に基づかないため、比較群の背景のずれを軽減するため、サブグループ解析を適用した。</li> <li>● <b>回帰分析</b> : ACTIVO モデル効果に係る考察に向けて、上述のサブグループ解析を補完するため、回帰分析も適用した。外部要因の影響 (共変量が引き起こす交絡) を控除した上で、ACTIVO モデルの効果への関連性を観察するためである。この介入効果に影響を与え得る外部要因として、①シングルマザー世帯でないか、②最寄り金融機関までの距離的近さ、③ACTIVO モデル以外に受けている他の支援施策の数、④質問票回答者 (CCT 受給者又は ACTIVO モデル準拠研修受講者) が初等教育を修了しているか等を想定した。</li> <li>● <b>構造方程式モデリング (SEM)</b> : 因果関係の考察のために SEM を適用した。そのために、主要項目の回答内容が 2 値変数ではなく、3 値以上の順序変数になるように質問票を設計した。</li> </ul>

### 3.3.2 ACTIVO モデル運用ガイドラインの公式化と社会統合副省施策としての展開

本プロジェクトで実施された計2回のエンドライン調査により、ACTIVO モデルの効果を客観的に示すと共に、その効率的な適用方法も明らかにすることができた。これを受けて、2019年9月、ACTIVO モデル運用ガイドラインが最終化され、社会統合副省（SSIS）の副大臣により承認された。このガイドラインには、①ACTIVO モデル概要、②極貧卒業までの3ステップ（家計管理、貯蓄、生計向上）、③ACTIVO モデルの実施方法の3つの内容（章）で構成される（付属資料参照）。SSIS の複数部署と普及員達は、このガイドラインに示された次の手順に則り、CCT 卒業戦略の一環として、ACTIVO モデルを適用している。

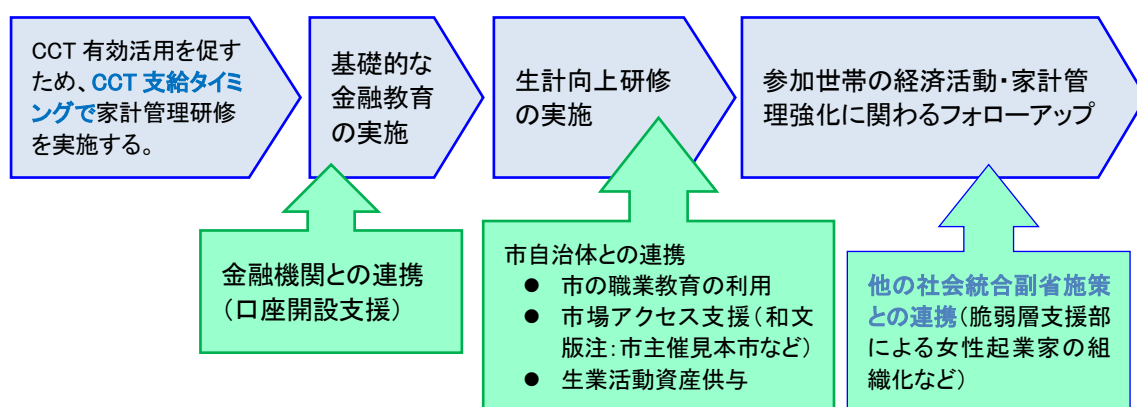


図 3-11 CCT 卒業戦略の一環としての社会統合副省（SSIS）の ACTIVO モデル適用手順

上図に関し、SSIS 各部門の ACTIVO モデル実施に関わる役割は、以下の通りである。

- **人間開発普及部 (DPDH)** は、SSIS における ACTIVO モデル適用のリーダーとして、①年間の実施計画起案、②SSIS 普及員によるモデル適用状況の監督、③本ガイドラインの内容における将来の教訓反映等を行う。
- **SSIS 普及員の県監督官**は、①管轄県における ACTIVO モデル適用の監督、②ACTIVO モデル適用に関わる SSIS 普及員間の教訓共有会・意見交換会等の開催支援を行う。
- **SSIS 普及員**は、現場において、①ACTIVO モデルの主任ファシリテーターとしての務め、②モデル適用経験に関わる人間開発普及部へのフィードバック、③市自治体及び金融機関の参画促進を行う。
- **脆弱層支援部 (DOSV)** は、貯蓄習慣形成及び生計向上計画作成が適切にできた世帯に対し、女性起業家グループの形成支援を検討する。右の写真は、ACTIVO モデル適用により極貧状態から脱出しつつある女性を組織化した際のイベント（2019年12月開催）である。



脆弱層支援部による女性グループ形成イベント (ACTIVO モデル卒業段階)

### 3.4 ACTIVO モデル実施環境整備のための金融包摂推進活動と成果

ACTIVO モデルの実施では、最貧困層・貧困層に適した金融商品・サービスの開発・提供、金融教育の普及等が重要である。同モデルの適用において重要な金融商品・サービスには、以下が含まれる。

- 最貧困層が、自然災害や治安悪化等の外的ショックから、資産・家計を守ることができるようにするための口座預金
- 極貧状態から脱出しつつある最貧困層が、生業ビジネスのために活用する小規模融資
- 以上についての基礎的な運用知識を得るための金融教育

以上を踏まえて、様々な民間金融機関に、ホンジュラス版卒業モデル（ACTIVO モデル）に基づく諸活動に参画してもらった。本節では、①本プロジェクトによる金融包摂の推進方法の概要、②ホンジュラス金融機関及び監督機関の取り組みと成果について報告する。

#### 3.4.1 プロジェクトによる金融包摂推進の内容・方法

参画金融機関側から見た場合、本プロジェクトによる金融包摂推進活動方法は下図の通りであった。

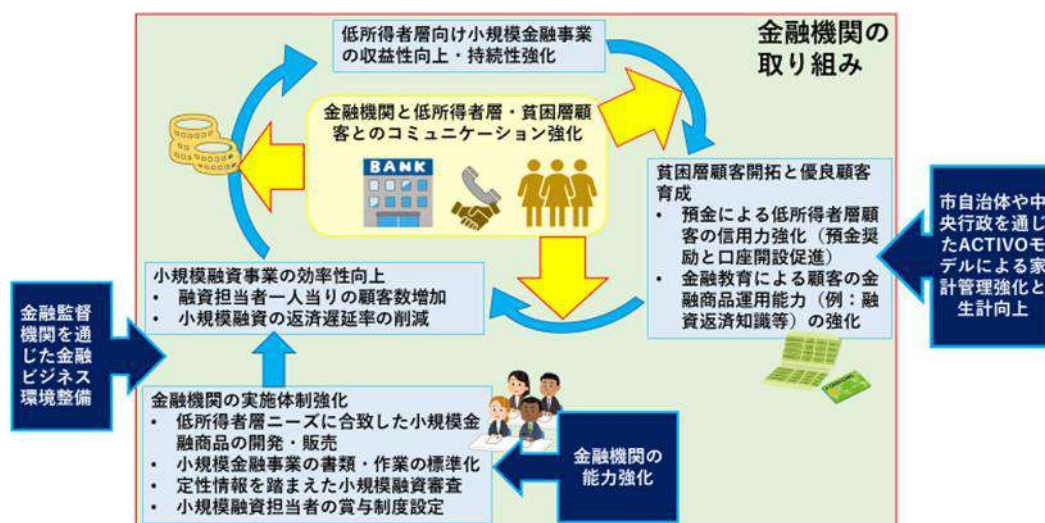


図 3-12 本プロジェクトを通じた金融包摂推進の取り組み方法





上図に関し、以下、補足する。

- 金融機関が、従来の顧客よりも所得の低い顧客層にアプローチする場合、新たなプロモーション費用、小口取引による割高な運営管理費、小規模融資におけるリスク等が発生しやすい。そこで、こうした新規セグメントにアプローチする場合、金融機関としての収益力・健全性の強化も重要となる。
- ACTIVO モデル参加金融機関は、融資事業の効率性を高め、収益力を高めた。その上で、従来顧客よりも所得の低い顧客に対して、預金口座開設支援や小規模融資検討を進めた。

- 貧困層等によるインフォーマル零細ビジネス向け小規模融資では、顧客とのコミュニケーションを強化し、融資審査における定性情報の有効活用を進めた。小規模融資担当者向けの訓練・賞与制度の設定、融資業務プロセス標準化も進めた。これにより、担当者一人当たりの顧客数を増やすと共に、返済遅延債権を減らし、事業の健全性・収益性を高めた。
- 小規模融資を含む融資事業で得られた収益を活かしつつ、非金融サービス（貧困層や若年層向けの啓発活動）や口座開設に係る対面式のプロモーション活動等も進めた。
 

**ACTIVO モデル参画金融機関による  
地元児童に対する貯蓄習慣に関わる啓発活動**
- 以上の通り、リレーションシップバンキング的な活動を通じて、金融機関と低所得者層との関係性を強化し、金融包摂が推進された。ACTIVO モデル参画金融機関の多くは信用組合であるため、地域性や人間関係を活かした金融包摂手法との親和性が高いと言える。
- 上図において、本プロジェクトの支援活動は、濃い青色の矢印部分が該当する。すなわち、本プロジェクト支援内容には、⑦金融監督機関を通じた金融ビジネス環境整備支援、④小規模金融実施体制強化に向けた金融機関の能力強化、⑩中央行政や市自治体による最貧困層世帯家計管理能力強化（を通じた金融機関の顧客開拓に関わる側面支援）が含まれる。
- 下表の通り、計4回の第三国研修を開催した。第三国研修では、民間金融機関のみならず金融監督行政機関等にも参加してもらった。こうした第三国研修の実施は、上に述べてきたACTIVO モデル参画金融機関の金融包摂の取り組みを促すこととなった。

**表 3-16 本プロジェクトの第三国研修の内容概要**

<b>第1回研修</b> 2016年6月開催	 <b>エルサルバドルのピレッジバンキング視察</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 行政官7名と民間金融セクター11名が参加。</li> <li>➤ パラグアイ民間金融機関の商品開発の取り組み、エルサルバドル信用組合セクターの金融サービス等を学んだ。</li> </ul>
<b>第2回研修</b> 2017年10月開催	 <b>パラグアイ信組制度講義</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 行政官3名と民間金融セクター9名が参加。</li> <li>➤ パラグアイ信用組合制度及び金融商品開発を学んだ。</li> </ul>
<b>第3回研修</b> 2018年10月開催	 <b>MFS利用の視察</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 行政官4名と民間金融セクター10名が参加。</li> <li>➤ パラグアイ社会・金融包摂政策（社会開発省と中央銀行）、信用組合制度、民間金融機関の商品開発、モバイル金融サービス（MFS）等を学んだ。</li> </ul>
<b>第4回研修</b> 2019年3月開催	 <b>パラグアイ中央銀行訪問</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 行政官7名と民間金融セクター5名が参加。加えて、自費参加者1名があった。</li> <li>➤ パラグアイ社会・金融包摂政策（社会開発省と中央銀行）、信用組合制度、民間金融機関の商品開発、モバイル金融サービス（MFS）等を学んだ。</li> </ul>

### 3.4.2 参加金融機関による取り組み

ACTIVO モデル実施環境を整えるためにも、様々な金融機関が、貧困層向け金融商品開発や金融教育拡充等に取り組んだ。各参加機関の取組内容と成果は下表の通りである。こうした活動を通じて、本プロジェクトは、数万人規模の金融アクセス改善等に貢献した。

表 3-17 主な ACTIVO モデル参加金融機関の取組と成果

商業銀行	バンルラル	バンルラルは支店数ホンジュラス銀行業界第4位（2019年12月時点）の準大手である。本プロジェクトの技術助言を受け、女性の預金奨励、小規模融資業務の通常融資業務からの分離等に取り組み、以下を達成した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 女性向け預金口座の顧客数増加（2019年末までに約3万人）</li> <li>● マイクロ融資の顧客数増加（2019年までに約3.8万人）</li> <li>● ビレッジバンキング方式を通じた村落部女性向け預金・融資提供スキーム（Banca Mujer）の開発がなされた。</li> </ul>
	オクシデンテ銀行	大手銀行であるオクシデンテ銀行のラス・ベガス支店では、ACTIVO モデルに則り、預金奨励と金融教育普及が進められた。
	ポプラー銀行	本プロジェクトの第三国研修の内容と整合した形で、モバイル電子マネーと連携した小規模預金商品を開発した。
信用組合	全国信用組合連合会 (FACACH)	FACACH は加盟信組（計85信組）に対し、技術・金融支援を提供している。FACACH は、ACTIVO モデル参画により、以下を実現した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>小規模金融業務の標準システム構築</b>： 零細ビジネス向け小規模融資事業を行えるようにするため、顧客の返済管理、顧客の零細ビジネス計画書、融資申請、職員業績評価等の標準様式が作成され、以下のエルガ信組、サン・マルケーニャ信組、タランガ信組も含めて、2019年内に計8信組で導入した。このうち、ヌエバ・ビダ信組とリオ・グランデ信組では、計12千件の小規模融資が実施された。</li> <li>● <b>貧困層開業希望者向け融資プログラムの立上げ</b>： 2019年中に、33信組の参加の下、321名が開業技術研修を受け、43名が事業計画を作成した。うち18名が融資を受け取った。参加者の3分の2は女性であり、シングルマザーや若年層の収入手段獲得を促した。</li> <li>● <b>金融教育の普及</b>： サン・マルケーニャ信組(下参照)とリオ・グランデ信組を通じて、1万3千人程度に金融教育を普及した。</li> </ul>
	エルガ信組	国内最大級の信用組合である。上述 FACACH に加盟し、ACTIVO モデル関連活動の参画を通じて、小規模金融の拡充を図った。
	サン・マルケーニャ信組	ホンジュラス中・南部で営業基盤を持つ中堅規模の信組である。同信組は、ACTIVO モデル参画により、⑦FACACH を通じた小規模金融の充実、⑧金融教育の普及（7,940人の組合員、1,516人の若年層）、⑨経営改善（30日以上の返済遅延債務の割合が2017年から2019年にかけて半減）、⑩低所得者向け新金融商品の開発（学資融資等）を実現した。
	タランガ信組	首都近郊のタランガ市を本拠とし、首都圏で顧客（組合員）を持つ信組である。ACTIVO モデル参画を通じて、以下を達成した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 信組事業の拡大・改善（貸出残高は2016年末から2019年末にかけて倍増するも、30日以上の返済遅延債権の割合は半減した。同期間の組合員からの預金残高総額は約1.7倍増を達成した。）</li> <li>● 貧困層事業者向け小規模融資プログラム立上げ（1万レンピーラの無担保融資を2018~2019年に75名に提供し、返済遅延はほぼ皆無。）</li> <li>● 金融教育の普及（2018~2019年に地元高校生200名、再入国者20名、CCT受給者90名、タクシー事業者40名の計350名程度を啓発。）</li> </ul>





キミスタン市自治体と連携して  
金融教育を行う小規模金融実施機関  
IDHの職員



全国信用組合連合会（FACACH）職員との  
小規模金融商品開発の会議

金融商品・サービス開発のみならず、最貧困層向け金融教育も重要な活動であった。

FACACH等と協力して金融教育を進め、これにより、最貧困層・貧困層の貯蓄習慣を強化すると共に、最貧困層・貧困層を金融機関の顧客（利用者）として取り込めるようにした。なお、上表記載の金融機関以外の機関では、以下のような取り組み実績もある。

- 小規模金融機関であるクレディソルは、第三国研修の学びを活かして、代理店網の形成を図り、金融アクセス向上に貢献した。
- エルガ信組と並んで国内最大級の信組であるサグラダ・ファミリア信組、小規模金融機関であるIDHキミスタン支店も、ACTIVOモデルの金融教育普及に貢献してきた。

### 3.4.3 制度面からの金融包摂推進

貧困層向け金融商品開発や金融教育充実といったマイクロレベルの活動のみならず、本プロジェクトは、以下の通り、金融包摂を推進するための制度面の充実においても貢献した。

- 銀行等の監督機関である国家銀行保険委員会（CNBS）は、本プロジェクト開催の第三国研修に参加し、その経験をも踏まえて、国家金融包摂戦略を推進している。また、本プロジェクトは、CNBSの行う国家金融教育週間に参加し、その実施を促進した。
- 国家協同組合監督委員会（CONSUCOOP）によると、2015年当時、信組セクターにおける零細ビジネス向け小規模融資は、ほぼ皆無であった。しかし、2019年には、こうした小規模融資は信組セクターの融資事業全体の3%を占めるまでになった。ACTIVOモデルの趣旨を踏まえて、CONSUCOOPが信組に対して、小規模融資実施促進に係る行政文書を発出したことが要因になっていると考えられる。
- 銀行間取引センター（CEPROBAN）は、本プロジェクトの第三国研修に参加し、そうした経験も活かし、信組と銀行との資金取引のパイロットケースを立ち上げた。金融セクターにおける信組の割合が多いホンジュラスでは、銀行と信組との間のシステム共通化が、金融の利便性を高め、結果、金融包摂の推進力になると考えられる。



国家金融教育週間  
での活動

### 3.5 プロジェクト・デザイン・マトリックス上の目標と成果の達成状況

PDM 指標達成状況は、以下の通りである。2019年12月開催の第5回合同調整委員会（JCC）会合でも確認された通り、プロジェクト目標と期待される成果に関わる各種指標は達成済みである。

表 3-18 PDM 指標の達成状況

プロジェクトの要約	指標	2020年1月の達成状況
<b>上位目標</b> CCT 受給世帯の生活改善・生計向上を促進するために構築されたモデルが全国展開に向けて制度化される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 構築されたモデルが法令もしくは条例として制定される。</li> <li>● 構築されたモデルを実施するための予算が SEDIS/PRAF 及び市・市連合会において確保される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● モデルは、CCT 卒業戦略の一環として、全国展開に着手されている。</li> <li>● 対象5市では、2019年度の予算措置がなされている。</li> </ul>
<b>プロジェクト目標</b> CCT 受給世帯の生活改善・生計向上を促進するモデルが構築される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 対象市の CCT 受給世帯のうち、500世帯以上が生活改善・生計向上のための活動を開始する。</li> <li>● 成果4のガイドラインが社会統合副省（SSIS）により承認される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 対象市では、約2千世帯<sup>20</sup>が生活・生計向上のための活動を開始していると推定される。</li> <li>● ガイドラインは、SSIS 副大臣が承認している。</li> </ul>
<b>期待される成果</b> <b>成果1.</b> 対象市の CCT 受給世帯の家計管理能力が強化される。	<p>1-1. 対象市の CCT 受給世帯のうち、2,000世帯以上が家計管理研修を受講する。</p> <p>1-2. 対象市 CCT 受給世帯のうち、1,000世帯以上が家計簿などにより家計管理をする。</p>	<p>1-1 対象市では約4千世帯が家計管理研修を受け、対象市外も含めれば9千世帯程度が研修を受講している。</p> <p>1-2 対象5市の受講世帯のうち、2,500世帯程度が家計簿等による家計管理を進めっていると推計される<sup>21</sup>。</p>
<b>成果2.</b> 対象市の CCT 受給世帯の金融サービスへのアクセスが改善される。	<p>2-1. 対象市の CCT 受給世帯のうち、2,000世帯以上が金融教育を受講する。</p> <p>2-2. 金融機関が実践した受給世帯向けの金融サービス提供の取組み事例と数。</p> <p>2-3. 対象市 CCT 受給世帯のうち1,000世帯以上が金融口座を開設し、貯蓄を開始する。</p>	<p>2-1 対象市では、約4千世帯が金融教育を受けている。</p> <p>2-2 そのうち、1,400世帯程度は口座預金を持ち貯蓄していると目される。<sup>22</sup></p> <p>2-3 新たな金融商品数は12である。CCT 受給世帯向け金融教育に多くの金融機関が参加した。<sup>23</sup></p>
<b>成果3.</b> 対象市の CCT 受給世帯が、生活改善・生計向上に必要な技術を身に受ける。	<p>3-1. 対象市受給世帯のうち、2,000世帯以上が生活改善・生計向上の研修を受講する。</p> <p>3-2. 対象市の受給世帯のうち、1,000世帯以上が生活改善・生計向上の活動計画を策定する。</p>	<p>3-1 対象市では、約4千世帯が生計向上研修を受けている。</p> <p>3-2 そのうち、2,300世帯程度が生活改善・生計向上のための活動計画を持っていると推計される。<sup>24</sup></p>
<b>成果4.</b> 成果1～3を取り纏め、CCT 受給世帯の生活改善・生計向上を促進するためのガイドラインが作成される。	4.CCT 受給世帯の生活改善・生計向上を促進する関係機関のためのガイドライン	4. ACTIVO モデル運用ガイドラインとして既に作成済みであり、SSISにおいて公式化されている。

<sup>20</sup> 第2次エンドライン調査結果による。対象5市における ACTIVO モデル参加世帯のうち、貯蓄を実践し、経済活動を活発にしている世帯の割合は、旧処置群の無作為抽出標本で約55%、旧対照群の標本で約49%、新規参加群で約47%。このことから約2千世帯と推計することができる。

<sup>21</sup> 対象5市の参加世帯総数4,382世帯 x 第2次エンドライン調査標本（5市モデル参加群）の家計簿作成率57.9%＝約2,500。

<sup>22</sup> 対象5市の参加世帯総数4,382世帯 x 標本（5市モデル参加群）の口座保有かつ貯蓄実践の世帯割合32.4%＝約1,400

<sup>23</sup> CCT 受給世帯向け金融教育サービスに参加したのは、バンルラル銀行、オクシデンテ銀行、サグラダ・ファミリア信組、エルガ信組、ビナレホ信組、リオ・グランデ信組、サン・マルケーニャ信組。新たに開発された金融商品数は図3-1参照。

<sup>24</sup> 対象5市の参加世帯総数4,382世帯 x 標本（5市モデル参加群）の活動計画保有率52.1%＝約2,300。ここでは、「貯蓄目標を持ち、世帯経済活動の拡大又は新規開始を行う世帯」を「活動計画を持っている世帯」として見做した。

### 3.6 今後の展望と課題

2020年3月4日、本プロジェクトの成果報告会がホンジュラスの首都テグシガルパ市内で開催された。これまでのプロジェクト成果を現地側関係者と共有すると共に、今後の展望と課題について意見交換するためである。

相手国実施機関である SSIS の地方組織強化課長より、これまでの成果と今後の課題・展望について、① CCT 卒業戦略の一環として、これまで 74 市に ACTIVO モデルを普及展開してきたこと<sup>25</sup>、②本プロジェクト終了後も ACTIVO モデルの普及を図ることが発表された。

また、ACTIVO モデル参加金融機関を代表して、全国信用組合連合会（FACACH）財務部長等より、①8 信用組合において小規模金融事業が導入され、2020 年には、新たな 6 信用組合でも導入していく予定であること、②女性失業者等を中心とする貧困層開業希望者向け特別融資プログラムを立上げたところ、今後とも貧困層の開業支援を強化すること等が発表された。

こうした成果発表会での議論を踏まえ、関係機関等における今後の展望と課題について、下表の通り纏める。

表 3-19 今後の展望と課題

	展望	課題
<b>ACTIVO モデル普及展開と制度化（上位目標）</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ SSIS は、2020 年中に、新たな 3 千世帯に ACTIVO モデルが普及されることを目指している。うち、約 1 千世帯については、既に達成されつつある。</li> <li>➢ プロジェクト対象 5 市のうち、キミスタン市、サン・ラファエル市、ビジャ・デ・サンフランシスコ市は、生業資産供与のために市予算も投入されており、今後も市自治体を中心としたモデル適用が発展的に継続される見通しである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ ACTIVO モデルは、CCT 卒業戦略の中に位置づけられているが、この戦略も含めて法制化されている訳ではない。行政を中心とした ACTIVO モデル適用を継続的に進めるためには、法制化等が望まれる。</li> <li>➢ 対象 5 市のうち、ビジャ・デ・サンフランシスコ市では、2020 年 3 月現在作成中の市開発計画の中に、ACTIVO モデルを位置づけようとしている。市自治体によるモデル適用を定着させるためには、他市でも同様の取り組みが期待される。</li> </ul>
<b>金融包摂の推進</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 今後とも、本プロジェクトの成果を活かして、信用組合セクターを通じた預金口座の増加、貧困層インフォーマル事業向けを含めた小規模融資の増加が期待される。2020 年には、大手信組であるチョロテガ信組も、この取り組みを進めるところ、セクター全体で数万人単位の新規受益者が出るものと期待される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 信用組合セクターを通じた金融包摂を進める場合、信用組合の代理店設置規制の緩和が望まれる。報告書作成時点で、規制が強いために、代理店網を形成することができていない。</li> <li>➢ CCT 支給を通じた金融包摂を図るためには、受給者向けの金融教育の普及が重要である。</li> </ul>

<sup>25</sup> SSIS 主導によって ACTIVO モデルが普及展開されたのは 74 市である。これに加えて、本プロジェクト対象 5 市と、地域統合室等が普及してきた 9 市を含めると、同モデルが普及されたのは合計 88 市である。

## 第4章 教訓と提言

本プロジェクトには、①ACTIVO モデルの施策化・全国普及、②実証分析方法、③最貧困層女性のエンパワメント推進、④金融包摂促進等において、特徴的な取り組みがあった。そこで、これらの点について、本プロジェクトの経験を踏まえた教訓と提言を本章で取り上げる。

### 4.1 ACTIVO モデルの施策化・全国普及に関わる教訓と提言

本プロジェクトでは、ホンジュラス版卒業モデルとして ACTIVO モデルを形成し、その普及と施策化を図った。これに関わる教訓と提言について、以下の通り纏める。

- **施策の全国展開着手の重要性：** 施策モデルを形成したばかりの段階では、全国展開のための必要な知見を得ることが難しい。実際に全国普及に着手すると、その施策モデルの長所・短所も明確になり、必要なフォローアップの内容も理解しやすくなる。本プロジェクトでは、早目に全国展開に着手した結果、全国普及に必要な知見（SSIS 普及員の勉強会継続の重要性、中央行政と市自治体との連携の重要性等）が得られた。
- **市レベルでの実施体制の重要性：** 3つの地域レベル（①県・広域、②市、③コミュニティ）における活動調整のうち、これまでの経験を踏まえると、中央行政のイニシアティブに加えて、②の市レベル実施体制が強固であれば、ACTIVO モデルの効果は出やすい。様々な中央行政施策が市を実施単位として行われているため、市レベルでの調整を行えば、他施策のリソースも有効活用できるからである。
- **「家計管理→金融利用→生計向上」のステップ：** ACTIVO モデルでは、「家計管理→金融利用→生計向上」という3ステップにより、最貧困層世帯の持続的生計向上を図ってきた。このような生計向上に至るまでのステップに関し、2019年実施の第2次エンドライン調査の回答世帯から得られたデータを用いて、下図の通り、構造方程式モデリング（SEM）<sup>26</sup>による検証を行った。この図は、同調査の世帯標本のうち、関連データにおいて欠損のない1,423標本に基づく。この図から、上述3ステップの重要性が示唆される。

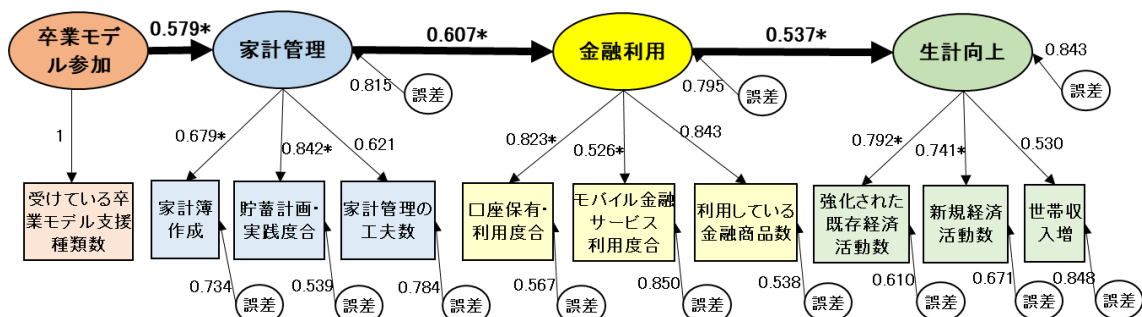


図 4-1 ACTIVO モデルに関わるパス図

<sup>26</sup> 変数間の関係（モデル）を方程式で表現する手法。このページの図では、潜在変数間の関係を考察するため、多重指標モデルを採用した。

このモデル図について補足する。各種適合度指標が概ね良好<sup>27</sup>であるため、現実との適合性が高いモデルであると言える。このモデル図から、以下が示唆される。

- ▶ 卒業モデル（ACTIVO モデル）参加、家計管理、金融利用、生計向上の各因子間には、比較的高い相関関係（標準化パス係数 0.5 以上）が観察される。よって、卒業モデル参加を通じて、家計管理が強化されると、金融利用や生計向上も促されると考えることができる。
- ▶ ACTIVO モデルの特徴として、家計管理、金融利用、生計向上が別々に行われる訳ではない。これらの間には強い相関関係があるからである。

上の通り、家計管理、金融利用、生計向上が互いに関連しあって取り込まれるため、最貧困層のダウンサイドリスクに対する脆弱性（例えば、自然災害や治安流動化による収入不安定化等）が緩和され、最貧困層の生計の安定性が高まるものと考えられる。貧困対策においては、最貧困層の家計の脆弱性を鑑み、最貧困層の家計管理強化と貯蓄奨励を通じて資産形成を促すと、安定的な結果が得られやすいと言えるのではないだろうか。このため、施策効果を高めるためには、CCT 支給のタイミングと合わせて、CCT 受給世帯向け家計管理研修を始めると良いと考えられる。

## 4.2 実証分析方法に関わる教訓と提言

### 4.2.1 ランダム化比較試験（RCT）活用に関わる教訓

本プロジェクトでは、2016 年 4 月から 2017 年 5 月までの間のパイロット期間の効果を検証するため、ランダム化比較試験（RCT）を適用した（第 1 次エンドライン調査）。

RCT を適用したおかげで、村落部では、家計管理強化、金融利用、生計向上のいずれにおいても、介入効果を客観的に示すことができた。他方、2017 年央時点において、市街地では、参加世帯の生計向上に関わる変化が十分ではないことも明らかにされた。この結果から、市街地では、村落部とは異なり、家計管理強化及び金融利用が生計向上に十分に結びつかなかったものと推測された。その後、この RCT 結果を踏まえ、市場アクセス支援を強化することで、市街地でも世帯生計向上における効果を出すことができた。

以上の通り、RCT は、効果発現状況の確認のみならず、取り組み内容の改善のためにも役立つ。RCT を活動改善のために活かすためには、次の工夫が重要であると考えられる。

- RCT の調査設計の際、セオリー・オブ・チェンジを考察することが肝要である。本プロジェクトの場合、「家計管理強化→金融利用（特に口座預金の活用）→生計向上」という変化のステップを予め想定していたことにより、効果の因果関係の考察が容易になった。
- RCT で確認された効果（或いは RCT で確認できなかった効果）について、現場関係者に対して意見を聴取する等、定性調査も重要である。こうした定性調査を行うことで、問題の原因を考察し、原因を踏まえた改善策を導き出すことができる。

<sup>27</sup> GFI は 0.945、AGFI は 0.906、RMSEA は 0.095。



#### 4.2.2 分析方法の適用に関わる技術的な教訓

本プロジェクトでは、計量経済学的な実証分析手法として、RCTに加えて、回帰分析も活用した。これまでの経験を踏まえ、下表の通り、各々の手法を活用した際の技術面でのメリットとデメリットを述べる。

表 4-1 実証分析手法の活用に関わる経験（メリットとデメリット）

	メリット	デメリット
ランダム化比較試験 (RCT)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● エビデンス性が高く、調査結果を対外的に説明しやすい。</li> <li>● 調査結果が理解しやすく、グラフにすると訴求性もある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 処置群と対照群を割り当ててから施策実施（介入）を行う必要があるため、介入タイミングの柔軟性が小さくなる。</li> <li>● 無作為割当てとするため、意欲の高い人を排除してしまう恐れがある</li> <li>● 他介入との調整コスト（対照群を統制するためのコスト）がかかる。</li> </ul>
回帰分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>● RCTのような調査設計と準備が不要であるため、柔軟に適用できる。</li> <li>● 因果関係の分析にも利用しやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● エビデンス性（結果の信頼性の高さ）において、回帰分析は、RCTよりも劣後する。</li> <li>● 共変量（結果に影響を与える可能性のある要因）の設定が必要である。</li> </ul>

RCTは、エビデンス性に優れ、調査結果も理解しやすいというメリットがある反面、介入タイミング等の柔軟性を小さくしてしまう恐れがある。

他方、回帰分析は、柔軟性に優れている反面、RCTよりもエビデンス性に劣後する。そこで、本プロジェクトの場合では、サブグループ解析を補完するものとして活用した。

以上の経験を踏まえ、プロジェクトにおいて計量経済学的手法を用いる場合、①RCTにおける調査設計・準備期間の短縮化等の工夫を行うこと、或いは、②3.2.5節で紹介した共分散分析の適用等が推奨され得ると考えられる。

#### 4.2.3 将来の効果事後検証の方法提案

本プロジェクト終了より数年後に、効果を事後検証する場合、次の通り、(1) プロジェクト期間満了前に ACTIVO モデル適用を開始した世帯と、(2) 期間満了後にモデルを適用した世帯の2つのグループを対象として扱うことが提案される。

- 1) プロジェクト期間満了前に ACTIVO モデルに参加した世帯の効果継続状況の確認： 2019年実施の第2次エンドライン調査で作成されたデータベースには、対象5市モデル参加世帯標本983世帯が記載されている。このデータベースから、数百世帯を無作為抽出して、数年後における状況確認を行う。

- 2) プロジェクト期間満了後に市自治体又は SSIS により ACTIVO モデルに参加した世帯の効果発現状況の確認： 下に示す質問票を、㉞プロジェクト期間満了後に ACTIVO モデルに参加した世帯群、㉟(将来の調査時点での) 同モデル未参加世帯群に適用する。その上で、共分散分析を適用して、両群間の有意差があるかどうかを観察する。併せて、フィールドの効果量を算出して施策効果を検証する。両世帯群の経済・社会的事情が異なることを前提として共分散分析の適用を想定するものの、可能な限り、経済・社会的状況の類似した世帯群にする等してバイアスを排除することが望ましい。なお、下表で 2 時点の情報を収集する事由は、共分散分析の適用を可能にするためである。

表 4-2 本プロジェクト終了 2 年後における効果継続性検証のための簡易質問票 (例)

家計管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2 年前 (プロジェクト終了時) 及び現在 (調査時) の各時点において、次のような家計管理上の工夫等を行っているかどうか。: 貯蓄目標設定、家計簿作成、必要な家計支出かどうかの区分、不要な家計支出の削減、必要家計経費の効率化、支出と収入のバランス、緊急時の貯蓄資金活用</li> </ul>
貯蓄実践/ 金融利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2 年前及び現在の各時点において、次の形態の貯蓄を実施しているかどうか。: 口座預金、タンス貯金、家畜保有、穀物保有、家財保有</li> <li>● 2 年前及び現在の各時点において、預金口座の利用状況はどうか。(口座保有状況及び口座利用頻度)</li> <li>● 2 年前及び現時点の口座預金残高</li> <li>● 2 年前及び現在の各時点において、次の形態の金融商品・サービスを利用しているかどうか。: 公共料金支払い、国内送金、海外送金、口座預金、消費者融資、ビジネス用の小規模融資、保険、モバイル金融サービス、代理店サービス</li> </ul>
生計向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2 年前及び現在の各時点における生計手段数 (零細ビジネス、被雇用就業、農業、家畜飼育等の種類数)</li> <li>● 2 年前及び現在の各時点における世帯年収総額</li> </ul>

#### 4.3 最貧困層女性のエンパワメント推進に関わる教訓と提言

ACTIVO モデルの適用対象は、CCT 受給世帯に代表される最貧困層世帯である。CCT 受給者の多くが女性であることから、本プロジェクトでは、最貧困層女性の経済的・社会的エンパワメントに関わる様々な取り組みを行った。これに関わる教訓と提言を、以下に纏める。

##### (1) 社会的な活動の活発化を通じたエンパワメントの重要性

SSIS 普及員や市自治体職員等から提示されてきた事例や見解を踏まえると、参加女性のエンパワメントについては、以下の通り、社会的な活動の促進が重要であると考えられる。

- ① ACTIVO モデルは、CCT 受給者である女性を直接の対象としつつも、世帯としての働きかけを行った。家計管理研修等では、出席者の多くは女性であったが、夫の同席も奨励した。その結果、夫婦共同で家計管理を行うようになった世帯がある。女性を中心としつつも、

世帯全体に働きかけを行うことで、女性のエンパワメントが進みやすくなると考えられる。

(なお、2017年の第1次エンドライン調査の結果では、パイロット世帯群の方が非パイロット世帯群よりも、女性が家計管理に参加する世帯の割合が有意に高かった。)

- ② サン・ラファエル市等では、マチスモと呼ばれる男性上位文化が根強く、夫又は父親の許可なくして自由に外出できない女性も多い。そうした中、参加世帯の女性を研修に招待することは、女性の外出機会づくりに役立つ。サン・ラファエル市女性課職員等は、研修に参加し意見を述べることで、女性のエンパワメントが進むと考えている。(同様に、女性が金融口座を持ち、預入等をするために外出すること、市場活動をするために外出すること等も、エンパワメントにつながるものと、同市女性課職員等は考えている。)



キミスタン市村落部での生計向上計画研修  
(意見交換を通じてエンパワメントを図る。)



女性達と共に研修を受ける男性達  
(男性の参加により、世帯内の理解も高まる。)

- ③ 全国各地で **ACTIVO** モデル普及展開を進める **SSIS** 普及員も、活発な意見交換がエンパワメントに役立つと考えている。そのため、家計管理研修等では、プロジェクターによる発表資料投影やビデオ教材の活用等よりも、対面式で意見交換をすることを重視している。最貧困層女性を中心とする参加者との意見交換を促すため、**SSIS** 普及員らは、模造紙を使った手作りの教材を利用することが多い。こうした研修での意見交換は、参加している最貧困層女性にとって、自らの考えを発言する機会になる。例えば、研修では、口座を既に利用している人が、口座を持っていない人のために、その利点について説明する機会が与えられることがある。このように自分の先行経験を発言する機会があると、自己尊重につながり、エンパワメントに役立つと考えられる。また、どのような零細ビジネスを開始することができるのか、といったことについて自分の意見を発言すれば、自分の可能性を言葉で表現することで、エンパワメントに役立つと考えられる。



手作り教材を活かして、参加者間の意見交換を促す **SSIS** 普及員と意見を発表する女性達

- ④ 学びを実践の上、成功を積み重ねることで、自己尊重によるエンパワメントが進む。3.2.3節で示したテグシガルパ市やサン・ラファエル市等での参加女性の例が、それを示している。また、ラス・ベガス市に住む最貧困層女性の例では、自分の学んだ技術を他市に住む最貧困層女性にも教えている。学び、それを実践し、更に他の人にも教えることで、自己尊重・自己実現が図られ、結果、女性のエンパワメントも促されるものと考えられる。

上の②～④で述べた通り、研修に参加した女性が意見を発信することで学びを深め、習得事項を実践に移すことで、女性のエンパワメントが進むと考えられる。これについて、2017年実施の第1次エンドライン調査の収集データで考察した。下図では、対象5市パイロット世帯607標本（男性家長のいない世帯を除く）の質問票回答をもとに、構造方程式モデリング（SEM）を適用した。下図は、各種適合度指標が概ね良好<sup>28</sup>であるため、現実との適合性が高いモデルであると言える。この図から、以下が示唆される。

- 「研修での議論参加」因子と「家計管理・金融知識と行動」因子との間には、やや強い正の相関がある（標準化パス係数 0.555）。したがって、研修に参加して、意見交換に加われれば、家計・金融知識及び行動が強化されやすいものと考えられる。
- 「家計管理・金融知識と行動」因子と「女性の家庭内地位」因子との間には、中程度未満の大きさではあるが、正の相関がある（標準化パス係数 0.315）。研修に参加して家計管理能力や金融行動等が強化されると、そうした実践を通じて、女性の家庭内地位の向上にも好影響があるのであろう。

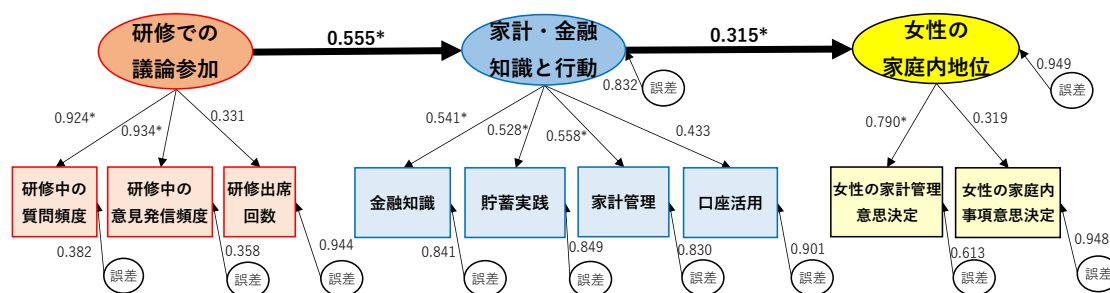


図 4-2 議論参加と家計管理・金融行動等に関するパス図

## (2) 市場アクセス支援及びインクルーシブビジネスの重要性

本プロジェクトでは、女性の市場活動を重要視した。市場活動を通じた⑦現金収入の獲得、⑧外部とのネットワーク構築が、女性のエンパワメントにも役立つと考えられる。

<sup>28</sup> 各種適合度指標に関し、GFIは0.948、AGFIは0.906、RMSEAは0.087。

2019年実施の第2次エンドライン調査では、家計・生計が安定・強化された状態として、⑦家計簿を作成していること、⑧貯蓄を実践していること、⑨預金口座を持ち、口座残高を維持又は増加していること、⑩既存の経済活動を強化するか、又は新規経済活動を行っていること、⑪世帯年間収入を維持又は増加できていることの5条件を想定し、この5条件全てを満たすことに対するACTIVOモデル各支援コンポーネントの影響について、下表の通り、ロジスティック回帰分析<sup>29</sup>で検証した。下表から、市場アクセス支援が家計・生計の安定化・強化に貢献しやすいことが推測される。こうした市場アクセスの担い手は女性であり、生計活動に主体的に関わることで、世帯経済活動における女性の役割が高まり、結果エンパワメントにつながると考えられる。

表 4-3 各支援内容の目標水準達成への影響に関わるロジスティック回帰分析結果

	オッズ比	p値
市場アクセス支援	6.10	0.000
家計管理教育	3.59	0.005
金融教育	3.15	0.000
生業資産供与	2.13	0.000
コーチング	2.01	0.000
生計向上研修（事業計画）	1.23	0.195
生計向上研修（生業技術）	1.22	0.315
CCT支給	1.21	0.311



週末市参加を通じて、小売店経営者（右）と商談する元CCT受給者（左）

上の写真の事例では、首都テグシガルパ市のACTIVOモデル参加女性が、市自治体等の支援を受けて、週末市に出展し、自分の製品を販売している。週末市に出展することで、街の小売店経営者とのネットワークも形成され、商売の幅が広がった。この女性は、ACTIVOモデルに則り、貯蓄資金を頭金としてバイクを購入し、それを原材料調達や販売等のための移動手段として、香水・洗剤製造販売ビジネスを行っている。バイクという移動手段を持ったこと、様々な他事業者との関係性が生まれたことにより、活動範囲が広がり、その分、経済的・社会的なエンパワメントも進んだと考えられる。


こうしたACTIVOモデル参加世帯（特に女性）への市場アクセス支援は、「インクルーシブビジネス」の考え方にも関わる。これは、貧困層女性がバリューチェーンに参加することで、経済的価値を生み出せるようにすることである。市場アクセス支援は、最貧困層女性の生産者、販売者、消費者としての視点・認識の強化に役立ち、バリューチェーンへの参加を促す。

以下に、最貧困層女性のインクルーシブビジネスに関わるACTIVOモデルでの事例を示す。

<sup>29</sup> 目的変数が2値の場合に使われる回帰分析方法。ここでは、設定した水準に達したかどうか、という2値で表現できるため、この方法を活用した。オッズ比が大きい説明変数ほど、影響力があると考えられる。



表 4-4 インクルーシブビジネス推進に関わる ACTIVO モデル準拠活動事例一覧

 <p>女性零細ビジネス間ネットワーク</p>	<p>都市圏では、既に零細ビジネスを営む貧困層女性も少なくない。そこで、こうした女性零細ビジネス間のネットワークを強化し、バリューチェーンとしての相互補完性を高めることが推奨される。</p> <p>例えば、ジャム作りを行う女性ビジネスと、菓子パン作りを行う女性ビジネスを結び付ける等である。</p> <p>左の写真は、首都テグシガルパ市内の市場の様子であり、女性零細ビジネス間の意見交換を通じ、扱い品目の多角化を目指している。</p>
 <p>洗剤宅配ビジネス</p>	<p>バリューチェーンでは、最貧困層も消費者としての側面を持つ。最貧困層自身の消費者ニーズを満たすことで、新たなビジネスを起こすことも検討可能である。</p> <p>首都テグシガルパでは、ACTIVO モデル参加世帯により、洗剤宅配ビジネスが立ち上げられた。これにより、以下のメリットが発現した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 空き容器の有効活用（都市部のゴミ軽減にも資する）</li> <li>● 最貧困層女性の労力負担軽減（重量のある液体洗剤を購入して運ぶ手間が省かれるようになった）</li> <li>● 家庭内衛生の改善</li> <li>● 洗剤販売という最貧困層の新たなビジネス機会の発現</li> </ul>
 <p>くす玉づくり</p>	<p>地域の需要と供給には往々にしてギャップがある。「くす玉」は、その例である。ホンジュラスのあらゆる地域でイベント時に「くす玉」を使うので需要は高いが、地域によっては生産者がいないこともある。「くす玉」づくりには難しい技術は不要なので、最貧困層女性が、こうした需給ギャップを埋めて、ビジネス機会とすることができる。</p>
 <p>市場アクセス</p>	<p>市自治体等は、参加世帯に対して、販売機会を提供できるようなフェア（市）等を企画・実施すると良い。サンタ・バルバラ県のラス・ベガス市では、市自治体が、週末フェアを開催し、地域の貧困層女性の販売機会を提供している。ACTIVO モデル参加世帯も、漬物、民芸品等を販売し、現金収入機会となっている。</p>
 <p>地域イベント活用</p>	<p>多くの地域では、文化イベント、スポーツイベント等が行われている。こうした地域イベントの機会を活かして、軽食等を販売する参加世帯の女性もいる。地域イベントは、普段にはない需要を生み出すので、そうした機会を活かし、経済価値を生み出すことが肝要である。</p>

貧困層女性をバリューチェーンに組み入れるというインクルーシブビジネスの考え方を踏まえると、原材料、製造、流通、市場の各段階において、貧困層女性のニーズを考えることが重要である。こうしたバリューチェーン各段階における零細ビジネスの発想のあり方を下図に示す。プロジェクト経験を踏まえると、最貧困・貧困層女性の経済的エンパワメントを図る場合、こうしたインクルーシブビジネスの考え方を活用することが重要であると考えられる。

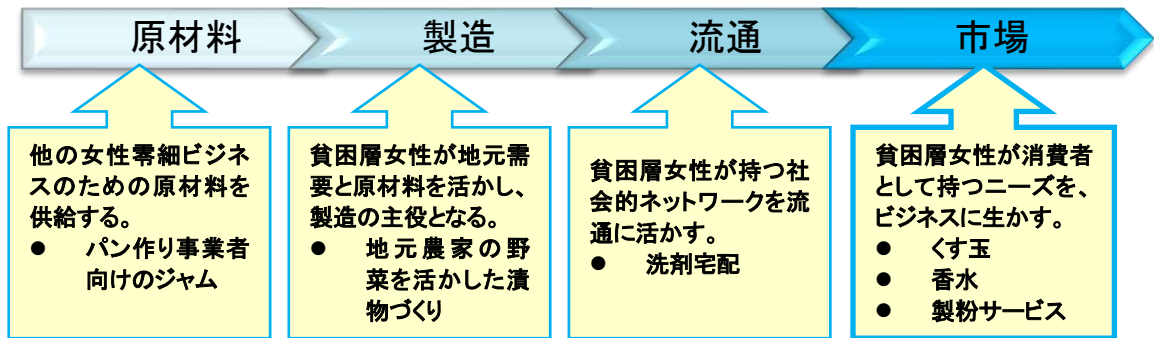


図 4-3 インクルーシブビジネスを踏まえたバリューチェーン考察

#### 4.4 金融包摂推進に関わる教訓と提言

本プロジェクトでは、金融包摂を進めるため、最貧困層・貧困層のニーズに合致した金融商品を開発するだけでなく、最貧困層・貧困層の金融利用に関わる運用能力向上、金融包摂に関わる制度支援等も促してきた。

金融包摂推進事業に関わる教訓と提言について、以下の通り纏める。

##### (1) 当該国の金融セクター事情に合致した金融包摂の推進

既述の通り、ホンジュラスは、金融セクターに占める信用組合の割合が高い。このため、信用組合の特徴を活かした金融包摂が重要である。多くのホンジュラス国民にとって、地域社会に根差した信用組合は、身近な金融機関であり、それは、2016年のモニタリング調査における口座保有パイロット 331 世帯の質問票回答に基づく下図からも類推することができる。

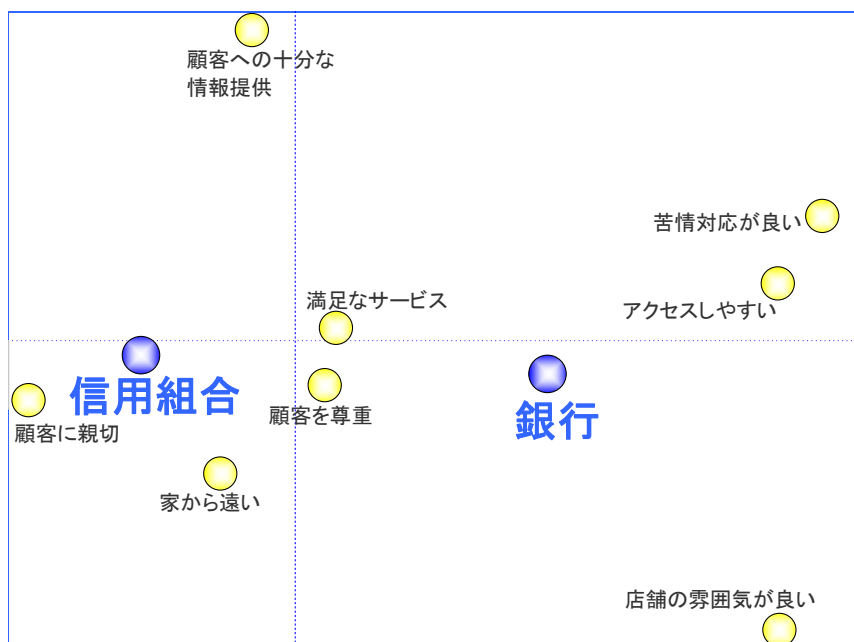


図 4-4 金融機関に対する最貧困層顧客側イメージ

本図は、口座保有先金融機関の世帯側イメージを、コレスポンデンス分析<sup>30</sup>により示したものである。この図では、各々の金融機関種類について、関連性の高いイメージ項目が近くに表示される。信用組合は、「顧客との関係性」について好意的に捉えられている様子が窺える。（一方で、「家から遠い」といった印象は、銀行と異なり、信組は代理店設置が制度的に難しいからであろう。）

こうした調査結果を踏まえても、信用組合では、リレーションシップバンキング的な方法との親和性が高いと言える。こうした信組の特色を活かし、地域住民とのコミュニケーションを強化しながら、経営を強固なものとし、金融包摂に向けた活動をしていくことが重要であろう。

## (2) 金融機関の視点から見た BOP ビジネス・モデル構築の重要性

金融包摂を進めるためには、金融機関から見て、持続可能な BOP (Base of the Pyramid) ビジネスのモデルを作り上げることが重要である。ACTIVO モデルの目的は、最貧困層の貧困削減であるが、一方で、一般の金融機関からすれば、最貧困層向けに利益の上がるビジネス・モデルを作ることは容易ではない。そこで、本プロジェクトでも取り組んできた通り、次のようなアプローチも有効であると考えられる。

- ① 金融機関の既存事業（中・低所得者層向け融資事業等）で、しっかりとした利益を上げられるようにする。そのために、融資事業全体の強化・健全化を図る。
- ② 中・低所得者向け融資事業で利益を確保できるようにした上で、㉞貧困層又は低所得者向けの零細ビジネス向け小規模融資商品の開発・販売、㉟最貧困層・貧困層向けの金融啓発活動と口座開設促進を進める。こうした活動は、費用がかかる反面、金融機関の短期的利益確保への短期的貢献が限定的なので、①の通り既存事業の収益力強化が重要である。

そのイメージを下図の通り示す。最貧困層の金融包摂促進が最終目的である場合でも、金融機関側からすれば、最貧困層以外の階層も視野に入れることで、持続的な金融包摂努力が可能になると言えよう。

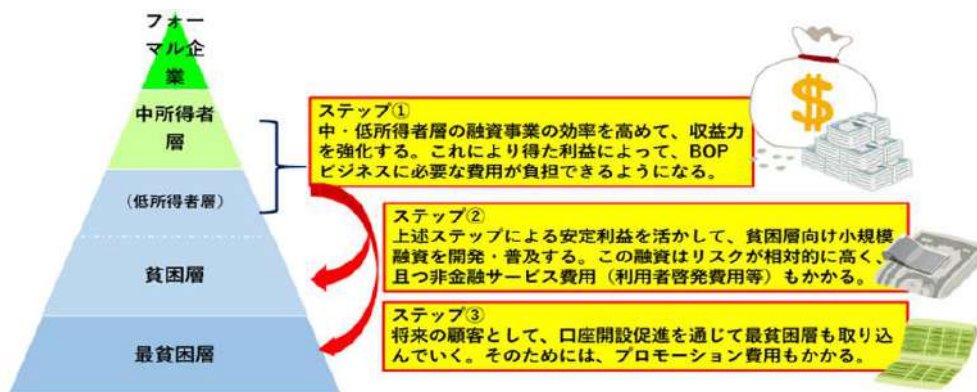


図 4-5 金融包摂に向けた持続可能な金融機関 BOP ビジネス・モデル例

<sup>30</sup> 多変量解析手法の一つ。数量化理論第三類と数理的には同一。ポジショニングマップ等に応用される。

## 4.5 結論

本プロジェクトは、金融包摂を貧困削減に役立てる試みであった。プロジェクト経験を踏まえると、貧困削減のためには、金融商品・サービスの拡充（供給サイドの改善）に加えて、貧困層・最貧困層の能力開発（需要サイドの改善）も重要である。

本プロジェクトの推進する ACTIVO モデルでは、口座預金等の金融商品利用に先立ち、最貧困層の家計管理強化を図った。家計管理導入・強化によって貯蓄習慣を身につけ、将来の収支見通しもできるようになると、口座預金も有効活用され、生計活動も軌道に乗りやすくなる。また、本プロジェクトにおける諸事例を踏まえると、家計管理能力強化は、最貧困層の零細ビジネス会計能力強化にも役立っている様子が窺える。

こうした最貧困層・貧困層の基礎的会計能力強化のためには、金融機関の貢献も重要である。かかる能力強化は、金融機関の将来の優良顧客を育成することにもつながるからである。本プロジェクトの技術支援を受け、全国信用組合連合会（FACACH）は、2019年に、貧困層開業希望者融資プログラムを立ち上げた。このプログラムでは、小規模融資の提供に先立ち、貧困層の零細事業者としての能力強化を図っている。その教育内容は、①事業ビジョン、②市場活動分析、③管理会計、④財務計画、⑤事業計画であり、会計能力の形成が重要視されている。

金融機関が、こうした非金融サービスを持続的に提供できるようにするためには、金融事業で十分な収益をあげられるようにすることも重要である。本プロジェクトでは、参画民間金融機関の社会性活動を推進した一方で、経済的・財務的強化も図った。

持続性を考える場合、最貧困層・貧困層においても、金融機関においても、きちんと財務的なやり繰りができるようになることが重要である。下図の通り、本プロジェクトは、こうした財務管理能力強化に関わる技術支援を、最貧困層・貧困層側と金融機関側の双方に、提供したものであったとも言える。金融の需要側と供給側の両方に働きかけたのが、このプロジェクトの革新性であり、その経験・教訓は、他の事業にも活かすことができるのではなかろうか。



図 4-6 金融機関と利用者双方への働きかけ

(以上)





# 付属資料

## 付属資料目次

目次	P64
1. CCT 受給世帯の生活改善・生計向上を促進するためのガイドライン (ACTIVO モデル運用ガイドライン) (和文)	P65
2. 合同調整委員会 (JCC) 会合の議事録 (計 5 回分) (英文・西文)	P96
3. 第三国研修参加者リスト	P114
4. 本プロジェクト関連の報道記事写し	P116
5. 最貧困層向け ACTIVO モデル研修教材 (西文)	P117
6. ベースライン調査質問票 (和訳版)	P142
7. エンドライン調査質問票 (和訳版)	P165
8. プロジェクト・デザイン・マトリックス (2018 年改訂版) (英文)	P168

付属資料 1. CCT 受給世帯の生活改善・生計向上を促進するためのガイドライン (ACTIVO モデル運用ガイドライン) (和文)

この和文版は、正式版である西文版を和訳したものである。

# ホンジュラス版卒業モデル 「ACTIVO モデル」運用ガイドライン (生計向上促進ガイドライン)



# Modelo ACTIVO

“Ahorro, Cuenta financiera, Trabajo e Ingreso para la Vida Optimizada”

## 目次

はじめに	P1
第1章 ホンジュラス版卒業モデル(ACTIVO モデル)の概要	P2
1.1 ACTIVO モデルの概要	P2
1.2 ACTIVO モデル適用が生み出せる効果	P3
1.3 ACTIVO モデル適用の短期的効果	P4
1.4 ACTIVO モデルの実施体制	P5
1.5 最貧困からの卒業促進のための支援内容	P6
1.6 社会統合副省における ACTIVO モデル実施の位置づけ	P7
1.7 ACTIVO モデル実施に関わる事務書類について	P8
第2章 最貧困からの卒業に向けた3つのステップ	P9
2.1 家計管理強化(第1ステップ)	P9
2.2 金融口座における貯蓄(第2ステップ)	P10
2.3 生計向上(第3ステップ)	P11
2.4 最貧困からの脱出	P12
第3章 ACTIVO モデルの実践方法	P13
3.1 各市における ACTIVO モデル導入	P13
3.2 最貧困層向け ACTIVO モデル準拠研修の実施準備	P14
3.3 ACTIVO モデル推奨の研修教材	P15
3.4 最貧困層向け ACTIVO モデル準拠研修の実施方法	P16
3.4.1 研修の導入部分の進め方	P17
3.4.2 第1モジュール研修「家計管理」の進め方	P18
3.4.3 第2モジュール研修「金融教育基礎」の進め方	P19
3.4.4 第3モジュール研修「生計向上計画」の進め方	P20
3.4.5 職業教育	P21
3.5 最貧困層向けコーチング	P22
3.6 最貧困層向け生業活動用資産供与	P23
3.7 最貧困層の生業ビジネス活動実施に対する助言	P24
3.8 マーケティングの考え方の導入	P25
3.9 金融アクセス	P26
3.10 モニタリング	P27
3.10.1 市レベルでのモニタリング	P27
3.10.2 参加世帯レベルでのモニタリング	P28
3.11 結論	P29

## はじめに

社会統合副省（SSIS）は、国際協力機構（JICA）の技術支援を受けて、金融包摂を通じた CCT 受給世帯の生活改善・生計向上プロジェクト（現地愛称：ACTIVO プロジェクト）を実施している。

このプロジェクトにより、SSIS の条件付き給付金（CCT）卒業戦略の一環として、ACTIVO モデルが形成された。これは、貧困の負のサイクルを打破するためのモデルである。

この ACTIVO モデル運用のため、このガイドラインが作成され、SSIS により承認された。これは、最貧困層の持続的な生計向上促進のためのガイドラインであると言える。

各地で ACTIVO モデル適用を促すための内容を次頁以降に示す。



## 第1章 ホンジュラス版卒業モデル (ACTIVO モデル) の概要

本章では、最貧困層の貧困削減に資するホンジュラス版卒業モデル (以下、ACTIVO モデル) の概要を記す。

### 1.1 ACTIVO モデルの概要

ACTIVO モデルの名称は、そのスローガンである「より良い生活のための貯蓄、口座、労働、収入 (Ahorro, Cuenta financiera, Trabajo e Ingreso para la Vida Optimizada)」に基づく。このモデルでは、行政及び金融セクターの支援を受けながら、最貧困層が、下図の3つのステップを自助努力で進めていくことで、極貧から卒業できるようにする。



図1. ACTIVO モデルによる貧困削減のイメージ

このモデルでは、とりわけ最貧困層の貯蓄習慣形成を重要視する。貯蓄があれば、最貧困層は脆弱性を緩和することができ、緊急時にも対応できるようになるからである。また、貯蓄は、緊急時対応のみならず、最貧困層が生計向上に向けた経済活動や生産活動の原資としても活用することができる。

## 1.2 ACTIVO モデル適用が生み出せる効果

ACTIVO モデルを適用すれば、⑦貯蓄習慣の形成、④持続的生計向上に向けた適切な貯蓄資金の活用が促される。

本節では、このモデルがこれまで生み出してきた効果について、定量的な検証結果を紹介する。2019年6～7月に行われた調査（和文版注：第2次エンドライン調査）では、対象地域の1,444世帯に対して質問票を適用した。以下のグラフは、世帯年収平均値について、CCT受給経験のある最貧困層世帯のうち、ACTIVOモデル参加世帯と未参加世帯との比較を行ったものである。

両世帯群間には17,214レンプーラの相違があり、モデル適用世帯群の方が、年収平均が多い。回帰分析を適用した結果、そのうちの9,794レンプーラ（5万円弱程度）は、ACTIVOモデル適用が生み出したプラスの影響であると言える。



図2 モデル参加世帯と未参加世帯の年収平均比較

ACTIVOモデルが、このように世帯年収について好ましい影響を与えているのは、構造方程式モデリングによって作成した下図によって説明することができる。下図により、ACTIVOモデル適用は、家計・金融活動の強化を通じて、世帯経済活動を活発化している様子が窺える。貯蓄習慣形成を中心とする家計管理強化が、最貧困からの脱出に向けての第一歩となる。

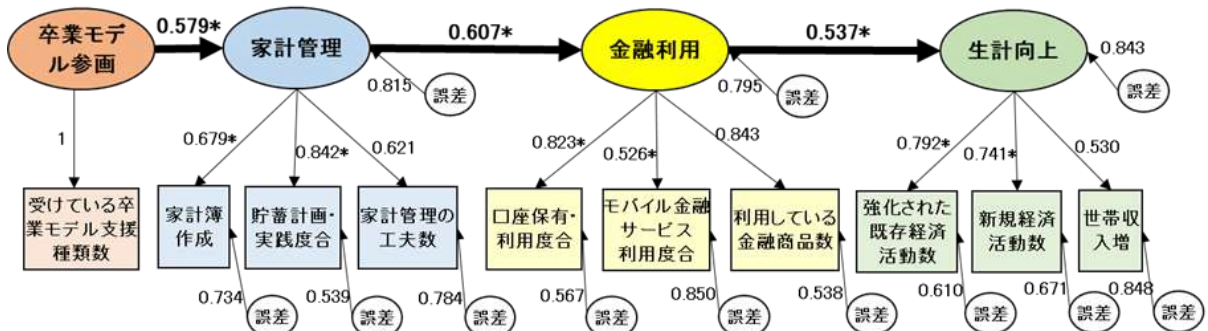


図3. 構造方程式モデリング (SEM) による相関関係の検証

こうした定量分析結果は、ACTIVOモデル適用の効果を裏付けるものである。

### 1.3 ACTIVO モデル適用の短期的効果

前節では、パイロット 5 市（和文版注：本プロジェクトにおける元々の対象 5 市）における数年間のモデル適用の効果を検証した。ACTIVO モデルの効果発現には、必ず数年間を要するのだろうか。

一方、2019 年 4 月以降、社会統合副省（SSIS）は、普及員を通じて全国各地でモデルを適用してきた。こうした活動を検証したところ、ACTIVO モデルは短期間適用であっても効果を生み出すことが可能であることが判明した。この結論は、下表に基づく。下表は、バジエ県とコマヤグア県の 40 世帯標本について共分散分析を適用した結果である。

表1. 家計管理実践項目数の世帯平均値（共分散分析結果）

	研修受講済み 世帯群	研修未受講 世帯群	効果量	P値
2019年6月時点の平均値(全体平均)①	2.9		0.87	0.000
2019年9月時点の平均値(共分散分析による修正平均)②	8.8	2.7		
変化量(②-①)	5.9	-0.1		
両群間の差	6.0			

表2. 生計手段数（世帯経済活動数）の平均値（共分散分析結果）

	研修受講済み 世帯群	研修未受講 世帯群	効果量	P値
2019年6月時点の平均値(全体平均)①	3.0		0.52	0.001
2019年9月時点の平均値(共分散分析による修正平均)②	3.7	3.1		
変化量(②-①)	0.7	0.1		
両群間の差	0.6			

これらの表から、SSIS 普及員を通じた 3 か月間の ACTIVO モデル適用は、家計管理の工夫項目数の増加、生計手段数の増加について、数理的にも大きな効果を出していることが分かる。

こうした短期間における効果発現の背景としては、①SSIS 普及員の ACTIVO モデル・ファシリテーターとしての能力が高まってきたこと、②CCT 支給時期と整合して ACTIVO モデル準拠研修を実施してきたこと、③現場において市自治体等の他アクターとの連携を図ってきたこと等によると考えられる。



フランシスコ・モラサン県クラサン市での研修における参加者の様子



レンピーラ県サン・セバスティアン市における SSIS 普及員による家計管理研修

## 1.4 ACTIVO モデルの実施体制

ACTIVO モデルは、下図の通り、社会統合副省（SSIS）普及員を通じて、組織的に実施することができる。

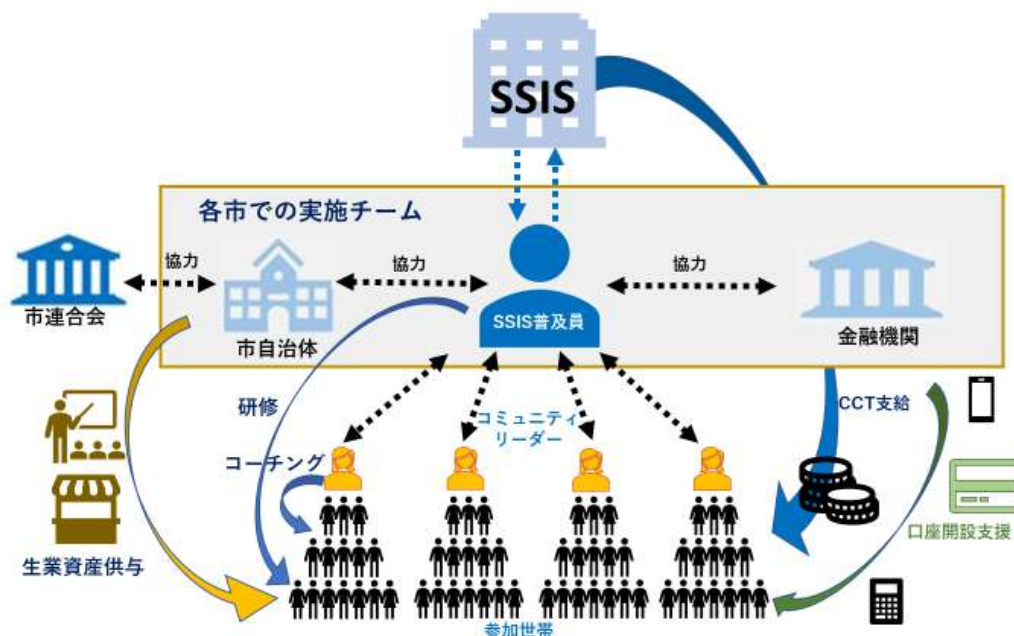


図 4. ACTIVO モデル実施体制図

SSIS 普及員の ACTIVO モデル実施展開に際しては、市自治体や金融機関等に協力依頼をすることが望まれる。これらの関係機関が、各市における実施チームに参加することが重要だからである。各市の実施チームにおける各アクターの役割は次の通りである。

- (1) **SSIS 普及員：** 普及員の役割としては、①家計管理研修や生計向上研修等において、研修講師を務め、モデルのファシリテーターとなること、②市自治体及び金融機関を招待して各市の実施チーム形成を促すこと、③CCT や他の SSIS 施策と整合して ACTOVO モデルを適用することで相乗効果発現を図ること、がある。
- (2) **市自治体：** 市自治体は、SSIS 普及員の活動と整合した形で、最貧困層向け研修やコーチングに対する支援、生計活動用資産供与を行うことが望まれる。
- (3) **コミュニティリーダー：** 貯蓄習慣形成や生計向上活動への努力等を徹底するために、ACTIVO モデル参画世帯に働きかけることが望まれる。
- (4) **地元で営業する金融機関：** 最貧困層に適した金融商品・サービスの提供（特に預金口座開設支援）、金融教育普及について協力する。

(5)



## 1.5 最貧困からの卒業促進のための支援内容

ACTIVO モデルに基づく最貧困層向け支援の内容は、下図の通りである。

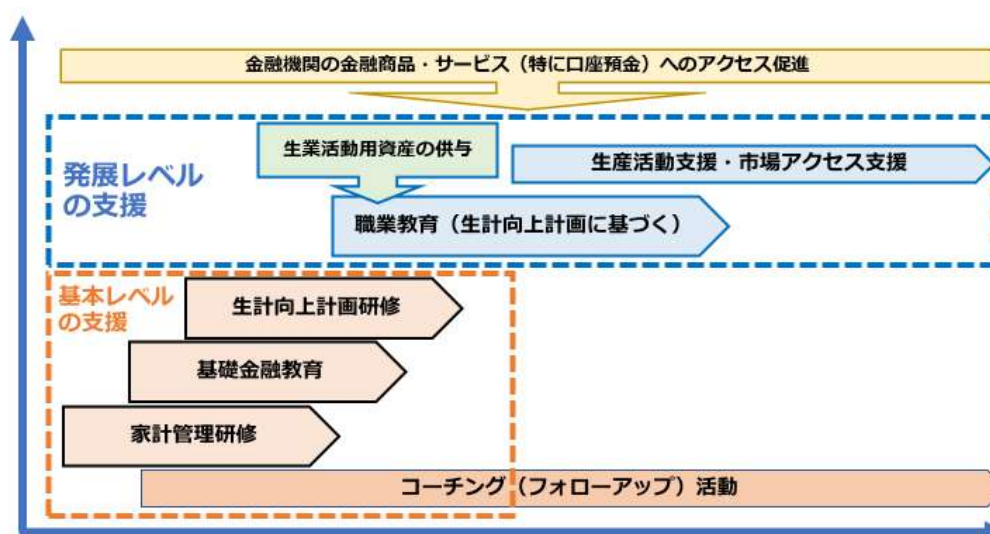


図 5. ACTIVO モデルの各支援コンポーネントの内容

ACTIVO モデルの支援内容のうち、基本部分の研修については、SSIS 普及員が講師となって進めることができる。他方で、金融口座開設促進、生計向上活動のための資産供与等、より発展的な支援を行うためには、市自治体と協力すると共に、他のアクター（市連合会、コミュニティリーダー、金融機関）との連携が重要である。以下に、ACTIVO モデルの支援内容を項目別に示す。

表 3. 極貧卒業のために必要な支援コンポーネント

研修	<p>研修は、最貧困層の活動に変革を引き起こすために重要である。基本的な研修には、家計管理・貯蓄奨励研修、金融教育基礎（口座利用）、生計向上研修が含まれる。これらの基本的な研修を終えた後、応用的な研修を行うことも検討可能である。応用研修には、市場活動、生産技術、預金口座以外の金融商品利用に関わる研修が含まれる。</p> <p>SSIS 普及員や市職員等が、基本研修の講師を務める。他方、応用研修の実施には、地元事業家や金融機関職員等の協力を仰ぐことも重要である。</p>
コーチング	<p>参加世帯が研修で知識を学んだ後、それを実践につなげるためにはコーチングが重要である。コーチングにはコミュニティリーダー等が従事できる。</p>
金融サービス	<p>金融サービスへのアクセスは、緊急時リスクへの対応、生計向上活動の実施促進等を通じて生活の向上に資する。特に、多くの最貧困層にとって、預金口座の利用が重要である。</p>
生業用資産供与	<p>最貧困層世帯は、研修を受けた後、生計向上活動を直ちに開始できるとは限らない。生業活動のための元手となる資産が不足するからである。こうした場合、中央行政又は地方行政が、最初の元手となる資産（菜園のための種子や肥料、パン作りのかまど、零細事業のための小規模資金等）を援助するようになると良い。</p>



## 1.6 社会統合副省（SSIS）における ACTIVO モデル実施に係る位置づけ

ACTIVO モデルは、社会統合副省（SSIS）の CCT 卒業戦略の一環として適用される。このために、下図の手順が適用される。

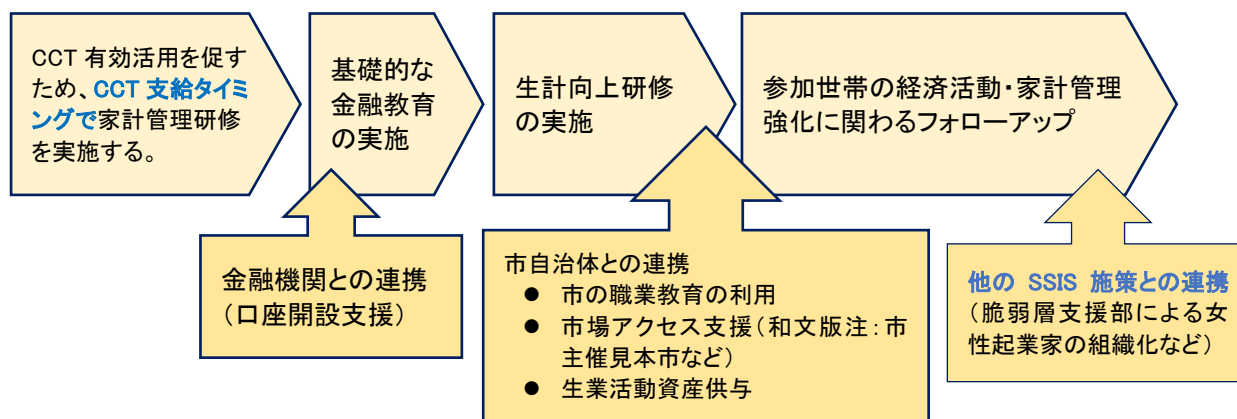


図 6. 社会統合副省（SSIS）の ACTIVO モデル適用手順

社会統合副省（SSIS）各部門の ACTIVO モデル実施に関わる役割は、以下の通りである。

- **人間開発普及部（DPDH）** は、社会統合副省における ACTIVO モデル適用のリーダーとして、①年間の実施計画起案、②SSIS 普及員によるモデル適用状況の監督、③本ガイドの内容における将来の教訓反映等を行う。
- **SSIS 普及員の県監督官**は、①管轄県における ACTIVO モデル適用の監督、②ACTIVO モデル適用に関わる SSIS 普及員間の教訓共有会・意見交換会等の開催支援を行う。
- **SSIS 普及員**は、現場において、①ACTIVO モデルの主任ファシリテーターとしての務め、②モデル適用経験に関わる人間開発普及部へのフィードバック、③市自治体及び金融機関の参画促進を行う。
- **脆弱層支援部（DOSV）** は、貯蓄習慣形成及び生計向上計画作成が適切にできた世帯に対し、必要に応じて、女性起業家グループの形成支援を検討する。

## 1.7 ACTIVO モデル実施に関わる事務書類について

社会統合副省 (SSIS) における ACTIVO モデル実施に際しては、事務書類を作成することが重要である。主な書類例を以下に示す。書類例 (1) 及び (2) は、人間開発普及部 (DPDH) が作成し、書類例 (3) はモデル活用を図る各普及員が作成することが望まれる。

表 4. 書類 (1) ACTIVO モデル年間計画例

目標	1) 2020 年末までに、年間 3 千世帯の CCT 受給世帯に対して、ACTIVO モデルを適用する。 2) 上述 3 千世帯のうち、2 千世帯で貯蓄習慣形成と生業活動計画起案を成功させる。	
2019 年度の ACTIVO モデル参加世帯に対するフォローアップ計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SSIS 普及員によるコーチング (特に生計向上面)</li> <li>● 人間開発普及部による SSIS 普及員への技術支援</li> </ul>	必要な予算 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 関係者日当</li> <li>● 交通費</li> <li>● ほか</li> </ul>
2020 年度における ACTIVO モデルの新規適用計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各県で 2 市ずつ新規適用する。</li> </ul>	必要な予算 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 関係者日当</li> <li>● 教材作成費</li> <li>● ほか</li> </ul>

表 5. 書類 (2) ACTIVO モデル実施に関わる記録例

県	市	地区	実施済研修			フォローアップ
			モジュール 1 家計管理研修	モジュール 2 金融教育	モジュール 3 生計 向上計画研修	
フランシスコ・モラサン県	A	X	Jan. 27	Feb. 22	Mar. 13	
	B	Y	Jan. 23	Feb. 28	Mar. 23	
コマヤグア県	C	X	Jan. 20	Feb. 19	Mar. 22	
	D	Y	Jan. 19	Feb. 22	Mar. 20	

表 6. 書類 (3) 参加世帯モニタリングシート記入例 (普及員の記録)

参加者氏名	実施済研修			モニタリング (モニタリング日)		
	モジュール 1 家計管理研修	モジュール 2 金融教育	モジュール 3 生計向上 計画研修	貯蓄実践 状況	生業計画状 況	備考
Sra. A	Aug. 26	Sep. 24	Oct. 20	Yes	No	
Sra. B	Aug. 26	Sep. 24	Oct. 20	Yes	Elaborated	
Sra. C	Aug. 28	Sep. 21	Oct. 17	No	Implementing	
Sra. D	Aug. 28	Se0. 21	Oct. 17	Yes	Implementing	

## 第2章 最貧困からの卒業に向けた3つのステップ

ACTIVO モデルでは、最貧困からの卒業に向けて、3つのステップを推奨している。本章では、これらの各ステップについて、重要な点を記述する。

### 2.1 家計管理強化（第1ステップ）

ホンジュラスには、最貧困層の基礎消費支援のための様々な施策があり、そのうちの 하나가、社会統合副省（SSIS）の進める CCT 制度である。ACTIVO モデルの推進する家計管理強化は、こうした給付金の有効活用を促す。

家計管理導入は、ACTIVO モデルの最も根幹になるステップである。貯蓄実践や家計簿作成等の重要性を理解することは、家計資産の有効活用、世帯目標に向けた生計向上のための経済活動強化につながる。

家計管理強化のためには家計支出と収入について記録することが肝要である。こうした記録を作成することで、生活にとって重要な支出と、そうでない支出の区別が付きやすくなる。これによって、貯蓄を増やす動機が促される。

また、こうした家計管理の実践を通じて、収入の季節性への対応がしやすくなる。各世帯が持続性のある家計計画見通しを持つことができるようになる。

最貧困層世帯向け研修やコーチング等において、ACTIVO モデルの推奨する教材及び家計簿を利用すれば、こうした家計の自立性強化に役立てることができ

Formato del registro de gastos e ingresos mensuales  
(Los beneficiarios pueden usar el formato anexo de este material)

Ingresos			Gastos		
Fecha	Detalle	Monto	Fecha	Detalle	Monto

Ejemplo del análisis de los gastos y los ingresos mensuales

Ingresos		Gastos	
Empleo	5,000	Gastos obligatorios regulares	
Trabajo	2,000	Comidas	3,500
Venta de productos agrarios	2,000	Educación	1,200
		Salud	500
		Electricidad y agua	800
		Insumos productivos y comerciales	1,200
		Gastos necesarios ocasionales (Cáncer, discapacitados, etc.)	500
		Gastos no esenciales (Carnes, cerveza, etc.)	800
<b>Ingresos Total</b>	<b>9,000</b>	<b>Gastos Total</b>	<b>8,500</b>
<b>Balance (Montos ahorrados)</b>			<b>500</b>

家計簿フォームのイメージ

### 家計管理強化のための世帯側取り組みと支援の内容



世帯取り組み内容:

- 家計簿を作成して、不要な支出の削減、貯蓄計画の具体化を図る。
- 貯蓄の目標を設定する。



支援内容: SSIS 普及員による家計管理研修、コミュニティリーダー等と連携したコーチング

図7. ACTIVO モデルの第1ステップのイメージ

## 2.2 金融口座における貯蓄（第2ステップ）

多くの場合、最貧困層の収入は不十分であり、且つ不安定である。このため、自然災害や家族の疾病等の脅威に対して、家計が脆弱である。このため、貯蓄が重要になる。貯蓄があれば、緊急時への対応もできるようになるし、また生計向上に向けた持続的経済活動のための原資にもなる。貯蓄手段には様々な方法があるが、ACTIVO モデルでは、口座預金を推奨している。口座に貯金をしておけば、不要な支出を避けるのが容易であり、また盗難や火災等から資産を守ることができるからである。また、預金口座を持っていれば、他の金融商品・サービスにアクセスしやすくなる。貧困層に適した金融商品・サービスの例を以下に示す。

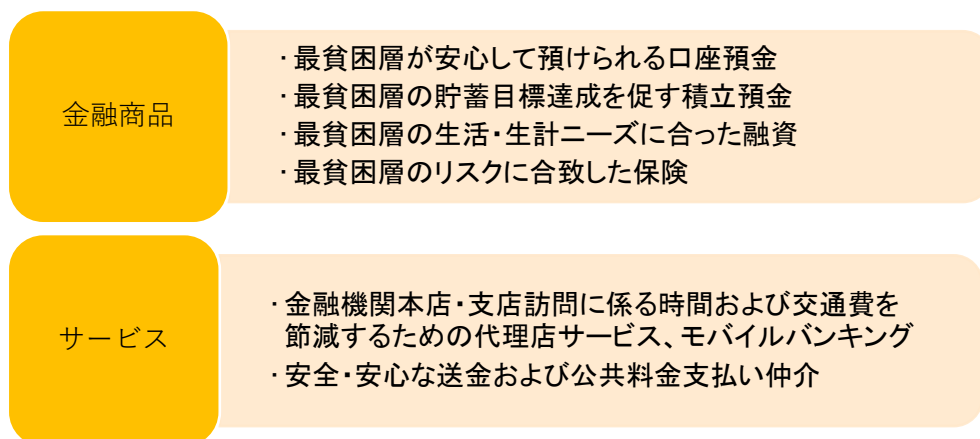


図 8. 貧困層に適した金融商品・サービスの例

下図の通り、SSIS 普及員、市職員、コミュニティリーダー等が最貧困層向け研修やコーチングを行うのと整合的に、金融機関が口座開設支援を行うことが望まれる。

### 貯蓄(口座預金)推進のための世帯側取り組みと支援の内容



図 9. ACTIVO モデルの第2ステップのイメージ

## 2.3 生計向上（第3ステップ）

家計管理を導入し、金融口座利用ができるようになったら、以下のイメージの通り、生計向上を図ることが望まれる。

### 生計向上のための 世帯側取り組みと支援の内容



#### 世帯取り組み内容:

- 生計手段の複数化
- 既存生計活動強化



#### 支援内容:

- 生計向上基礎研修
- 職業養育
- 生業活動用資産供与
- コーチング

図 10. ACTIVO モデルの第3ステップのイメージ

この第3ステップを促すため、次のような支援を行うことが望まれる。

- **生計向上基礎研修:** この研修では、生計向上計画作成とマーケティング基礎等を取り上げる。SSIS 普及員や市職員が研修講師を務める。ACTIVO モデル準拠教材を活用することができる。
- **職業教育:** 最貧困層が開業するための職業訓練として、縫製、パン作り、家庭菜園、家畜飼育等が想定される。こうしたテーマは、既述の生業ビジネス計画（生計向上計画）の内容に基づくことが重要である。研修講師としては、専門的知見を有する市職員に加えて、地元事業主らにお願いすることも検討可能である。
- **生業用資産供与:** 最貧困層の生業ビジネス計画の作成では、販売や生産を検討した後、それに必要な元手資金について計算することが重要である。元手資金については、蓄えてきた預金を使うのが一般的であるが、それで不足する場合、市自治体等の行政機関は、資産供与を検討し、これによって最貧困層の生業開始を促すと良い。資産供与の対象は、家計管理を導入して貯蓄を実践している世帯のうち、生業ビジネス計画を適切に起案したものにすると良い。
- **コーチング:** 生計向上計画の実施に際して、コミュニティリーダー等が適宜の助言やモニタリングを行うと良い。



## 2.4 最貧困からの脱出

ACTIVO モデルは、貧困層支援諮問機関（CGAP）等が推進してきた卒業モデルのホンジュラス版である。卒業モデルは、研修やコーチング等の基礎的な支援を組み合わせ、最貧困層の持続的な生計向上を図るものである。

このため、ACTIVO モデル準拠研修に受講した世帯については、次の 2 つの目標を達成することが期待される。

- 家計支出等を記録し、参加世帯が貯蓄を実践すること
- 参加世帯が生計向上計画を作成すること

これらの 2 つの目標は、最貧困層の持続的な生計向上のための基盤、すなわち最貧困からの脱出の糸口となる。そこで、この 2 つの目標を達成した世帯に対して研修受講証を発給すると共に、金融アクセス支援を行うことが望ましい。



図 11. 最貧困層向けの研修受講証（案）

### 第3章 ACTIVO モデルの実践方法

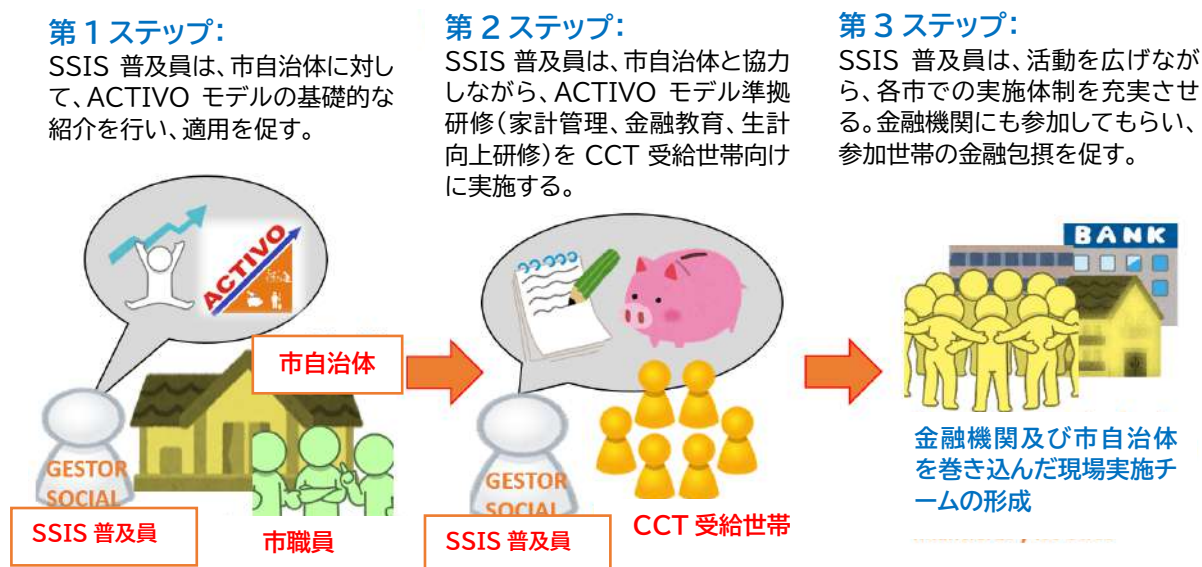
本章では、ACTIVO モデル実践に関わる技術的な方法と手順を述べる。

#### 3.1 各市における ACTIVO モデル導入

各市での ACTIVO モデル導入は、以下のような手順が想定される。

- 1) **市自治体等に対する ACTIVO モデル説明:** まず社会統合副省 (SSIS) 普及員は、担当市の市自治体及び他関係者に対して、ACTIVO モデルの概要と方法を提示し、協力と参画を呼び掛ける。
- 2) **SSIS 普及員による ACTIVO モデルの基本部分の適用開始:** CCT 卒業戦略に則り、各普及員は担当市において、CCT 受給世帯に対し、ACTIVO モデル準拠研修 (家計管理、金融教育、生計向上) を行う。
- 3) **関係機関の ACTIVO モデル参画強化の働きかけ:** 市自治体は、貧困層向けに独自の職業教育を行ったり、また、生業活用用の資産供与を行ったりしている。こうした既存事業を ACTIVO モデルと整合性をもって実施できるように SSIS 普及員が促す。また、こうした活動に、市連合会、コミュニティリーダー、地域で営業する金融機関、他の中央政府施策関係者も巻き込むことが望まれる。市自治体が、こうした活動を持続的に行うようにするため、ACTIVO モデル関連活動を市開発計画 (PDM) に取り込むことができるとなお良い。

以上の手順について、図示すると、以下の通りである。



### 3.2 最貧困層向け ACTIVO モデル準拠研修の実施準備

ACTIVO モデル準拠研修には、家計管理研修、基礎的な金融教育、生計向上の3テーマが含まれる。これらの研修の実施に必要な準備手順について、以下に示す。

- **実施チーム・講師陣の形成：** 研修実施チームを形成する。ACTIVO モデル準拠研修の講師陣チームには、SSIS 普及員、市職員、金融機関職員等が参加することが望ましい。研修の補助講師になったり、研修対象世帯への呼びかけを行ったりするコミュニティリーダーの支援を取り付けることが重要である。
- **研修全体計画の作成：** 研修全体計画には、①研修項目ごとの講師、②研修場所、③受講対象者、④研修に関わる費用などの検討が含まれる。村落部の場合、受講者には、成人のみならず、その子弟も参加させることが望ましい。村落部では、読み書きができない成人も多く、子弟が参加すれば、その面で自分たちの父母を助けることができるからである。
- **ロジ的な準備：** 研修教材については ACTIVO モデル準拠教材を活用することができる。こうした教材は、ウェブ版 ACTIVO モデル運用ガイドライン (<https://p-activo.jimdo.com/>) からダウンロード可能である。そのほかに必要な資材として、模造紙、ポストイット、マーカー、マスキングテープ、色画用紙など、講師と相談しながら準備する。研修講師が工夫して、以下の写真のような、模造紙の手書き教材を用意することも推奨される。



研修資材のイメージ（模造紙、ポストイットなど）

- **研修への受講招待：** 最貧困層の世帯に受講を奨励するためには、その地域を熟知した市職員やコミュニティリーダーの協力を得ると良い。

### 3.3 ACTIVO モデル推奨の研修教材

最貧困層向け研修及びコーチング活動のために、ACTIVO モデルが推奨する教材は次の通りである。

表 7. ACTIVO モデル準拠教材の一覧

<p style="text-align: center;"><b>ACTIVO モデル準拠の メイン教材</b></p>  <p style="text-align: center;"><b>PROYECTO ACTIVO</b> MATERIA EDUCATIVA INTEGRAL EMPRESARISMO Y MANEJO FINANCIERO PARA LA VIDA MEJOR</p> <p>この教材には、①家計管理、②基礎的な金融教育、③生計向上の 3 つの内容が含まれる。</p>	<p style="text-align: center;"><b>ビデオ教材 (家計管理)</b></p>  <p style="text-align: center;">III. ANÁLISIS DE INGRESOS Y GASTOS</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>Fecha</th> <th>Detalle de Ingresos</th> <th>Monto</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15 oct</td> <td>Salario quincenal</td> <td>L. 1,500.00</td> </tr> <tr> <td>18 oct</td> <td>Venta de frijol</td> <td>L. 300.00</td> </tr> <tr> <td>25 oct</td> <td>Venta de ropa</td> <td>L. 800.00</td> </tr> <tr> <td>30 oct</td> <td>Salario quincenal</td> <td>L. 1,500.00</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">↓ Clasificar</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2">Ingresos</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Empleo</td> <td>L. 3,000.00</td> </tr> <tr> <td>Negocio</td> <td>L. 800.00</td> </tr> <tr> <td>Venta de productos agrícolas</td> <td>L. 300.00</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">Venta de productos agrícolas</p> <p>貯蓄の効能と家計管理について説明するビデオ。</p>	Fecha	Detalle de Ingresos	Monto	15 oct	Salario quincenal	L. 1,500.00	18 oct	Venta de frijol	L. 300.00	25 oct	Venta de ropa	L. 800.00	30 oct	Salario quincenal	L. 1,500.00	Ingresos		Empleo	L. 3,000.00	Negocio	L. 800.00	Venta de productos agrícolas	L. 300.00
Fecha	Detalle de Ingresos	Monto																						
15 oct	Salario quincenal	L. 1,500.00																						
18 oct	Venta de frijol	L. 300.00																						
25 oct	Venta de ropa	L. 800.00																						
30 oct	Salario quincenal	L. 1,500.00																						
Ingresos																								
Empleo	L. 3,000.00																							
Negocio	L. 800.00																							
Venta de productos agrícolas	L. 300.00																							
<p style="text-align: center;"><b>家計簿帳</b></p>  <p style="text-align: center;">"Proyecto ACTIVO" Libreta de Registro de Gastos e Ingresos</p> <p>家計支出・収入の記録に使う。</p>	<p style="text-align: center;"><b>ビデオ教材 (生計向上)</b></p>  <p style="text-align: center;">¡Elabore y analice su plan!</p> <p>ビジネスプラン作成とマーケティング概念を説明。</p>																							

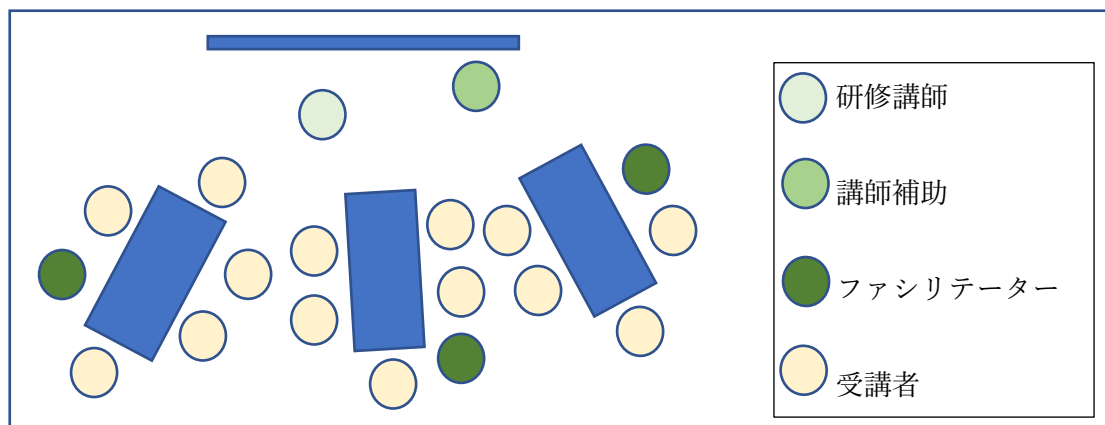
これらの教材はすべて、ACTIVO モデルガイドのウェブサイト版 (<https://p-activo.jimdo.com/>) で閲覧或いはダウンロードすることが可能である。対面式の研修では、冊子ベースの教材を活用することが推奨されるが、補助的にビデオ教材を活用するのも良い。

### 3.4 最貧困層向け ACTIVO モデル準拠研修の実施方法

研修では、講師が一方向的に講義をするのではなく、参加者の意見や経験談等を引き出しながら進めると良い。そのためには参加型議論も適宜取り入れる。研修中に参加型議論を進めるため、以下に留意すると良い。

- 講師は参加者の意見をよく聴く。
- 参加者の意見に対して否定的な見解を示さない。
- 参加者に対して、「これについて、どう考えますか」「どうすれば実践できると思いますか」など質問を投げかけて、議論を活発にさせる。

こういった参加型の議論が重要な理由は、参加者の自助努力を促すためである。自発的に考えて行動をさせるようにすることが重要である。研修では、講師による講義に加え、参加型議論も行うため、可能であれば、下のとおり、複数のファシリテーターを配置するのが望ましい。



各参加者の役割は、以下のとおりである。

- **研修講師：** 知識の伝達やテーマの紹介を行う。
- **講師補助：** 議論を集約し、黒板や模造紙に書いて受講者に提示するなど、研修が効率的にできるように取り計らう。
- **ファシリテーター：** グループ討議の際、各グループに入り、議論を活発化させる。議論が停滞した場合には、質問を投げかける。

なお、研修の実施に際しては、コミュニティリーダーにも参加してもらい、ファシリテーターを務めてもらうと良い。地元の人が安心して議論ができるようになるからである。また、研修後、コミュニティリーダーがコーチングをするのであれば、どのようなことが研修で議論されていたのか熟知していた方がコーチングも実施し易くなる。

以下、研修の具体的な進め方について、詳述する。



### 3.4.1 研修の導入部分の進め方

研修の導入部分では、以下に留意することが望まれる。

- 研修の導入部分では、参加者達に目的を理解してもらうため、ACTIVO モデルの概要を説明することが望まれる。右の写真の通り、最貧困からの脱出に向けた 3 ステップ（家計管理導入、口座預金、生計向上）について説明すると良い。その際、モデルのスローガン（より良い生活のための貯蓄、口座、労働及び収入）を提示することが望ましい。
- 参加者間で、CCT 資金の有効活用について意見交換することが望ましい。



ACTIVO モデルの  
3 ステップを説明する講師  
(SSIS 普及員)

既述の通り、ACTIVO モデルは、貯蓄習慣形成を重要視している。そこで、ACTIVO モデルのメイン教材の第 1～2 頁に則り、研修の導入部分では、貯蓄に関わる意見交換を進めることが望まれる。教材の第 1～2 頁のイメージを下に示す。

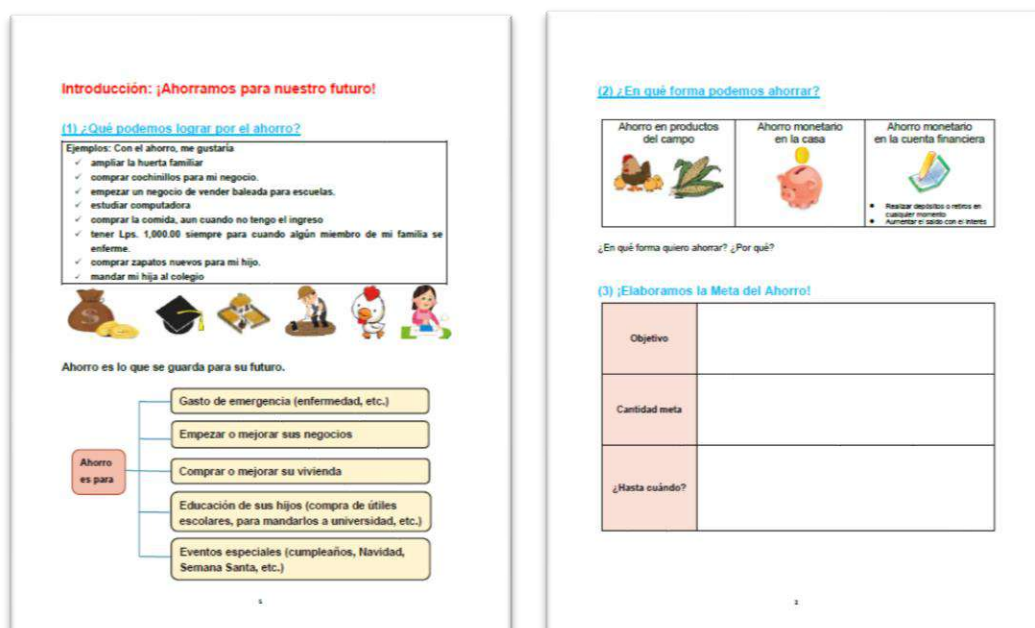


図 14. ACTIVO モデルのメイン教材の導入部分（第 1～2 頁）

研修受講者たちが、「貯蓄によって何を達成することができるのか」理解できるようになることが重要である。貯蓄目標を設定することで、貯蓄習慣形成に受けた意欲も出てくるようになる。貯蓄目標では、例として、「衣服販売業を開始するための元手を得るため、4 か月間で、2 千レンピーラを貯める」といったようなことを具体化すると良い。



### 3.4.2 第1 モジュール研修「家計管理」の進め方

ACTIVO モデル準拠研修のモジュール1「家計管理」部分の教材イメージを下に示す。

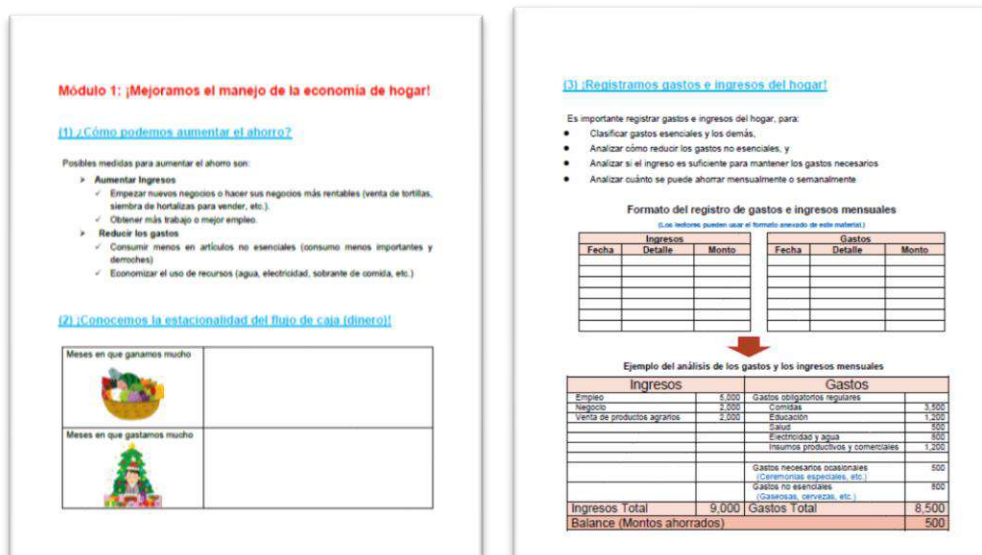


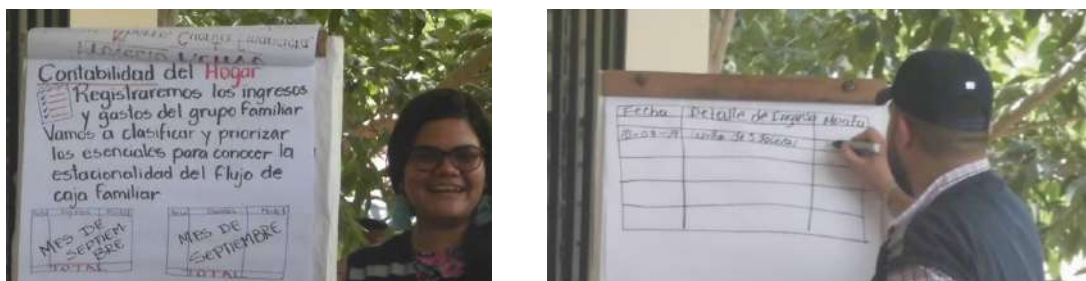
図 15. ACTIVO モデルのメイン教材の家計管理説明部分のイメージ

家計管理研修で取り上げるポイントは、①支出を減らし、収入を増やしながら、どのように貯蓄していくことができるのか、②家計資金フローに季節性があり、時期ごとの資金の過不足をどう補うのか、③家計支出と収入をどのように記録していくのか、である。

研修講師を務める場合、以下を参加者に尋ねることが望ましい。

- お金を無駄遣いした経験があるかどうか。
- 必要な支出であっても、より経済的にすることができた経験があるかどうか。
- 収入が不足し、現金が不足した月はあるのか。そうであれば、いつであったか。

こうした質問を通じ、参加者たちは、貯蓄の重要性に関わる理解を深め、そのために家計簿記入が重要であることを理解するようになる。こうした参加者間議論を行ったうえで、講師は、以下の写真に見られる通り、家計簿作成に係る演習を行うと良い。



最貧困層向け研修にて、家計管理目的と家計簿作成演習を提示する講師 (SSIS 普及員)

### 3.4.3 第2モジュール研修「金融教育基礎」の進め方

ACTIVO モデル準拠研修のモジュール2「金融教育基礎」部分の教材イメージを下に示す。

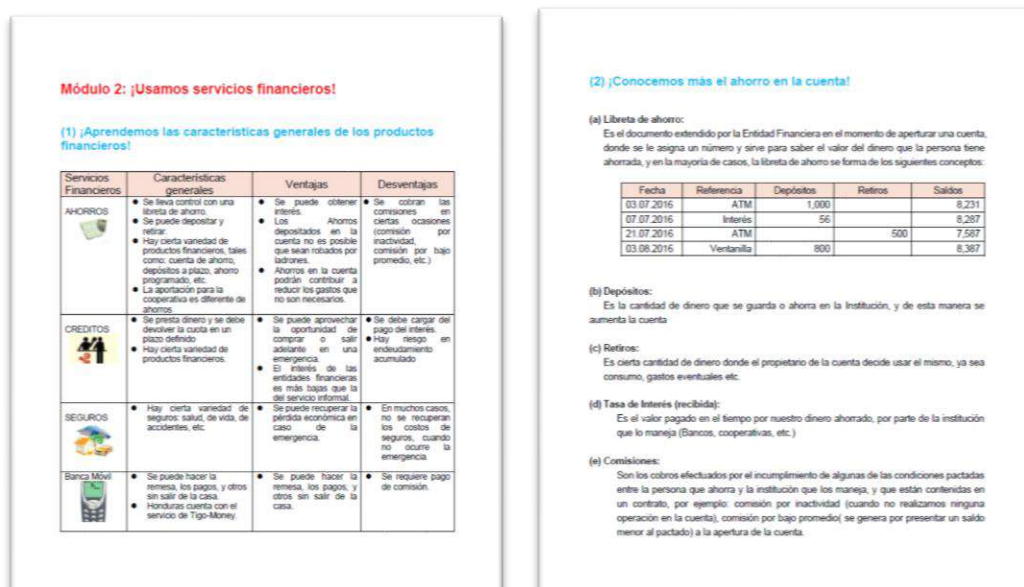


図 16. ACTIVO モデルのメイン教材の基礎金融教育部分のイメージ

ACTIVO モデルのメイン教材では、様々な金融商品タイプ（預金、融資、保険、モバイルバンキング・送金）の基礎的な知識を紹介している。但し、最も重要なのは預金口座の知識であるため、研修では、預金を集中的に取り上げた上で、以下の通り、預金口座のメリットを理解してもらおうと良い。

- 貯蓄習慣の形成を促進することができる。
- 預金以外の金融サービス（融資や送金等）のアクセス可能性のきっかけとなる。

口座預金の知識については、特に、次の点を説明すべきである。

- 預金通帳、引出と預入、利子等、口座預金に関わる基礎知識
- 口座預金種類（基礎口座、普通預金、積立型預金、定期預金等）

こうした基礎的な金融教育を行う場合、地元で営業する金融機関職員を招くことが推奨される。なお、金融機関支店のない地域で金融教育を行う場合、消化不良となる参加者もいる。そこで、こうした地域では、口座の基礎的な知識を中心にした研修を行うと共に、第1モジュールの家計管理の復習に力を入れると良い。



口座預金を説明する銀行支店長



預金通帳の構成を説明する SSIS 普及員

### 3.4.4 第3モジュール研修「生計向上計画」の進め方

ACTIVO モデル準備研修のモジュール3「生計向上計画」部分の教材イメージを下に示す。

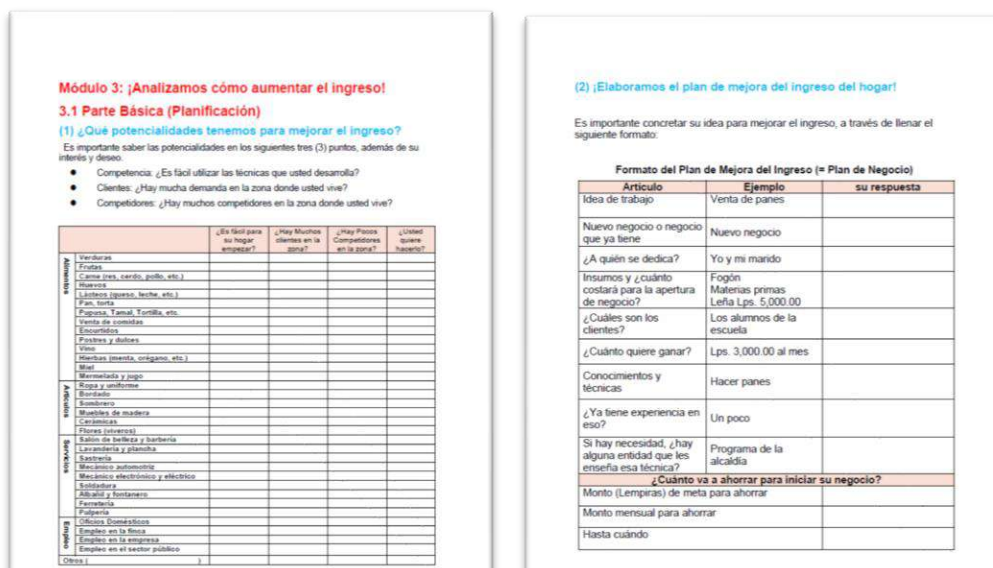


図 17. ACTIVO モデルのメイン教材の生計向上部分のイメージ

最貧困層の生計を安定させるためには、生計手段の複数化・多角化が肝要である。こうした生計手段の複数化・多角化に向けて、研修では、生業ビジネス事業計画の作成を働きかけることが重要である。その上で、計画作成を通じて、参加者に生業ビジネス実施に必要な「投入」を理解してもらう。生業ビジネス事業計画の作成支援方法は、下図の通りである。

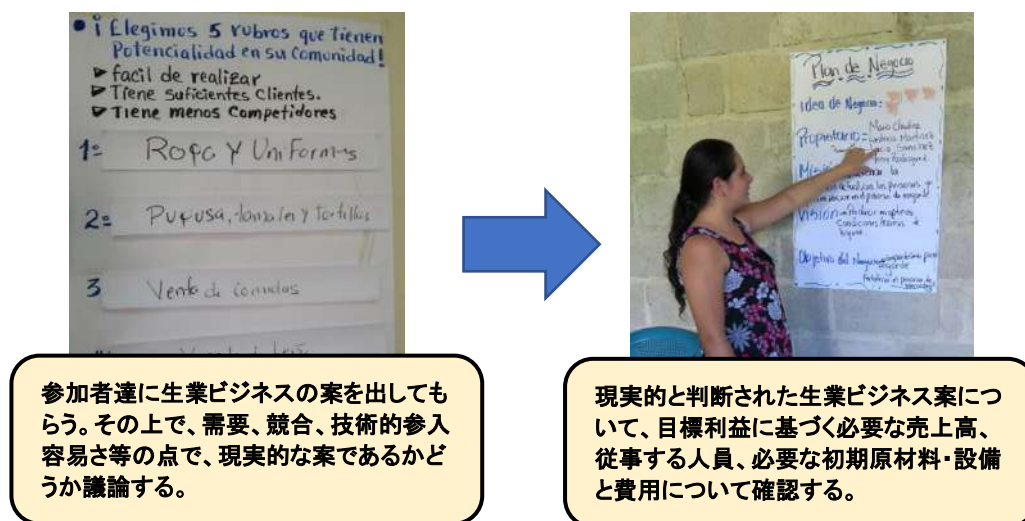


図 18. 研修における生業ビジネス計画の作成手順

### 3.4.5 職業教育

参加者が適切な生計向上計画を作成したとしても、直ちに、計画を実施できるとは限らない。そのための原資と技能が不足しているかもしれないからである。技能確保のための職業訓練については、原資確保のための準備期間中に行うことが考えられる。

なお、生業ビジネスの原資確保の選択肢としては、以下があり得る。

- ① 生業ビジネス開始に必要な資金を貯金する。
- ② 生業ビジネス用の小規模融資を申請する。
- ③ 生業ビジネス開始に必要な資産について、市自治体や他機関の支援を得る。




地方都市等の場合、必ずしも、生業ビジネス開業のために多額な元手は必要とされない。そこで、選択肢①も現実的である。選択肢②の生業ビジネスに係る小規模融資活用は、開始してから1年間以上経過している生業ビジネスの拡大に適している。

ACTIVO モデル参加の最貧困層が、生業ビジネス開始に向けた貯蓄を行っている間、市自治体等の支援を活用して、職業教育を受けられるようにすることが推奨される。こうした職業訓練実施に際しての留意事項は、次の通りである。

- 最貧困層女性は、家庭外での労働、家庭菜園、家事、育児等、多忙である。そこで、職業訓練も短時間で実施できるものが望ましい。
- 職業訓練のテーマは、その地域の需要に考慮して実施することが望ましい。例えば、既存のパン屋の間の競争の激しい地域において、パン作りの研修を行うことは推奨されない。

以下に、民芸品作成の場合の職業訓練の場合の実施手順例を示す。

表 8. 民芸品製造に関わる職業訓練の内容例

概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 目的： 参加者が手芸・工芸に必要な裁縫道具・工具一式の利用方法を熟知し、簡単な工芸作品を作成できるようにする。</li> <li>● 講師： 手工芸を行う地元の零細事業家が望ましい。</li> <li>● 所要時間： (複数回に分けて) 8時間程度</li> </ul>	
手順	<p>道具を使って真っすぐに切断したり、丸い形を切り抜けるようにしたりする。</p> <p>一通りの道具・工具の使い方を覚えるのが初期の目的である。</p>	
	<p>講師の指導で、基本技術を組み合わせた練習を行う。例えば、写真のとおり、造花のようなものも作れるようにする。</p>	
	<p>一通りの手工芸について習得したあと、さまざまな飾り付けができるようにする。参加者自身で楽しみながら実施できるようにすると良い。</p>	



### 3.5 最貧困層向けコーチング

研修を受けただけでは、参加世帯側として実践することが難しい場合もある。そこで、学習内容の復習、習得事項の実践を促すため、SSIS 普及員、市職員、コミュニティリーダー達がコーチングを行うことが望まれる。コーチングには以下の機能があり、これらが成果発現を促す。

- **モチベーションの強化：** コーチングを受けることで、参加者たちは、継続して研修に出席したり、学んだことを実践しようとしたりする。
- **経験の共有化：** コミュニティを基盤としてコーチングをすれば、好事例体験が他の人にも伝わりやすい。
- **参加者間の協力関係の醸成：** ACTIVO モデルは、各世帯の自助努力の推進を重要視する。一方で、各世帯の生計向上のためには、参加者間で協力し合うことも重要になる場合がある。コミュニティを基盤としたコーチングは、こうした参加者間の協力をも醸成する。

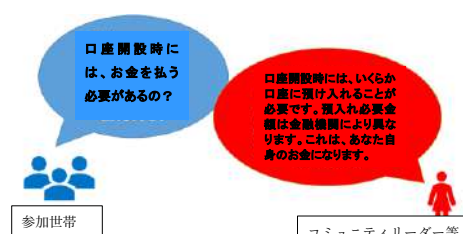


図 19. コーチングのイメージ

コーチングは、各世帯訪問の形もあり得るし、コミュニティごとに集会を開いて行う形でも良い。また、両方式の組み合わせも可能である。

なお、研修には参加したくとも、所用のために参加できない世帯や人もいる。そうした世帯向けにもコーチングをすることで、研修に出席できなかった分の補完をすると良いであろう。

コーチングの際に、参加世帯から質問を受けやすい事項について、下表の通り纏める。

表 9. コーチングにおいて参加世帯から寄せられることの多い質問項目

質問	回答例
1) 収入が少なくとも、貯蓄はできるのか？	貯蓄をするためには、収入を高めるという手段の他、支出を節約するという方法もある。必要な支出であっても、経済的に行われていない場合もある。例えば、残飯等が出ている場合、食費を節約することで、貯蓄を増やすことができる。
2) 何故、家計支出等を記録することが重要なのか？	家計支出等を記録することで、以下のようなことができるようになる。結果、貯蓄を増やし、緊急時への対応力を強化し、生業ビジネスを充実させることができるようになる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 必要性の少ない支出を見直すことができる。</li> <li>● より効率的な支出を考えることができる。</li> <li>● 貯蓄可能な金額を計画することができる。</li> </ul>
3) 信用組合の出資金は何か？	信用組合は、金融面を中心とした、組合員の相互扶助を旨とする。出資金は組合員になるためのお金であり、信用組合は、出資者である組合員のものであると言えることができる。




### 3.6 最貧困層向け生業活動用資産供与

最貧困層世帯では、必要な技能を得たとしても、直ちに生業活動を始められるとは限らない。元手が十分でないこともあり得るからである。貯蓄を用意してから、それを元手にして生業を行うのが理想であるが、日々の生活に困窮した最貧困層の場合、時間がかかりすぎてしまうかも知れない。

そこで、生業に関わる最初のきっかけを与えるため、生業用の資産を市・市連合会または中央政府が与えることも検討すべきである。こうした資産には、野菜種子、肥料、家畜、開業用の少額資金などが含まれる。

村落部では、野菜種子や家畜などの現物で資産供与を行うことも考えられるが、市街地では、最貧困層の生業活動も多種多様になる傾向があるので、一律的な現物供与では対応が難しい。そこで、開業用の少額資金を与えることを検討しても良い。下表では、実際に ACTIVO モデルにおいて実施された生業用資産供与の例を示す。こうした資産供与を行う対象としては、家計簿を作成して貯蓄習慣を身に付け、その上で、適切な生計向上計画を作成した世帯であることが望まれる。

表 10. 生業用資産供与の例

 <p>簡易灌漑システム</p>	<p>レンピーラ県サン・ラファエル市では、家庭菜園の研修を実施した世帯に対し、市連合会が野菜種子を提供し、市自治体が簡易灌漑システムを提供した。</p> <p>このように生業用資産供与は、最貧困層側のニーズ、提供した生業活動研修の内容等と整合していることが重要である。</p>
 <p>子豚</p>	<p>サンタ・バルバラ県キミスタン市では、市予算により、様々な種類の生業用資産が最貧困層に供与されている。例えば、子豚、鶏、商業用の元手現金等である。ACTIVO モデルの生計向上計画研修を通じて参加最貧困層世帯が適切なビジネスプランを作成したと市自治体が判断した場合、市自治体がそれに適した資産を供与している。</p>
 <p>屋台のセット</p>	<p>アトランティダ県中央部市連合会 (MAMUCA)は、傘下各市の最貧困層に生計向上研修を提供し、市自治体が、各研修参加者に適した生業用資産を供与している。写真の例では、最貧困層の零細ビジネス開始を促すため、市自治体が屋台のセットを供与した。</p>



### 3.7 最貧困層の生業ビジネス活動実施に対する助言

生業活動に関わる研修や資産供与を実施した後、SSIS 普及員、市職員、コミュニティリーダー等は、参加世帯の生計活動についてフォローアップすることが望まれる。

こうしたフォローアップにおける助言では、「インクルーシブビジネス」の考え方を念頭に置くと良い。この考え方は、貧困層女性がバリューチェーンに参加することで、経済的価値を生み出せるようにすることである。以下に、これまでの ACTIVO モデルでの実例を示すので、今後の助言活動の参考にすることができる。

表 11. インクルーシブビジネス推進に関わる ACTIVO モデル準拠活動事例一覧

 <p>女性零細ビジネス 間ネットワーク</p>	<p>都市圏では、既に零細ビジネスを営む貧困層女性も少なくない。そこで、こうした女性零細ビジネス間のネットワークを強化し、バリューチェーンとしての相互補完性を高めることが推奨される。</p> <p>例えば、ジャム作りを行う女性ビジネスと、菓子パン作りを行う女性ビジネスを結び付ける等である。</p> <p>左の写真は、首都テグシガルパ市内の市場の様子であり、女性零細ビジネス間の意見交換を通じ、扱い品目の多角化を目指している。</p>
 <p>洗剤宅配ビジネス</p>	<p>バリューチェーンを考える場合、最貧困層も消費者としての側面を持つ。最貧困層自身の消費者ニーズを満たすことで、新たなビジネスを起すことも検討可能である。</p> <p>首都テグシガルパでは、ACTIVO モデル参加世帯により、洗剤宅配ビジネスが立ち上げられた。これにより、以下のメリットが発現した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 空き容器の有効活用（都市部のゴミ軽減にも資する）</li> <li>● 最貧困層女性の労力負担軽減（重量のある液体洗剤を購入して運ぶ手間が省かれるようになった）</li> <li>● 家庭内衛生の改善</li> <li>● 洗剤販売という最貧困層の新たなビジネス機会の発現</li> </ul>
 <p>くす玉づくり</p>	<p>地域の需要と供給には往々にしてギャップがある。「くす玉」は、その例である。ホンジュラスのあらゆる地域でイベント時に「くす玉」を使うので需要は高いが、地域によっては生産者がいないこともある。「くす玉」づくりには難しい技術は不要なので、最貧困層女性が、こうした需給ギャップを埋めて、ビジネス機会とすることができる。</p>
 <p>市場アクセス</p>	<p>市自治体等は、参加世帯に対して、販売機会を提供できるようなフェア等企画・実施すると良い。サンタ・バルバラ県のラス・ベガス市では、市自治体が、週末フェアを開催し、地域の貧困層女性の販売機会を提供している。ACTIVO モデル参加世帯も、漬物、民芸品等を販売し、現金収入機会となっている。</p>
 <p>地域イベント活用</p>	<p>多くの地域では、文化イベント、スポーツイベント等が行われている。こうした地域イベントの機会を活かして、軽食等を販売する参加世帯の女性もいる。地域イベントは、普段にはない需要を生み出すので、そうした機会を活かし、経済価値を生み出すことが肝要である。</p>

### 3.8 マーケティングの考え方の導入

最貧困層の生業ビジネスに関わるマーケティング支援及び生計向上研修では、「需要と市場機会」について意識することが重要である。パン作りや衣服販売等では、既に多くの競合があり、どんな分野であれば競争していけるのか考えることが重要である。以下のフォームを使うと、生業ビジネス開始に向けて、どんな機会を活用したら良いのか、アイデアを得やすくなる。

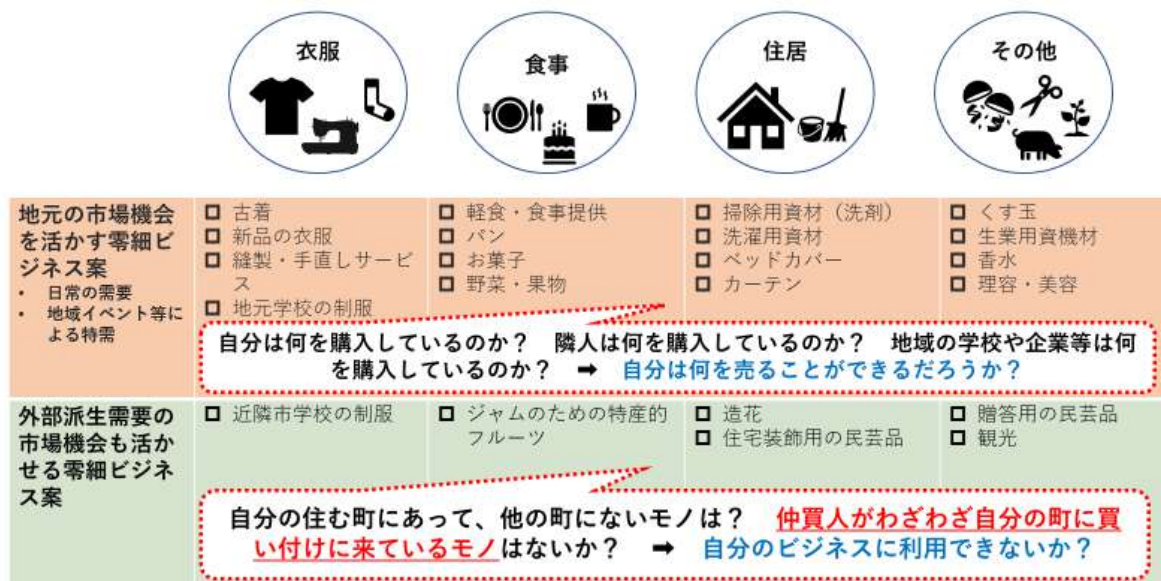


図20. ビジネス機会の発掘方法

前項で述べた通り、貧困層女性をバリューチェーンに組み入れるというインクルーシブビジネスの考え方を踏まえると、原材料、製造、流通、市場の各段階において、貧困層女性のニーズを考えることも重要である。こうしたバリューチェーン各段階における零細ビジネスの発想方法を下図に纏める。

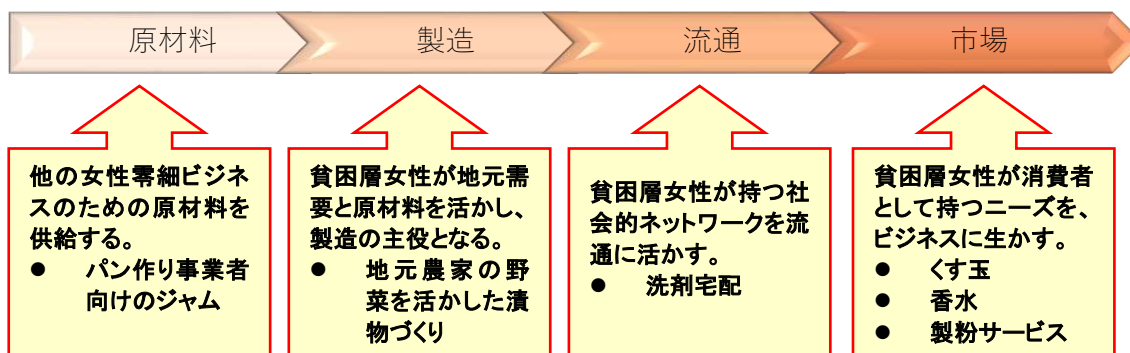





図 21. インクルーシブビジネスを踏まえたバリューチェーン考察

### 3.9 金融アクセス

ACTIVO モデルでは、最貧困層の口座預金実施を重要視している。口座預金により、最貧困層の①貯蓄習慣形成、②他の金融商品アクセスが促進されるからである。このため、ACTIVO モデルの活動については、下表の通り、金融機関の参画を得るようにすることが重要である。

表 12. 金融機関の ACTIVO モデル参画例

 <p>金融機関参画による金融教育</p>	<p>複数の金融機関が ACTIVO モデル準拠の金融教育に参加している。これには、以下のメリットがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 金融機関と最貧困層との間の信頼感が醸成されるようになる。</li> <li>● 参加世帯側は、より具体的に金融商品・サービス利用を検討するようになる。</li> <li>● 金融機関側は、こうした機会を活かして、最貧困層・貧困層のマーケットセグメント事情を知ることができる。</li> </ul>
 <p>銀行口座開設促進イベント</p>	<p>ACTIVO モデルでは、民間金融機関の口座開設プロモーション活動とも連携している。ACTIVO モデル参画金融機関では、預入最低金額を少なく設定しており、また、女性や若者向けの預金商品を用意したりしている。</p> <p>こうした民間銀行の活動は、社会統合副省（SSIS）普及員とも連携しており、最貧困層の口座開設及び貯蓄の動機付けに役立っている。</p>
 <p>口座開設支援</p>	<p>ACTIVO モデル参画金融機関は、口座開設を希望する貧困層世帯が一定数ある場合、その場所に出向き、口座開設手続きができるようにしている。こうした場合、貧困層は、金融機関窓口まで出向くための交通費を節減することができる。</p> <p>ACTIVO モデルの参加世帯側の活動は、こうした参画金融機関側の取り組みと整合して行われることが望まれる。こうした活動を通じて、預金が奨励されることになる。</p>

上表の取り組みは、新たに ACTIVO モデルに参加する最貧困層世帯にとって役立つものである。ACTIVO モデル参加世帯が、家計簿を作成の上、貯蓄習慣を身に付け、その上で、持続的な生計向上活動ができるようになった場合、民間金融機関の提供する小規模融資を利用することも推奨することができる。

### 3.10 モニタリング

ACTIVO モデルの実施モニタリングには、各市の実施レベルのものと、世帯レベルのモニタリングがある。以下、各々についてのモニタリング方法を示す。

#### 3.10.1 市レベルでのモニタリング

ACTIVO モデルの各市での実施においては、適切な投入が行われているかどうか、参加者に対する責任遂行ができてきているかどうか、目標に向けた進捗度合はどうかになっているのか等々を観察することが望ましい。このモニタリングで収集・分析する項目の案を以下に示す。

表 13. 各市の実施チームにおけるモニタリング項目（案）

活動の実施水準	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 家計管理研修、金融教育、生計向上研修は、予定通り、計画的・相互整合的に実施できたかどうか。</li> <li>● 生計活動の技術研修（パン作り、民芸品製造技術等の研修）は、参加者の作成した生計向上計画の内容と整合的に企画・実施されたかどうか。</li> <li>● 地域のコミュニティリーダー等を巻き込み、彼らを通じた参加世帯へのコーチング（フォローアップ活動）が実施できたかどうか。</li> <li>● 研修及びコーチングは、それを必要とする世帯に提供することができたかどうか。</li> </ul>
生業用資産供与の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 最貧困層に生業活動用資産を供与した場合、それが各世帯の生業ビジネス計画に合致したものであったかどうか。</li> <li>● 生業活動用資産の供与先は、家計管理を強化して貯蓄を実践しているような世帯であったかどうか。</li> <li>● 家畜を供与した場合、短期間或いは定期的な経済的価値創出につながったかどうか。また、供与後、家畜は健康であるかどうか。</li> <li>● 生業活動用の資産供与について、必要な世帯群にカバーすることができたかどうか。</li> </ul>
関係者の参加度合	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地元で営業する金融機関が、ACTIVO モデルの活動に参画しているかどうか。参画している場合、①最貧困層向け金融教育、②口座開設促進、③最貧困層・貧困層に適したサービス提供等で貢献しているかどうか。</li> <li>● 市自治体、市連合会、SSIS 普及員等の主要アクターは相互に協力しているかどうか。</li> <li>● 各コミュニティで少なくとも 1 名のリーダーが能動的に ACTIVO モデルに参画しているかどうか。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地区によって、ACTIVO モデルの活動内容、成果について特徴があるかどうか。特徴がある場合、その理由は何か。</li> </ul>



### 3.10.2 参加世帯レベルでのモニタリング

ACTIVO モデル参加世帯の活動進捗状況や達成内容等を観察することは重要である。現況観察を通じて、今後必要となる活動の計画・実施がしやすくなるからである。こうした観察には、以下のモニタリング項目がある。

- ① **記録を残すべき事項：** 参加世帯基本情報（代表者氏名、電話番号、身分証明書番号、住所）、受けた支援内容の記録（受講研修コース、コーチング回数など）
- ② **モニタリングすることが望ましい事項：** 家計簿作成実行の有無（および作成頻度）、貯金目標の有無、預金座高残高、そのほか貯蓄残高、利用している金融商品、実施している生業活動の内容、そのほか就労状況など

本ガイドラインの1.7節では、モニタリングの基本フォームを提示している。このフォームに示されているのは、最低限の項目、即ち、上述①に該当するものである。可能であれば、上述②の内容についてもモニタリングすることが望ましい。これによって、ACTIVO モデルの効果を検証することができるからである。モニタリングすることが望ましい項目について、以下の通り、ACTIVO モデルの各ステップに則って示す。

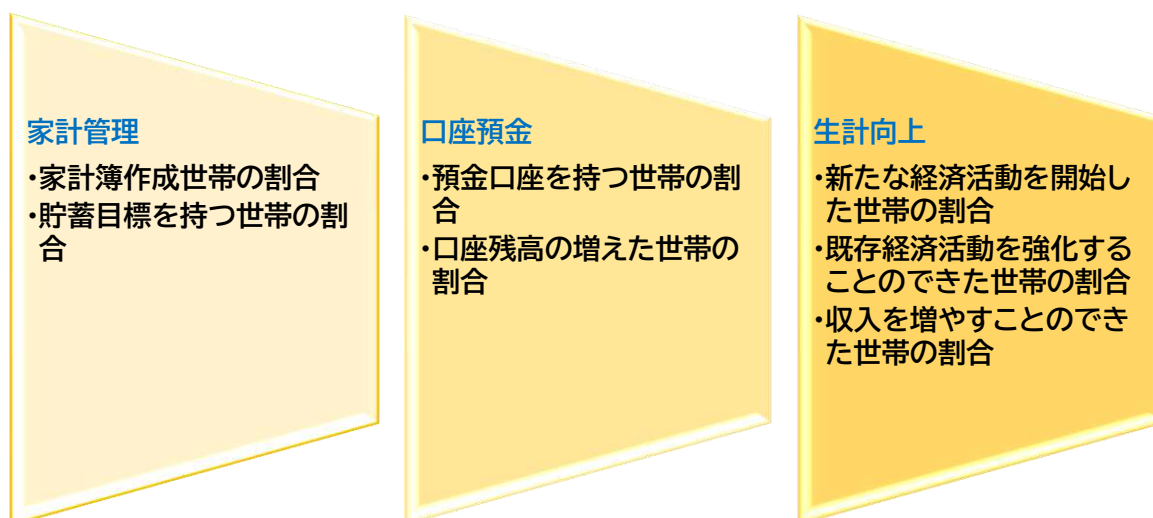


図 22. ACTIVO モデルの各ステップにおけるモニタリング項目の案



### 3.11 結論

このガイドラインで示された諸事項のうち、重要なポイントを以下に纏める。

- 貧困削減を進めるためには、最貧困層の自助努力を促すことが肝要である。そのために、①家計管理の強化（家計資金管理の強化、貯蓄実践、不要な支出の削減等）、②適切な金融商品利用（特に預金口座の利用）、③生計向上に向けた経済活動実施の3つのステップを促していくことが重要である。
- 最貧困層の金融包摂と統合的に、経済活動における包摂も進めることが望まれる。金融包摂を進めれば、最貧困層も経済活動が実施しやすくなり、結果、経済的にも包摂されることになる。また、経済活動の活発化は、最貧困層の金融ニーズを高めることにも資する。
- SSIS 普及員は、以上のような貧困削減に向けた取り組みを、ACTIVO モデルの実践という形で進めることが重要である。
- SSIS 普及員は、かかる実践のために、他の地域アクター、特に市自治体との連携を図るべきである。

このガイドラインの内容は、ウェブ版 (<https://p-activo.jimdo.com/>) でも参照可能である。ガイドラインのウェブ版のイメージを下に示す。このサイトから、ACTIVO モデル推奨教材等をダウンロードすることも可能である。



ACTIVO モデル運用ガイドライン（生計向上促進ガイドライン）のウェブ版イメージ

(以上)

付属資料 2. 合同調整委員会 (JCC) 会合の議事録 (計 5 回分) (英文・西文)

(1) 第 1 回 JCC 会合の英文議事録

MINUTES OF THE MEETING

ON

PROJECT ON LIFE IMPROVEMENT AND LIVELIHOOD ENHANCEMENT OF  
CONDITIONAL CASH TRANSFER BENEFICIARIES THROUGH FINANCIAL INCLUSION

Honduran side and Japanese side held a series of discussions on the project on life improvement and livelihood enhancement of conditional cash transfer beneficiaries through financial inclusion (hereinafter referred to as "the Project").

Both sides agreed the following points.

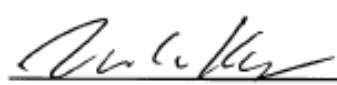
**(1) Objectively verifiable indicators on the Project**

Activities of the Project will be developed to accomplish indicators on the Project Matrix Design (attached).

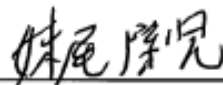
**(2) Project Manager**

In addition to the Coordinator of Project Coordination Unit, Director on Opportunities for Vulnerable Sectors will be responsible for managerial and technical matters of the Project.

Tegucigalpa, 16th October 2015



Naoki Kamijo  
Chief Representative  
Japan International Cooperation  
Agency (JICA) Honduras Office



Akihiro Tsukamoto  
Chief of the Project



Zoila Patrieia Cruz  
Vice Minister of Social  
Integration in charge of  
Family Allowance  
Programme

Annex 1.

**Main Points Discussed**

1. Indicators on Project Purpose

The numeric indicator "At least **500** CCT beneficiary households in target municipalities start activities for life improvement and livelihood enhancement" reflects the reality, taking into consideration of difficulty and risk for start-up business for that population.

2. Promotion on youth generation participation

Accordance with the policy of the President of Honduras, it is required to analyze to promote the participation on youth generation, between 18 and 30 ages old, in the CCT beneficiary household, in training programmes.



Annex 2.  
**Summary of PDM Version 1 (October 2015)**

	<b>Objectively Verifiable Indicators</b>
<p><b>Overall Goal</b>            The model established to promote life improvement and livelihood enhancement of CCT beneficiary households is institutionalized for nationwide delivery.</p>	<p>1. The established model is enacted as a law or ordinance.            2. Budget to implement the established model is secured by SSIS/PRAF, municipality and Inter-municipal Council.</p>
<p><b>Project Purpose</b>            The model is established to promote life improvement and livelihood enhancement of CCT beneficiary households.</p>	<p>1. At least <b>500</b> CCT beneficiary households in target municipalities start activities for life improvement and livelihood enhancement.            2. Guideline in Output 4 is approved by the President's Office.</p>
<p><b>Output</b></p> <p>1. The capacity to manage family budget is enhanced in CCT beneficiary households in target municipalities.</p> <p>2. The access to financial services is improved for CCT beneficiary households in target municipalities.</p> <p>3. CCT beneficiary households in target municipalities acquire skills necessary for life improvement and livelihood enhancement.</p> <p>4. By summarizing Outputs 1 to 3, Guidelines are prepared to promote life improvement and livelihood enhancement of CCT beneficiary households.</p>	<p>1-1. At least <b>2000</b> CCT beneficiary households in target municipalities participate in family budget management training.            1-2. At least <b>1000</b> CCT beneficiary households in target municipalities manage family budget by keeping household accounts, etc.</p> <p>2-1. At least <b>2000</b> CCT beneficiary households in target municipalities take financial education.            2-2. Examples and number of cases implemented by financial institutions, etc. to provide financial service for beneficiary households            2-3. At least <b>1000</b> CCT beneficiary households in target municipalities open a bank account, and start saving money.</p> <p>3-1. At least <b>2000</b> CCT beneficiary households in target municipalities participate in training for life improvement and livelihood enhancement.            3-2. At least <b>1000</b> CCT beneficiary households in target municipalities formulate activity plans for life improvement and livelihood enhancement.</p> <p>4. Guidelines for organizations to promote for life improvement and livelihood enhancement of CCT beneficiary households</p>



(2) 第1回 JCC の西文議事録

MINUTA DE LA REUNIÓN

SOBRE

EL PROYECTO PARA EL MEJORAMIENTO DE LA CALIDAD DE VIDA Y LA ELEVACION DEL NIVEL DE SUBSISTENCIA DE LOS HOGARES BENEFICIARIOS DE TRANSFERENCIAS MONETARIAS CONDICIONADAS A TRAVES DE SU INCLUSION FINANCIERA

La parte hondureña y la parte japonesa sostuvieron una serie de discusiones sobre el proyecto para el mejoramiento de la calidad de vida y la evaluación del nivel de subsistencia de los hogares beneficiarios de trasferencias monetarias condicionadas a través de su inclusión financiera (en adelante referido como "el Proyecto").

Las ambas partes confirmaron los siguientes puntos.

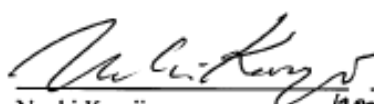
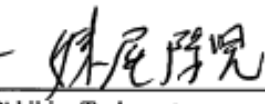
**(1) Indicadores del proyecto**

Las actividades del Proyecto se desarrollarán con miras al logro los indicadores presentados en la hoja adjuntada.


**(2) Gerente del proyecto**


No sólo el coordinador general de la Unidad Coordinadora de Proyectos (UCP) sino también el director de la Dirección de Oportunidades para Sectores Vulnerables (DOSV) asume la responsabilidad sobre el manejo y asuntos técnicos del Proyecto, como gerente del Proyecto.

Tegucigalpa, 16 de octubre de 2015

Naoki Kamijo  
Jefe Representante  
Oficina en Honduras  
Agencia de Cooperación  
Internacional del Japón (JICA)

 Akihiro Tsukamoto  
Asesor Principal del  
Proyecto

  
Zoila Patricia Cruz  
Sub Secretarja de Integración  
Social y Encargada del  
Programa de Asignación  
Familiar FRAF





Anexo 1.

### **Aspectos Discutidos Relevantes**

#### 1. Indicadores de Objetivo Específico del Proyecto

El indicador numérico de “más de 500 hogares empezaron las actividades para elevar el nivel de subsistencia y mejorar la calidad de vida” se refleja la realidad, tomándose en cuenta la dificultad y el riesgo de emprendimiento de dicha población.

#### 2. Promoción de participación de los jóvenes

Con compatibilidad de la política del Presidente de la República, dentro de los participantes del Proyecto, se requiere analizar la promoción de la participación de los jóvenes de 18 a 30 años de edad de los hogares beneficiarios de Transferencia Monetaria Condicionada a capacitar.



Anexo 2.

**Resumen del Marco Lógico Versión 1 (Octubre 2015)**

Resumen del proyecto	Indicadores Objetivamente Verificables
<b>Objetivo Global</b>  El modelo establecido para promover el mejoramiento de la calidad de vida y la elevación del nivel de subsistencia de los hogares beneficiarios de la TMC se institucionalizará a nivel nacional.	1. Se establece como ley o decreto el modelo definido. 2. Se asegura el presupuesto por SSIS/PRAF, las municipalidades y las mancomunidades con el fin de llevar a cabo el modelo establecido.
<b>Objetivo Específico del Proyecto</b>  El modelo para promover el mejoramiento de la calidad de vida y el nivel de subsistencia de los hogares beneficiarios de la TMC queda establecido.	1. Entre los hogares beneficiarios de la TMC en los municipios objetivo, más de 500 hogares empezaron las actividades para elevar el nivel de subsistencia y mejorar la calidad de vida. 2. Los lineamientos mencionados en el Resultado 4 se aprueban por la Presidencia.
<b>Metas</b>  1. Queda fortalecida la capacidad administrativa de la economía del hogar de los beneficiarios de la TMC en los municipios objetivo.	1-1. Entre los hogares beneficiarios de la TMC en los municipios objetivo, al menos 2.000 hogares asistieron a la capacitación sobre la administración de la economía del hogar.  1-2. Entre los hogares beneficiarios de la TMC en los municipios objetivo, al menos 1.000 hogares administran la economía del hogar con la libreta de cuentas, etc.
2. Queda mejorado el acercamiento y el uso de los servicios financieros de los hogares beneficiarios de la TMC en los municipios objetivo.	2-1. Entre los hogares beneficiarios de la TMC en los municipios objetivo, al menos 2.000 hogares recibieron la educación financiera.  2-2. Ejemplos y número de trabajos realizados por las instituciones financieras y otros, para ofrecer los servicios financieros dirigidos a los hogares beneficiarios.  2-3. Entre los hogares beneficiarios de la TMC en los municipios objetivo, al menos 1.000 hogares abrieron la cuenta de ahorro en alguna(s) institución(es) financiera(s) después del inicio del proyecto, y empezaron a ahorrar.
3. Los hogares beneficiarios de la TMC de los municipios objetivo adquieren técnicas necesarias para mejorar la calidad de vida y subsistencia.	3-1. Entre los hogares beneficiarios de la TMC en los municipios objetivo, al menos 2.000 hogares recibieron la capacitación para mejorar la calidad de vida y elevar el nivel de subsistencia.  3-2. Entre los hogares beneficiarios de la TMC en los municipios objetivo, al menos de 1.000 hogares formularon el plan de actividades para mejorar la calidad de vida y elevar el nivel de subsistencia.
4. Los lineamientos se elaboran recopilando los Resultados 1 al 3, para promover el mejoramiento de la calidad de vida y la elevación del nivel de subsistencia de los hogares beneficiarios de la TMC.	4. Lineamientos para las instituciones relacionadas que promuevan el mejoramiento de la calidad de vida y la elevación del nivel de subsistencia de los hogares beneficiarios de la TMC.

*Pi*  
*ahs*

(3) 第2回 JCC 会合の英文議事録

MEETING NOTE

ON

PROJECT ON LIFE IMPROVEMENT AND LIVELIHOOD ENHANCEMENT OF  
CONDITIONAL CASH TRANSFER BENEFICIARIES THROUGH FINANCIAL INCLUSION

Honduran and Japanese sides held a series of discussions on the Project on life improvement and livelihood enhancement of conditional cash transfer (CCT) beneficiaries through financial inclusion (hereinafter referred to as “the Project”).

The discussions developed by the both sides include:

**1. Project Progress**

- The Project pilot activities have generated positive changes in the financial and economic situations of the pilot households, thanks to the activities realized by the social agents (*“gestores sociales” in Spanish language*) of the Vice Ministry of Social Integration (SSIS), municipal officials, community leaders and financial institutions.
- The Project has contributed to the development of financial products and services which are appropriate for the CCT beneficiaries.
- The first draft of the Guidelines, which present the methodologies for financial and productive inclusion to be applied in all over the country, has been elaborated.

**2. Activities to be developed in the remaining period of the Project**

- The end line survey will be implemented in the middle of the year 2017, applying Randomized Controlled Trial (RCT), in order to evaluate the impact generated by the Project pilot activities.
- The second draft of the Guidelines will be elaborated by feedback from the end line survey and the lessons learnt from the Project pilot activities, and it will be applied to promote both financial and productive inclusion, with a view to the life improvement and livelihood enhancement of CCT beneficiaries in all over Honduras.
- The Guidelines will be applied by different organizations including central government entities, municipalities, financial institutions and non-governmental organizations (NGOs) in a coordinated manner among them, in order to maximize positive synergy effects and reduce the poverty in Honduras.

Tegucigalpa, February 23, 2017

(4) 第2回 JCC 会合の西文議事録

ACTA DE LA REUNIÓN

SOBRE

EL PROYECTO PARA EL MEJORAMIENTO DE LA CALIDAD DE VIDA Y LA ELEVACION  
DEL NIVEL DE SUBSISTENCIA DE LOS HOGARES BENEFICIARIOS DE  
TRANSFERENCIAS MONETARIAS CONDICIONADAS A TRAVES DE SU INCLUSION  
FINANCIERA

La parte hondureña y la parte japonesa sostuvieron una serie de discusiones sobre el proyecto para el mejoramiento de la calidad de vida y la evaluación del nivel de subsistencia de los hogares beneficiarios de transferencias monetarias condicionadas a través de su inclusión financiera (en adelante referido como “el Proyecto”).

Las discusiones desarrolladas incluyen:

**1. Avances del Proyecto**

- Las actividades piloto del Proyecto han generado el cambio positivo en las situaciones financieras y económicas de los hogares piloto, gracias a la labor de los gestores sociales de la Sub-Secretaría de Integración Social (SSIS), funcionarios municipales, líderes comunitarios y entidades financieras.
- El Proyecto ha contribuido para el desarrollo de productos y servicios financieros apropiados a los hogares participantes del Bono Vida Mejor.
- Se ha elaborado el primer borrador de la Guía, que presenta las metodologías de inclusión financiera y productiva a aplicar en todo el país.

**2. Actividades a desarrollar en el periodo restante del Proyecto**

- Se implementará el estudio de línea final a mediados del año 2017 para evaluar el impacto generado de las actividades piloto desarrolladas, de acuerdo a la metodología; “Prueba Controlada Aleatorizada”.
- El segundo borrador de la Guía se elaborará, retroalimentando el resultado del estudio de línea final y las lecciones aprendidas de las actividades piloto del Proyecto, y el mismo se deberá aplicar para promover la inclusión financiera y productiva, con miras a la mejora de la calidad de la vida y el nivel de subsistencia de los hogares participantes del Bono Vida Mejor en todo Honduras.
- La Guía se aplicará de las diferentes organizaciones, incluyendo entidades del gobierno central, municipalidades, instituciones financieras y organizaciones no gubernamentales (ONG), fortaleciendo la coordinación entre ellos para maximizar los efectos positivos de sinergia con miras a la erradicación de la pobreza en Honduras.

Tegucigalpa, 23 de febrero de 2017

(5) 第3回 JCC 会合の英文議事録

MEETING NOTE

ON

PROJECT ON LIFE IMPROVEMENT AND LIVELIHOOD ENHANCEMENT OF  
CONDITIONAL CASH TRANSFER BENEFICIARIES THROUGH FINANCIAL INCLUSION

Honduran and Japanese sides held a series of discussions on the Project on life improvement and livelihood enhancement of conditional cash transfer (CCT) beneficiaries through financial inclusion (hereinafter referred to as "the Project").

The discussions developed by the both sides include:

**1. Project Progress**

- The Project pilot activities have generated positive changes in the financial and economic situations of the pilot households, thanks to the activities realized by the social agents ("gestores sociales" in Spanish language) of the Vice Ministry of Social Integration (SSIS), municipal officials, community leaders and financial institutions. The end line survey implemented in the middle of the year 2017, applying Randomized Controlled Trial (RCT), provides statistical evidence about these positive changes.
- The Project has contributed to the development of financial products and services which are appropriate for the CCT beneficiaries.
- The draft of the Guidelines, which present the methodologies for financial and productive inclusion to be applied in all over the country, has been elaborated, based on the end line survey result and the lessons learned from the Project pilot activities.

**2. Activities to be developed in the remaining period of the Project**

- The Guidelines will be applied by different organizations including central government entities, municipalities, financial institutions and non-governmental organizations (NGOs) in a coordinated manner among them, in order to maximize positive synergy effects and reduce the poverty in Honduras.
- In October 2017 the training course "financial inclusion" will be implemented in Paraguay, inviting public sector officials (SSIS and the other government entities' officials) and leaders of the private financial sector, in order to promote the country's financial inclusion.

**3. Administrative and operational system of the Project**

- The Direction of Opportunities for Vulnerable Sector (DOSV) of the SSIS assumes the operation and technical issues of the Project.

Tegucigalpa, September 26, 2017



(6) 第3回 JCC 会合の西文議事録

ACTA DE LA REUNIÓN

SOBRE

EL PROYECTO PARA EL MEJORAMIENTO DE LA CALIDAD DE VIDA Y LA ELEVACION  
DEL NIVEL DE SUBSISTENCIA DE LOS HOGARES BENEFICIARIOS DE  
TRANSFERENCIAS MONETARIAS CONDICIONADAS A TRAVES DE SU INCLUSION  
FINANCIERA

La parte hondureña y la parte japonesa sostuvieron una serie de discusiones sobre el proyecto para el mejoramiento de la calidad de vida y la evaluación del nivel de subsistencia de los hogares beneficiarios de transferencias monetarias condicionadas a través de su inclusión financiera (en adelante referido como “el Proyecto”).

Las discusiones desarrolladas incluyen:

**1. Avances del Proyecto**

- Las actividades piloto del Proyecto han generado el cambio positivo en las situaciones financieras y económicas de los hogares piloto, gracias a la labor de los gestores sociales de la Sub-Secretaría de Integración Social (SSIS), funcionarios municipales, líderes comunitarios y entidades financieras. Dicho cambio positivo se respalda de las evidencias estadísticas formadas del estudio de línea final ya realizado de acuerdo a la metodología; “Prueba Controlada Aleatorizada”.
- El Proyecto ha contribuido para el desarrollo de productos y servicios financieros apropiados a los hogares participantes del Bono Vida Mejor.
- Se ha elaborado el borrador de la Guía, que presenta las metodologías de inclusión financiera y productiva a aplicar en todo el país, retroalimentando el resultado del estudio de línea final y las lecciones aprendidas de las actividades piloto del Proyecto.

**2. Actividades a desarrollar en el período restante del Proyecto**

- La Guía se aplicará de las diferentes organizaciones, incluyendo entidades del gobierno central, municipalidades, instituciones financieras y organizaciones no gubernamentales (ONG), fortaleciendo la coordinación entre ellos para maximizar los efectos positivos de sinergia con miras a la erradicación de la pobreza en Honduras.
- En el mes octubre del año 2017, se implementará el curso internacional “inclusión financiera” en Paraguay, invitando a los funcionarios del sector público (SSIS y otras entidades gubernamentales) y los líderes del sector financiero privado, para promover la inclusión financiera del país.

**3. Sistema administrativo y operativo del Proyecto**

- La Dirección de Oportunidades para Sectores Vulnerables (DOSV) asume el manejo y asuntos técnicos del Proyecto.

Tegucigalpa, 26 de septiembre de 2017

(7) 第4回 JCC 会合の西文議事録

ACTA DE LA REUNIÓN

SOBRE

EL PROYECTO PARA EL MEJORAMIENTO DE LA CALIDAD DE VIDA Y LA ELEVACION DEL NIVEL DE SUBSISTENCIA DE LOS HOGARES BENEFICIARIOS DE TRANSFERENCIAS MONETARIAS CONDICIONADAS A TRAVES DE SU INCLUSION FINANCIERA

La parte hondureña y la parte japonesa sostuvieron una serie de discusiones sobre el proyecto para el mejoramiento de la calidad de vida y la evaluación del nivel de subsistencia de los hogares beneficiarios de transferencias monetarias condicionadas a través de su inclusión financiera (en adelante referido como “el Proyecto ACTIVO”).

Las discusiones desarrolladas incluyen:

**1. Marco del Proyecto ACTIVO**

El Comité Conjunto de Coordinación confirma la modificación del marco lógico del Proyecto ACTIVO, como adjuntado.

**2. Avances del Proyecto ACTIVO hasta el fin del Segundo Período**

- Las actividades piloto del Proyecto ACTIVO han generado el cambio positivo en las situaciones financieras y económicas de los hogares piloto, gracias a la labor de los gestores sociales de la Sub-Secretaría de Integración Social (SSIS), funcionarios municipales, líderes comunitarios y entidades financieras. Dicho cambio positivo se respalda de las evidencias estadísticas formadas del estudio de línea final ya realizado de acuerdo a la metodología de “Prueba Controlada Aleatorizada”.
- El Proyecto ACTIVO ha contribuido para el desarrollo de productos y servicios financieros apropiados a los hogares participantes del Bono Vida Mejor.
- Se ha elaborado el borrador de la Guía, que presenta las metodologías de inclusión financiera y productiva a aplicar en todo el país, retroalimentando el resultado del estudio de línea final y las lecciones aprendidas de las actividades piloto del Proyecto.
- El Modelo ACTIVO ya se ha aplicado por aproximadamente 2,500 hogares, aplicando la Guía mencionada arriba, y el mismo beneficia a más de 10,000 hogares mediante la extensión del modelo a mancomunidades a través de la SSIS, y también de las entidades financieras participantes en el Modelo.

**3. Actividades a desarrollar en el período restante del Proyecto ACTIVO**

- El Modelo ACTIVO se habrá aplicado, como una meta probable hasta el fin del Proyecto programado para el mes abril 2020, a más de 5,000 hogares en los 5 municipios objetivos originales del Proyecto (Tegucigalpa, Villa de San Francisco, Quimistán, Las Vegas y San Rafael), y además 3,000 hogares en total en los 50 municipios, a través de las Mancomunidades tales como GUI SAYOTE, MAVAQUI, CODEMUSSBA, MUNASBAR, CRA, HIGUITO, MANOFM, MAMUCA entre otras.

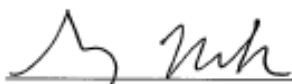
- El Modelo ACTIVO se retroalimentará de manera explícita en:
  - (i) Estrategia Nacional de salida del programa del BVM con Inclusión Productiva, Financiera y Social
  - (ii) Manuales Metodológicos de Formación
- El sistema de la extensión del Modelo se establecerá dentro de la SSIS.

En el mes octubre del año 2018, se implementará el curso internacional “inclusión financiera” en Paraguay, invitando a los funcionarios del sector público (la SSIS y otras entidades gubernamentales) y los representantes del sector financiero privado, para promover la inclusión financiera del país. En esta oportunidad, por parte de la SSIS participarán Dra. Lissi Marcela Matute Cano, Abogada Paola Isel Arriaza Paz, y Lic. Mirta Lizeth Maradiaga Argeñal para promover la aplicación del Modelo ACTIVO.

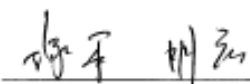
**4. Sistema administrativo y operativo del Proyecto**

- Tanto la Dirección de Promoción y Desarrollo humano (PDH) como la Dirección de Oportunidades para Sectores Vulnerables (DOSV) asumen el manejo y asuntos técnicos del Proyecto ACTIVO.
- La Licenciada Mirta Maradiaga, asesora de la SSIS, monitorea el manejo y asuntos técnicos del Proyecto como Gerente de Operación.

Tegucigalpa, 23 de agosto de 2018



**Lic. Suguru Nakane**  
 Director General  
 Agencia de Cooperación  
 Internacional del Japón  
 (JICA)  
 Oficina en Honduras



**Lic. Akihiro Tsukamoto**  
 Asesor Principal  
 del Proyecto



**Dra. Lissi Marcela Matute Cano**  
 Viceministra de la Secretaría de  
 Desarrollo e Inclusión Social

**Anexo: Marco lógico modificado (Matriz de Diseño del Proyecto)**

**Título del Proyecto:** Proyecto del mejoramiento de la calidad de vida y el nivel de subsistencia de los hogares beneficiarios de las Transferencias Monetarias Condicionadas a través de la inclusión financiera.

**Área del Proyecto:** 5 municipios en 3 departamentos (Tegucigalpa en Francisco Morazán, Quimistán en Santa Bárbara, San Rafael en Lempira, Villa de San Francisco en Francisco Morazán y Las Vegas en Santa Bárbara)

**Grupo objetivo:** Los hogares beneficiarios de la TMC en los municipios objetivo

Sumario narrativo	Indicadores Objetivamente Verificables	Métodos de verificación	Supuestos importantes
<p><b>Meta Global</b> El modelo establecido para promover el mejoramiento de la calidad de vida y la elevación del nivel de subsistencia de los hogares beneficiarios de la TMC se institucionalizará a nivel nacional.</p>	<p>1. Se establece como ley o decreto el modelo definido. 2. Se asegura el presupuesto por SSIS, las municipalidades y las mancomunidades con el fin de llevar a cabo el modelo establecido.</p>	<p>1. Leyes y/o decretos establecidos. 2. Planes presupuestales correspondientes a SSIS, municipalidades y mancomunidades.</p>	
<p><b>Objetivo del Proyecto</b> El modelo para promover el mejoramiento de la calidad de vida y el nivel de subsistencia de los hogares beneficiarios de la TMC queda establecido.</p>	<p>1. Entre los hogares beneficiarios de la TMC en los municipios objetivo, más de 500 de hogares empezaron las actividades para elevar el nivel de subsistencia y mejorar la calidad de vida. 2. Los lineamientos mencionados en el Resultado 4 se aprueban por la <b>SSIS</b>.</p>	<p>1. Registro del monitoreo de actividades de los hogares beneficiarios de acuerdo con el plan de actividades. 2. Aprobación de los lineamientos.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>No desmejora notablemente la seguridad pública y la economía de Honduras.</li> <li>No declina notablemente el estado financiero de los gobiernos locales.</li> </ul>
<p><b>Resultados</b> 1. Queda fortalecida la capacidad administrativa de la economía del hogar de los beneficiarios de la TMC en los municipios objetivo.  2. Queda mejorado el acercamiento y el uso de los servicios financieros de los hogares beneficiarios de la TMC en los municipios objetivo.</p>	<p>1-1. Entre los hogares beneficiarios de la TMC en los municipios objetivo, al menos 2000 de hogares asistieron a la capacitación sobre la administración de la economía del hogar. 1-2. Entre los hogares beneficiarios de la TMC en los municipios objetivo, al menos 1000 de hogares administran la economía del hogar con la libreta de cuentas, etc.  2-1. Entre los hogares beneficiarios de la TMC en los municipios objetivo, al menos 2000 de hogares recibieron la educación financiera. 2-2. Ejemplos y número de trabajos realizados por las instituciones financieras y otros, para ofrecer los servicios financieros dirigidos a los</p>	<p>1-1. Informe de ejecución de la capacitación sobre la administración de la economía del hogar. 1-2. Monitoreo de la situación de la administración de la economía del hogar.  2-1. Informe de ejecución de la educación financiera. 2-2. Encuesta por medio de entrevistas con las</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>No cambia notablemente el rol y políticas de las instituciones relacionadas, como SSIS, las mancomunidades principalmente.</li> <li>No desmejora significativamente la condición de la seguridad pública y la economía de los municipios objetivo.</li> <li>No cambia notablemente la política del gobierno</li> </ul>

hogares beneficiarios. <b>2-3.</b> Entre los hogares beneficiarios de la TMC en los municipios objetivo, al menos 1000 de hogares abrieron cuenta de ahorro en alguna(s) institución(es) financiera(s) y empezaron a ahorrar.	instituciones financieras y otros. <b>2-3.</b> Registro del monitoreo del uso de los servicios financieros.	hondureño sobre la TMC. <ul style="list-style-type: none"> <li>No cambia notablemente la política de otros donantes relacionados con el apoyo a la TMC.</li> </ul>
<b>3.</b> Los hogares beneficiarios de la TMC de los municipios objetivo adquieren técnicas necesarias para mejorar la calidad de vida y elevar el nivel de subsistencia.	<b>3-1.</b> Informe de ejecución de la capacitación sobre el mejoramiento de la calidad de vida y la elevación del nivel de subsistencia. <b>3-2.</b> Registro del monitoreo de las actividades que realizan los hogares beneficiarios. <b>4.</b> Lineamientos	hogares beneficiarios de la TMC en los municipios objetivo, al menos 2000 de hogares recibieron la capacitación para mejorar la calidad de vida y elevar el nivel de subsistencia. <b>3-2.</b> Entre los hogares beneficiarios de la TMC en los municipios objetivo, al menos de 1000 de hogares formularon el plan de actividades para mejorar la calidad de vida y elevar el nivel de subsistencia. <b>4.</b> Lineamientos para las instituciones relacionadas que promuevan el mejoramiento de la calidad de vida y la elevación del nivel de subsistencia de los hogares beneficiarios de la TMC.
<b>4.</b> Los lineamientos se elaboran recopilando los Resultados 1 al 3, para promover el mejoramiento de la calidad de vida y la elevación del nivel de subsistencia de los hogares beneficiarios de la TMC.	<b>Gobierno japonés</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>Expertos <ul style="list-style-type: none"> <li>Jefe Asesor/Mejoramiento de Vida y elevación del nivel de subsistencia</li> <li>Administración de la economía del hogar.</li> <li>Acceso y uso de los servicios financieros.</li> <li>Coordinación de</li> </ul> </li> </ul>	<b>Gobierno hondureño</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>Asignación del personal contraparte.</li> <li>Presupuesto para capacitación.</li> <li>Equipamiento y materiales necesarios para las actividades del Proyecto.</li> <li>Oficinas del Proyecto con los equipos</li> </ul>
<b>Actividades</b> <b>1-1.</b> Realizar un estudio participativo para revisar el estado actual de la administración de la economía del hogar de los hogares beneficiarios de los sitios piloto. <b>1-2.</b> Planear y dar la capacitación sobre la administración de la economía del hogar a los hogares beneficiarios de los sitios piloto. <b>1-3.</b> Monitorear y evaluar la situación de la administración de la economía del hogar de los hogares beneficiarios de los sitios piloto, para revisar el contenido de la capacitación. <b>1-4.</b> Brindar capacitación a los hogares beneficiarios de los municipios objetivo para mejorar la capacidad de la administración de la economía del hogar. <b>1-5.</b> Apoyar a los hogares beneficiarios de los municipios objetivo en sus prácticas de la administración de la economía del hogar.	<b>Gobierno japonés</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>Expertos <ul style="list-style-type: none"> <li>Jefe Asesor/Mejoramiento de Vida y elevación del nivel de subsistencia</li> <li>Administración de la economía del hogar.</li> <li>Acceso y uso de los servicios financieros.</li> <li>Coordinación de</li> </ul> </li> </ul>	<b>Gobierno hondureño</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>Se asegura constantemente el personal de SSIS y el presupuesto para realizar el mejoramiento de la calidad de vida y la elevación del nivel de subsistencia de los hogares beneficiarios de la TMC.</li> <li>Se mantiene la presencia y facilidad de las instituciones financieras en los municipios objetivo.</li> <li>No se presentan cambios en las mancomunidades a</li> </ul>



<p><b>2-1.</b> Realizar un estudio participativo sobre el uso de los servicios financieros y la alfabetización financiera de los hogares beneficiarios de los sitios piloto.</p> <p><b>2-2.</b> Planear y realizar la educación financiera para los hogares beneficiarios de los sitios piloto.</p> <p><b>2-3.</b> Apoyar a las instituciones financieras y otros de los sitios piloto para que adquieran metodologías financieras (micro financiamiento) de estándar internacional.</p> <p><b>2-4.</b> Compartir con las instituciones financieras y otros de los sitios piloto las necesidades de los servicios financieros de los hogares beneficiarios y apoyarlas para desarrollar los productos financieros dirigidos a los hogares beneficiarios, así como para promover su uso.</p> <p><b>2-5.</b> Brindar capacitación para el mejoramiento del acceso y el uso de los servicios financieros de los hogares beneficiarios de los municipios objetivo.</p> <p><b>2-6.</b> Apoyar las acciones dirigidas al mejoramiento del acceso y el uso de los servicios financieros de los hogares beneficiarios de los municipios objetivo.</p>	<p>los trabajos</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ Coordinador/ Planeación de la capacitación.</li> <li>▪ Capacitación en Japón y/o en un tercer país.</li> <li>▪ Provisión de equipos.</li> <li>▪ Costo de actividades del Proyecto (presupuesto para capacitación y contratar ONGs).</li> </ul>	<p>las que pertenecen los municipios objetivo.</p> <p><b>Precondición:</b> Las mancomunidades y las municipalidades de la región objetivo cooperaran con el Proyecto.</p>
<p><b>3-1.</b> Realizar un estudio participativo sobre la calidad de vida y el nivel de subsistencia de los hogares beneficiarios de los sitios piloto.</p> <p><b>3-2.</b> Determinar las instituciones que puedan ofrecer el apoyo necesario para mejorar la calidad de vida y elevar el nivel de subsistencia. Luego realizar la coordinación para obtener su cooperación.</p> <p><b>3-3.</b> Dar la capacitación para el mejoramiento de la calidad de vida y la elevación del nivel de subsistencia a los hogares beneficiarios de los sitios piloto.</p> <p><b>3-4.</b> Apoyar a los hogares beneficiarios de los sitios piloto en sus prácticas de las actividades para el mejoramiento de la calidad de vida y la elevación del nivel de subsistencia.</p> <p><b>3-5.</b> Monitorear y evaluar las actividades del mejoramiento de la calidad de vida y la elevación del nivel de subsistencia de los hogares beneficiarios de los sitios piloto, revisar el contenido de la</p>		

<p>capacitación y dar nuevamente la capacitación, según sea necesario.</p> <p><b>3-6.</b> Apoyar la ejecución de capacitación para el mejoramiento de la calidad de vida y la elevación del nivel de subsistencia y poner en práctica las actividades que conduzcan el mejoramiento de la calidad de vida y la elevación del nivel de subsistencia de los hogares beneficiarios en los municipios objetivo.</p> <p><b>4-1.</b> Elaborar el plan general de la capacitación de tal forma que los Resultados de 1 a 3 se enlacen entre sí y que se genere un incremento en la efectividad.</p> <p><b>4-2.</b> Elaborar los lineamientos (propuesta borrador) resumiendo los resultados de 1 a 3 para promover el mejoramiento de la calidad de vida y la elevación del nivel de subsistencia de los hogares beneficiarios de la TMC.</p> <p><b>4-3.</b> Compartir los lineamientos (propuesta borrador) con las instituciones interesadas, incluyendo las municipalidades no objetivo, para recoger sus opiniones.</p> <p><b>4-4.</b> Elaborar la versión final de los lineamientos, tomando en cuenta las opiniones de las instituciones interesadas, incluyendo las de las municipalidades no objetivo.</p>	
---	--

\*1: Aunque es difícil determinar la correlación de causa-efecto generada por el Proyecto, se realizará la medición de cuánto ha aumentado el ingreso de los hogares beneficiarios de la TMC de los sitios piloto, en dos momentos distintos, seis meses después del inicio y un año antes del término del Proyecto.

\*2: El estudio participativo tiene el objetivo de transmitir conocimientos y experiencia acumuladas de los habitantes, al mismo tiempo extraer conocimientos y opiniones de los habitantes comunitarios que se obtendrán a través del estudio.

\*3: Para los estudios en los sitios piloto, se aprovecharán también los datos existentes.

\*4: El personal relacionado con el Proyecto incluye a los coordinadores de SSIS, los Gestores Sociales de SSIS, el Instituto de Formación Profesional (INPOP), las mancomunidades y los miembros de las ejecutoras de capacitación o participantes receptor de la misma.

\*5: "Las instituciones financieras y otros" se refiere a las instituciones financieras, las asociaciones de las instituciones financieras, Comisión Nacional de Bancos y Seguros entre otros. Asimismo, las instituciones financieras se refieren a aquellas instituciones que ofrecen el servicio financiero formal, tales como instituciones de micro financiamiento, bancos comerciales, cooperativas de ahorro y crédito, etc.

\*6: Para diversos cursos de capacitación, se aprovecharán el contenido de capacitación ya existente y los ex becarios de la JICA. De igual forma, para las técnicas relacionadas con la capacitación vocacional, se aprovecharán las instituciones relacionadas.

\*7: Para la capacitación en las áreas fuera de los sitios piloto en los municipios objetivo a que se refieren los Resultados, 1-3, se realizará con la iniciativa del personal del lado honorario relacionado con el Proyecto.

\*8: En los lineamientos, se describirán las metodologías de la administración de la economía del hogar de los hogares beneficiarios de la TMC, del acceso y el uso de los servicios financieros, como para el mejoramiento de la calidad de vida y la elevación del nivel de subsistencia, así como las instituciones relacionadas, el papel que juega cada una de ellas y la información para formular presupuestos, prestando atención a que estos lineamientos puedan ser aplicados en los demás municipios no objetivo.

\*9: El proyecto asegurará que como mínimo el 50% de los participantes en las capacitaciones para familias beneficiarias de la TMC, será del género femenino, así como incorporar la perspectiva de género en todas las etapas de planificación, implementación, monitoreo y evaluación (ejemplo: participación de la mujer en la toma de decisiones de los procesos, recopilar información tanto de hombres como mujeres en el monitoreo y evaluación).

(8) 第5回 JCC 会合の英文議事録

MEETING NOTE

ON

PROJECT ON LIFE IMPROVEMENT AND LIVELIHOOD ENHANCEMENT OF CONDITIONAL  
CASH TRANSFER BENEFICIARIES THROUGH FINANCIAL INCLUSION

In the Joint Coordination Committee (JCC) meeting held on December 5, 2019, Honduran and Japanese sides had a series of discussions on the Project on life improvement and livelihood enhancement of conditional cash transfer (CCT) beneficiaries through financial inclusion (hereinafter referred to as "the Project"), which are implemented by Vice Ministry of Social Integration (SSIS) and Japan International Cooperation Agency (JICA).

The main points discussed in the meeting are noted below.

**1. Achievements of the Project**

- A Model named as "*ACTIVO* Model" has been developed by the Project as one of the important components of the national strategy for the graduation from CCT program.
- The Model has already been applied in approximately 7,000 households, including more than 2,000 households promoted by SSIS's social agents ("*gestor social*" in Spanish Language) in the departments of Francisco Morazán, Comayagua, Valle, Santa Bárbara, Intibucá, Copán, Ocotepeque, Cortés, La Paz and Lempira.
- According to the result of the end line study carried out by the Project between May and August 2019, the application of the Model has generated a positive impact on the financial and economic management and livelihood improvement of the CCT beneficiaries.
- Guidebook on the Model has been approved as guidelines to be applied in SSIS to promote life improvement and livelihood enhancement of CCT beneficiary households.

**2. Activities to be carried out even after the end of the Project period**

- It is important that SSIS apply the Model in a sustainable way towards reducing extreme poverty, as a part of the national strategy for the graduation from CCT program, to make positive synergy effects with the other social integration programs through promoting the participants' financial and economic activities.
- It is expected that the Model be applied by approximately 3,000 more CCT beneficiary households in the year of 2020.
- It is important to promote and strengthen social and financial inclusion, taking advantage of the positive results generated from the Project.

Tegucigalpa, December 5, 2019



**Suguru Nakane**  
Chief Representative  
Japan International Cooperation Agency  
(JICA) in Honduras



**Lissi Marcela Matute Cano**  
Vice Minister  
Vice Ministry of Social Integration (SSIS)

(9) 第5回 JCC 会合の西文議事録

ACTA DE LA REUNIÓN

SOBRE

EL PROYECTO PARA EL MEJORAMIENTO DE LA CALIDAD DE VIDA Y LA ELEVACION DEL NIVEL DE SUBSISTENCIA DE LOS HOGARES BENEFICIARIOS DE TRANSFERENCIAS MONETARIAS CONDICIONADAS A TRAVES DE SU INCLUSION FINANCIERA

En la reunión del Comité Conjunto de Coordinación realizada el 5 de diciembre de 2019, la parte hondureña y la parte japonesa sostuvieron una serie de discusiones sobre el proyecto para el mejoramiento de la calidad de vida y la evaluación del nivel de subsistencia de los hogares beneficiarios de transferencias monetarias condicionadas a través de su inclusión financiera (en adelante referido como "el Proyecto ACTIVO"), que se está implementando por el Viceministerio de Integración Social (SSIS) y la Agencia de Cooperación Internacional de Japón (JICA).

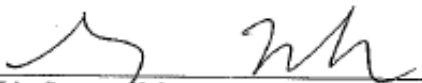
Las discusiones desarrolladas incluyen:

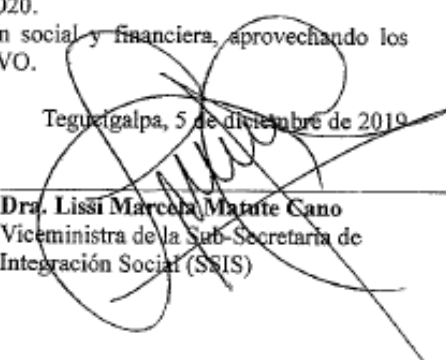
1. Logros del Proyecto ACTIVO

- El "Modelo ACTIVO" se desarrolló del Proyecto como uno de los componentes importantes de la estrategia nacional de la salida de Bono Vida Mejor.
- Dicho Modelo ya se ha aplicado en aproximadamente 7 mil hogares, incluyendo aproximadamente más de 2 mil hogares aplicados por gestores sociales de SSIS en los departamentos de Francisco Morazán, Comayagua, Valle, Santa Bárbara, Intibucá, Copán, Ocotepeque, Cortés, La Paz y Lempira.
- De acuerdo al resultado del estudio línea final realizado del Proyecto entre los meses mayo y agosto 2019, la aplicación del Modelo ha generado el impacto positivo en la gestión financiera y económica y la mejora de la subsistencia de los hogares participantes del Bono Vida Mejor.
- La Guía del Modelo ACTIVO se ha aprobado como lineamientos a aplicar dentro de la SSIS para promover el mejoramiento de la calidad de vida y la elevación del nivel de subsistencia de los hogares participantes del Bono Vida Mejor.

2. Actividades a desarrollar después de finalización del periodo del Proyecto

- Es importante que SSIS aplique el Modelo ACTIVO de manera sostenible para reducir la extrema pobreza, como un componente de la estrategia nacional de la salida de Bono Vida Mejor, para generar la sinergia positiva con los otros programas de la integración social, promoviendo las actividades financieras y económicas de los hogares participantes.
- Se espera que el Modelo ACTIVO sea aplicado por aproximadamente 3,000 hogares participantes de Bono Vida Mejor más en el año 2020.
- Es importante promover y fortalecer la inclusión social y financiera, aprovechando los resultados positivos generados del Proyecto ACTIVO.

  
Lic. Suguru Nakane  
Director General  
Agencia de Cooperación Internacional del  
Japón (JICA)  
Oficina en Honduras

Tegucigalpa, 5 de diciembre de 2019  
  
Dra. Lissi Marcela Matute Cano  
Viceministra de la Sub-Secretaría de  
Integración Social (SSIS)

### 付属資料 3. 第三国研修参加者リスト

#### (1) 第1回研修参加者リスト

社会統合副省 (SSIS)	Carlos Enrique Fiallos 脆弱層支援部長 Jorge Leonel Alvarez 脆弱層支援部職員 Carlos David Lezama 脆弱層支援部職員
国家銀行保険委員会 (CNBS)	Tania Marlene López Medina 金融教育調整官 Alejandra María Argueta Hernández 金融基準担当官 Josefa Maribel Silva Mendez 金融調査担当官
国立職業訓練庁 (INFOP)	Maricela Beatriz Ordoñez Mendoza 企業開発部長
バンルラル	Miriam Yohana Galo Galo 渉外担当 Jemmy Mercedes Medina Pavon 消費者担当
ホンジュラス信用組合連合会 (FACACH)	Cesar Alberto Norales Bent 融資事業アナリスト
ピナレホ信用組合	Magda Argentina Portillo Mata アサクアルパ支店長 Nelson Noe Rodriguez Valle サン・マルコス支店長
サグラダ・ファミリア信用組合	Marthalina Estrada Duron 中央・南部地域支配人
ペスピレンセ信用組合	María Isabel Mejía Martínez 総支配人補佐
ホンジュラス小規模金融実施 機関連盟 (REDMICROH)	Carolin Quan 金融教育担当
ホンジュラス友愛財団 (HDH)	Alex Giovany Villeda Martínez 副支配人
家庭・環境金融会社 (FAMA)	Kelin Johana Velásquez Caseo 総支配人室の消費者担当
ホンジュラス自立的地域開発 財団 (PIRAH)	José René Banegas Vides 総支配人

#### (2) 第2回研修参加者リスト

社会統合副省 (SSIS)	José Javier Ramírez Salguero 脆弱層支援部職員
国家銀行保険委員 (CNBS)	Rodolfo Álvarez Mejía 国家金融包摂戦略 (ENIF) 担当官
国家協同組合監督委員会 (CONSUCCOOP)	José Jorge Peña Fonseca 信用組合監督官
バンルラル	Mae Lindell Osorio Ebanks 北西部地域支配人
オキシデンテ銀行	Esmelin Sagastume Teruel ラス・ベガス支店長
ホンジュラス信用組合連合会 (FACACH)	Daniel Antonio Salgado Sanabria 財務部長
サグラダ・ファミリア信用組 合	María Dolores Madrid Paz 北西部地域支配人
エルガ信用組合	Ricardo Efraín Sanabria Nuñez 総支配人
サンマルケーニャ信用組合	Dania Shadia Soriano Flores 総支配人
ヨロ信用組合	José Santiago Lozano Urbina 総支配人
ユスカラン信用組合	Hosman Florencio Ardón Moncada 総支配人
クレディソル	Raúl Ernesto Alfaro Iglesias 総支配人

(3) 第3回研修参加者リスト

社会統合副省 (SSIS)	Mirta Lizeth Maradiaga 副大臣補佐官 Paola Isel Arriaza Paz 副大臣補佐官
国家銀行保険委員会 (CNBS)	Mey Ling Pon 利用者保護部長
国家協同組合監督委員会 (CONSUCOOP)	Any Mariana Rodriguez 職員
オクシデンテ銀行	Ludvin Francisco Rivas Corrales 中部地域支店監督
ポプラー銀行	Walter Rolando Chávez 財務部長
フィンソル	Karen Ivette Reyes マーケティング部長
クレディソル	Reynaldo Bautista Argueta 金融業務部長
ホンジュラス開発機構 (IDH)	Victor Manuel Fúnes ビジネス・マーケティング部長
ホンジュラス信用組合連合会 (FACACH)	Fredy Moradel 信用組合支援部職員
エルガ信用組合	Jimmy Romero ビジネス部長
サン・インドロ信用組合	Adolfo Armijo Rodriguez 理事長
カセンプ信用組合	Esther Maria Doblado Fernandez 中小零細企業部次長
カンパメント信用組合	Armando Alexi Duarte 理事長

(4) 第4回研修参加者リスト

社会統合副省 (SSIS)	Angie Margarita Villanueva 副大臣補佐官 Daisy Marilu Perez 西部地域調整官 Fausto Lazo 条件付き給付金制度担当官
ホンジュラス中央銀 (BCH)	Dunía Paola Escoto Altamirano 金融制度担当官
国家銀行保険委員会 (CNBS)	Ligia Marcela Herrera Salgado 金融教育部長
国家信用組合監督委員会 (CONSUCOOP)	Nancy Barahona 信用組合監督担当官
銀行間取引仲介センター (CEPROBAN)	Angel Castillo 金融機関間システム副部長
ホンジュラス銀行協会 (AHIBA)	Ángel Javier Castillo Escoto システム副部長
オクシデンテ銀行	Pamela Ivonne Laínez Barrientos 顧客対応部長
ホンジュラス信用組合連合会 (FACACH)	Edgar Hernandez 総裁
エルガ信用組合	Nelly Rodriguez リスク管理部長
サグラダ・ファミリア信用組 合	Gabriela Nuñez 電子取引部長



付属資料 4. 本プロジェクト関連の報道記事写し



プロジェクト立ち上げイベント  
に関する記事  
(2015年5月、La Tribuna 紙)



プロジェクト実施セミナー  
に関する記事  
(2015年10月、La Prensa 紙)



プロジェクト進捗に関わる  
記事  
(2017年9月、El Heraldo 紙)



プロジェクト進捗に関わる  
記事  
(2017年9月、La Tribuna 紙)



プロジェクト開催の  
第三国研修に関わる記事  
(2017年11月、  
La Tribuna 紙)



プロジェクト進捗に関わる記事  
(2019年12月、La Tribuna 紙)

付属資料 5. 最貧困層向け ACTIVO モデル研修教材（西文）  
(なお、この教材の中に、家計簿フォームの概要紹介もなされている。)



Proyecto para el Mejoramiento de la Calidad de Vida y la Elevación del Nivel de Subsistencia de los Hogares Beneficiarios de Transferencias Monetarias Condicionadas a través de su Inclusión Financiera

# PROYECTO **ACTIVO**

Ahorro, Cuenta financiera, Trabajo, Ingreso para la Vida Optimizada

**MATERIAL EDUCATIVO INTEGRAL  
EMPRENDIMIENTO Y MANEJO FINANCIERO  
PARA LA VIDA MEJOR**

## Introducción: ¡Ahorrarnos para nuestro futuro!

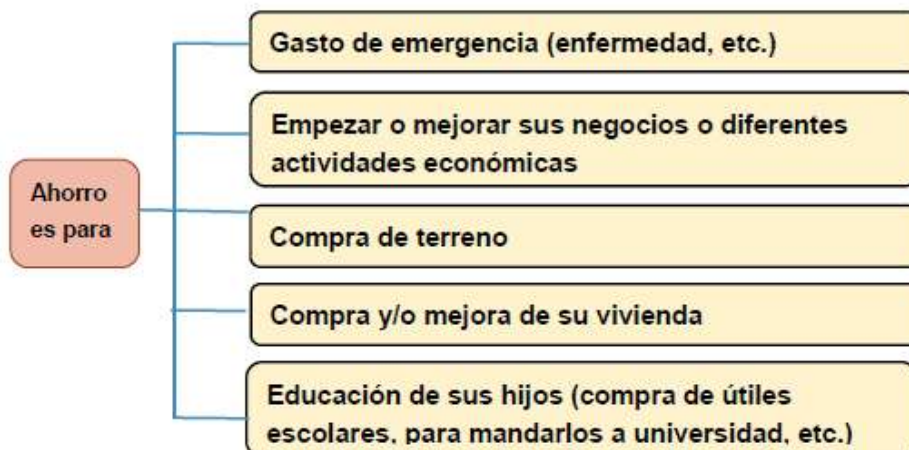
### (1) ¿Qué podemos lograr por el ahorro?

Ejemplos: Con el ahorro, me gustaría

- ✓ Crear / ampliar la huerta familiar
- ✓ Iniciar negocio de cría de cerdos
- ✓ empezar un negocio de vender baleada para escuelas.
- ✓ estudiar computación
- ✓ comprar la comida, aun cuando no tengo el ingreso
- ✓ tener Lps. 1,000.00 siempre para cuando algún miembro de mi familia se enferme.
- ✓ comprar zapatos / calzado /ropa a mis hijos cuando es necesario
- ✓ mandar mi hija al colegio



Ahorro es lo que se guarda para su futuro.



## (2) ¿En qué forma podemos ahorrar?

Hay ventajas y desventajas en cada forma de ahorrar.  
¿En qué forma quiero ahorrar? ¿Por qué?

<p>Ahorro en productos del campo</p> 	<p>Ahorro monetario en la casa</p> 	<p>Ahorro monetario en la cuenta financiera</p>  <ul style="list-style-type: none"><li>• Realizar depósitos o retiros en cualquier momento</li><li>• Aumentar el saldo con el interés</li></ul>
--	--	--

## (3) ¡Elaboramos la Meta del Ahorro!

Objetivo	
Cantidad meta	
¿Hasta cuándo?	

## Módulo 1: ¡Mejoramos el manejo de la economía de hogar!

### (1) ¿Cómo podemos aumentar el ahorro?

- **Aumentar Ingresos**
  - ✓ Empezar nuevos negocios o hacer sus negocios más rentables (venta de tortillas, siembra de hortalizas para vender, etc.).
  - ✓ Obtener más trabajo o mejor empleo.
- **Reducir los gastos**
  - ✓ Consumir menos en artículos no esenciales (consumo menos importantes y derroches)
  - ✓ Economizar el uso de recursos (agua, electricidad, sobrante de comida, etc.)

### (2) ¡Conocemos la estacionalidad del flujo de caja (dinero)!

Meses en que ganamos mucho 	
Meses en que no tenemos ingresos o ganamos menos 	
Meses en que gastamos mucho 	

### (3) ¡Registramos gastos e ingresos del hogar!

Es importante registrar gastos e ingresos del hogar, para:

- Clasificar gastos esenciales y los demás,
- Analizar cómo reducir los gastos no esenciales, y
- Analizar si el ingreso es suficiente para mantener los gastos necesarios
- Analizar cuánto se puede ahorrar mensualmente o semanalmente

#### **Formato del registro de gastos e ingresos mensuales**

(Los lectores pueden usar el formato anexo de este material.)

Ingresos			Gastos		
Fecha	Detalle	Monto	Fecha	Detalle	Monto







#### **Ejemplo del análisis de los gastos y los ingresos mensuales**

Ingresos		Gastos	
Empleo	5,000	Gastos obligatorios	
Negocio	2,000	Comidas	3,500
Venta de productos agrarios	2,000	Educación	1,200
		Salud	500
		Electricidad y agua	800
		Insumos productivos y comerciales	1,200
		Gastos no obligatorios	800
Ingresos Total	9,000	Gastos Total	8,500
Balance (Montos ahorrados)			500



## Módulo 2: ¡Usamos servicios financieros!

### (1) ¡Aprendemos las características generales de los productos financieros!

Servicios Financieros	Características generales	Ventajas	Desventajas
<b>AHORROS</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Se lleva control con una libreta de ahorro.</li> <li>● Se puede depositar y retirar.</li> <li>● Hay cierta variedad de productos financieros, tales como: cuenta de ahorro, depósitos a plazo, ahorro programado, etc.</li> <li>● La aportación para la cooperativa es diferente de ahorros</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Se puede obtener interés.</li> <li>● Los Ahorros depositados en la cuenta no es posible que sean robados por ladrones.</li> <li>● Ahorros en la cuenta podrán contribuir a reducir los gastos que no son necesarios.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Se cobran las comisiones en ciertas ocasiones (comisión por inactividad, comisión por bajo promedio, etc.)</li> </ul>
<b>CREDITOS</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Se presta dinero y se debe devolver la cuota en un plazo definido</li> <li>● Hay cierta variedad de productos financieros tales como microcrédito individual, crédito para vivienda, banca comunal, etc.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Se puede aprovechar la oportunidad de comprar o salir adelante en una emergencia.</li> <li>● El interés de las entidades financieras es más bajas que la del servicio informal.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Se debe cargar del pago del interés.</li> <li>● Hay riesgo en endeudamiento acumulado</li> </ul>
<b>SEGUROS</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Hay cierta variedad de seguros: salud, de vida, de accidentes, de agricultura, etc.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Se puede recuperar la pérdida económica en caso de emergencia.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● En muchos casos, no se recuperan los costos de seguros, cuando no ocurre la emergencia.</li> </ul>
<b>Banca Móvil</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Se puede hacer la remesa, los pagos, y otros sin salir de la casa.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Se puede ahorrar el tiempo y/o transporte, y no riesgarse por salir afuera con efectivo</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Se requiere pago de comisión.</li> <li>● En ocasiones, no se tiene la cantidad que se necesita</li> </ul>
<b>Agentes Corresponsales No Bancarios</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Se puede depositar y retirar dinero y hacer los pagos de servicios públicos en su comunidad</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Se puede hacer transacción en su comunidad</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● En ocasiones, no se tiene la cantidad que se necesita</li> </ul>

## (2) ¡Conocemos más el ahorro en la cuenta!

### (a) Libreta de ahorro:

Es el documento extendido por la Entidad Financiera en el momento de aperturar una cuenta, donde se le asigna un número y sirve para saber el valor del dinero que la persona tiene ahorrada, y en la mayoría de casos, la libreta de ahorro se forma de los siguientes conceptos:

Fecha	Referencia	Depósitos	Retiros	Saldos
03.07.2016	ATM	1,000		8,231
07.07.2016	Interés	56		8,287
21.07.2016	ATM		500	7,787
03.08.2016	Ventanilla	800		8,587

### (b) Depósitos:

Es la cantidad de dinero que se guarda o ahorra en la Institución, y de esta manera se aumenta la cuenta

### (c) Retiros:

Es cierta cantidad de dinero donde el propietario de la cuenta decide usar el mismo, ya sea consumo, gastos eventuales etc.

### (d) Tasa de Interés (recibida):

Es el valor pagado en el tiempo por nuestro dinero ahorrado, por parte de la institución que lo maneja (Bancos, cooperativas, etc.)

### (e) Comisiones:

Son los cobros efectuados por el incumplimiento de algunas de las condiciones pactadas entre la persona que ahorra y la institución que los maneja, y que están contenidas en un contrato, por ejemplo: comisión por inactividad (cuando no realizamos ninguna operación en la cuenta), comisión por bajo promedio( se genera por presentar un saldo menor al pactado) a la apertura de la cuenta.

## Módulo 3: ¡Analizamos cómo aumentar el ingreso!

### 3.1 Parte Básica (Planificación)

#### (1) ¿Qué potencialidades tenemos para mejorar el ingreso?

Es importante saber las potencialidades en los siguientes tres (3) puntos, además de su interés y deseo.

- Capacidad: ¿Es fácil utilizar las técnicas que usted desarrolla?
- Clientes: ¿Hay mucha demanda en la zona donde usted vive?
- Competidores: ¿Hay muchos competidores en la zona donde usted vive?

		¿Es fácil para su hogar empezar?	¿Hay Muchos clientes en la zona?	¿Hay Pocos Competidores en la zona?	¿Usted quiere hacerlo?
Alimentos	Verduras				
	Frutas				
	Carne (res, cerdo, pollo, etc.)				
	Huevos				
	Lácteos (queso, leche, etc.)				
	Pan, torta				
	Pupusa, Tamal, Tortilla, etc.				
	Venta de comidas				
	Encurtidos				
	Postres y dulces				
	Vino				
	Hierbas (menta, orégano, etc.)				
	Miel				
	Mermelada y jugo				
Artículos	Ropa y uniforme				
	Bordado				
	Sombrero				
	Muebles de madera				
	Cerámicas				
	Flores (viveros)				
Servicios	Salón de belleza y barbería				
	Lavandería y plancha				
	Sastrería				
	Mecánico automotriz				
	Mecánico electrónico y eléctrico				
	Soldadura				
	Albañil y fontanero				
	Ferretería				
Pulpería					
Empleo	Oficios Domésticos				
	Empleo en la finca				
	Empleo en la empresa				
	Empleo en el sector público				
Otros ( )					

**(2) ¡Elaboramos el plan de mejora del ingreso del hogar!**

Es importante concretar su idea para mejorar el ingreso, a través de llenar el siguiente formato:

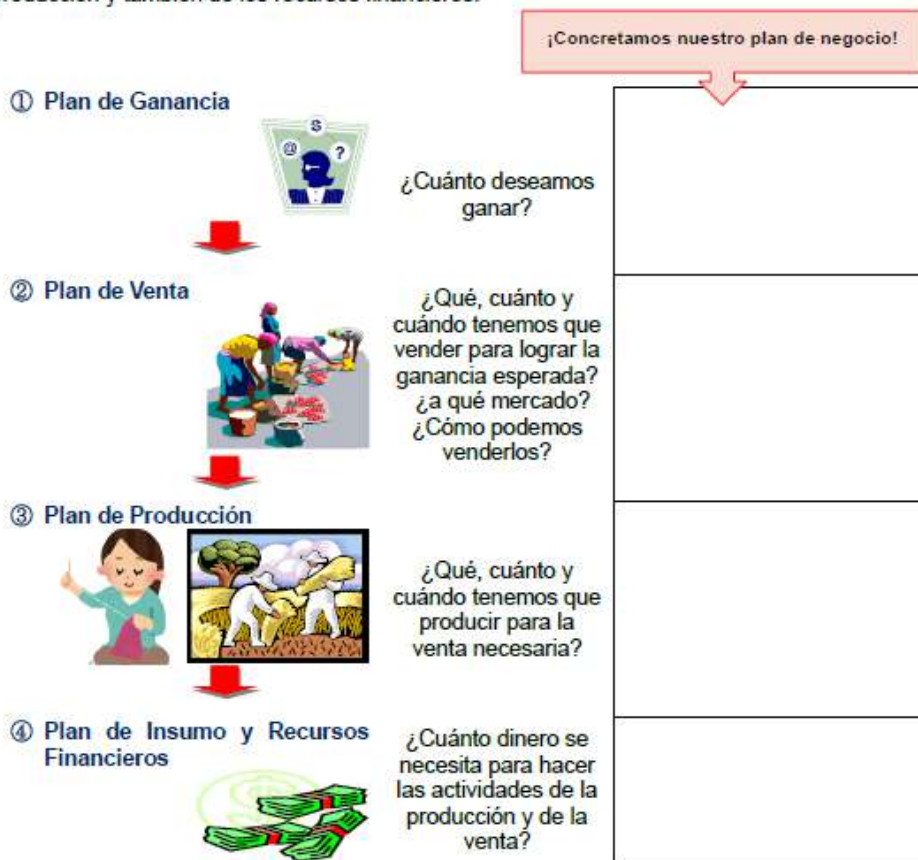
**Formato del Plan de Mejora del Ingreso (= Plan de Negocio)**

<b>Artículo</b>	<b>Ejemplo</b>	<b>su respuesta</b>
Idea de trabajo	Panadería	
Nuevo negocio o negocio que ya tiene	Nuevo negocio	
¿Quién se dedica?	Yo y mi marido	
Insumos y ¿cuánto costará para la apertura y/o mejora del negocio?	Fogón Materias primas Leña Lps. 5,000.00	
¿Cuáles son los clientes?	Los alumnos de la escuela	
¿Cuánto quiere ganar?	Lps. 3,000.00 al mes	
Conocimientos y técnicas	Hacer varios tipos de panes	
¿Ya tiene experiencia en eso?	Un poco	
Si hay necesidad, ¿hay alguna entidad que les enseña esa técnica?	Programa de la alcaldía	
<b>¿Cuánto va a ahorrar para iniciar su negocio?</b>		
Monto (Lempiras) de meta para ahorrar		
Monto mensual para ahorrar		
Hasta cuándo		

## 3.2 ¡Desarrollamos el negocio rentable!

### (1) ¡Aprendemos el plan de negocio!

En muchos casos, la persona quien tiene la visión empresarial planifica la operación de su negocio, de la siguiente manera. Si produciéramos más que el volumen que se puede vender, perderíamos el dinero. Por esta razón es muy importante planificar la venta, antes de la producción y también de los recursos financieros.



**(2) ¡Analizamos la aplicación de los productos financieros para desarrollar su negocio!**



Es importante decir que muchos programas de crédito atienden necesidades de capital de corto plazo. Por tanto, el solicitante deberá analizar su plan de reembolso de manera cuidadosa y prudente antes de solicitar el crédito, para poder reembolsar el monto solicitado dentro del plazo y condiciones de tiempo establecidas.

**Ejemplo de reembolso del crédito**

	Hoy	1 mes después	2 meses después	3 meses después	4 meses después	5 meses después
Crédito recibido	5,000					
Devolución Principal		1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
Pago del Interés		150	120	90	60	30
Pagos totales (cuota)		1,150	1,120	1,090	1,060	1,030



### 3.3 Mercadeo

Cuando usted desarrolla su propio negocio, es importante considerar de mercadeo, que son las actividades para saber demandas de sus clientes y aprovechar las oportunidades económicas. El flujo de mercadeo contiene los siguientes pasos.



#### 4"P"s del mercadeo

- Producto (o servicio)** --- ¿Qué es su producto o servicio a vender?
- Precio** --- ¿El precio es apropiado tanto para los clientes como para su negocio?
- Plaza** --- ¿Dónde lo vende? ¿Cómo se distribuye? ¿Cómo llega a su mercado?
- Promoción** --- ¿Cómo motiva a los clientes que compren sus productos?

## ¿Cómo se aplican 4“P”s?

Suponemos que usted vive en la zona rural y produce las hortalizas. Se presenta abajo un ejemplo de la aplicación de 4Ps para este caso.

Mercado Meta	→	Ejemplo: Consumidores de hortalizas en la zona urbana, población rural que tienen niños, etc.)
Tácticas sobre el Producto	→	Ofrecer los productos que puedan satisfacer las necesidades y demandas de los clientes (Eje: Ropa Usada, piñata, hortaliza)
Tácticas sobre el Precio	→	1) Vender al precio aceptable para los consumidores 2) Adaptarse a la capacidad económica de la zona 3) Producir y vender en épocas de precios altos
Tácticas sobre la Plaza	→	1) Vender los productos en diferentes mercados como ser feria organizada de la municipalidad, mercaditos, pulperías.
Tácticas sobre la Promoción	→	1) Presentar sus productos de manera atractiva para los consumidores 2) Colocar viñeta para los productos que digan "Fresca" "Orgánico", "Producto Local", etc. 3) Mantener buenas relaciones con diferentes tipos de clientes: mayorista,s distribuidores, consumidor final los microempresarios quienes desarrollan comedores y mercaditos. 4) Usar publicidad apropiada de acuerdo a los tipos de sus clientes (eje: volantes, anuncio, mantas publicitarias, persona a persona. Mensajitos)

La combinación apropiada de 4“P”s podrá mejorar su negocio.

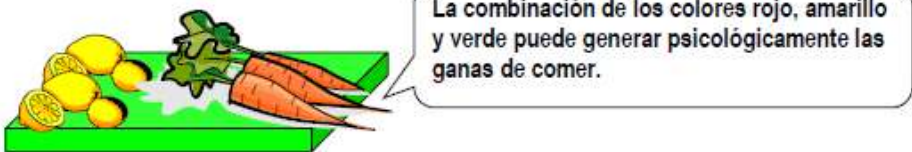
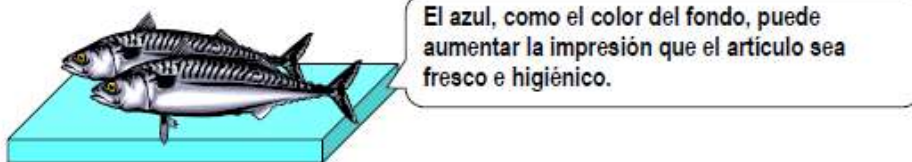


### 3.4 Técnicas de la presentación de artículos

Con frecuencia los consumidores vienen al mercado y a la feria sin haber decidido qué comprar, por tanto, los vendedores necesitan exponer sus artículos de manera que generen las ganas de comprar. ¿Cómo podemos lograrlo?

Es importante tener en cuenta los colores que pueden ser utilizados al exhibir los productos, ya que éstos influyen en la presentación de los mismos. Algunos ejemplos son ilustrados en los siguientes dibujos:

#### (i) Uso del color adecuado para la presentación de nuestros productos



Cuando queremos vender la leche fresca, ¿qué color del fondo será el más adecuado? Y, eso, ¿por qué? Y, en caso de la venta de la ropa, ¿con qué color se puede combinar?

Por otra parte, en algunos casos, la tarjeta de explicación puede apoyar la venta. Sin embargo, la aplicación inadecuada de la misma perjudica la presentación. Vamos a ver los siguientes dibujos. ¿La aplicación de la tarjeta en los siguientes casos es adecuada o inadecuada? En caso que considere las mismas como inadecuadas, ¿cómo se podrá mejorar la presentación?

**(ii) Uso de la tarjeta de la explicación del artículo**

Caso 1



Caso 2





## 3.5 Técnicas productivas

### 3.5.1 Técnicas de elaboración de pan y postre

Al conocer y elaborar las principales recetas básicas de repostería y panadería utilizando los ingredientes básicos.

#### Materiales para preparar:

Horno, tazas medidoras en gramos y mililitros, Batidora, Bandejas,

#### Receta: PAN BLANCO

##### Ingredientes:

1 libra harina, 1 huevo, 4 onzas manteca, 1 cucharada levadura, ½ taza agua , ½ litro leche  
¼ cucharada sal

##### Procedimiento:

**Paso 1:** Pesar y medir los ingredientes correctamente

**Paso 2:** Colocar la levadura en un poco de agua para que crezca y dejarla durante 1-2 horas. Agregar en un bol (paila) todos los ingredientes con el agua tibia, y se amasan bien y se deja reposar.

**Paso 3:** Cuando ya creció la levadura se agrega a lo que está mezclado y seguir amasando muy bien con las manos, hasta lograr que la masa este compacta, suave y brillante.

**Paso 4:** Dejar a descansar la masa por 20 minutos y proceder hacer los panecillos y se dejan descansar en la bandeja durante 10 minutos.

**Paso 5:** Precalentar el horno a 350°. Colocar el molde en el horno durante 45 minutos, y luego dejarlo enfriar

**Paso 6:** Sacar, enfriar y servir



Paso 2: Amasando la masa



Paso 3: Descansando la masa



Paso 6: Sacar, enfriar y servir

### **Receta: Quequitos de Vainilla**

#### **Ingredientes:**

1 lb de harina semifuerte , 4 onz de manteca, 8 onz de margarina, 1 lb de azúcar, 5 huevos, 1 cdita de sal, 1 cda ¼ cdita de vainilla, 1 ¼ tasa de líquido (puede ser agua, leche, jugo de naranja)

#### **Procedimiento:**

**Paso 1:** Pesar y medir los ingredientes correctamente

**Paso 2:** mezclar manteca, margarina, y azúcar, sal hasta que vuelva cremosa y cambiar de color

**Paso 3:** Agregar los huevos 1 a 1 (con intervalos de tres minutos) Luego agregar la vainilla

**Paso 4:** Agregar la harina y la soda previamente cernidas en forma envolvente, alternándola con el líquido, batir por 5 minutos más hasta lograr una mezcla uniforme

**Paso 5:** Agregar ralladura de limón

**Paso 6:** Formar con cubiletes o moldes engrasados y enharinados

**Paso 7:** hornear por 25 minutos a 360F

**Paso 8:** Sacar, enfriar y servir.



### **Receta: Pastel Tradicional**

#### **Ingredientes:**

Para la torta: 2 cajas de harina preparada del sabor que se desee, 1 libra de aceite vegetal, 1 litro de leche, 15 huevos, 2 libras azúcar, 2 limones, 1 cartón para pastel, 1 papel aluminio, 1 soda, Colores para pastel

#### **Procedimiento para la torta:**

**Paso 1:** Mezclar las dos cajas de harina preparada con media taza de aceite y 6 huevos con todo y yema, una cucharada de soda, 4 tazas de leche batir por unos 10 minutos hasta que mezcle bien.

**Paso 2:** Engrasar el molde y enharinar el molde.

**Paso 3:** Verter la mezcla de harina batida y hornear por 45 minutos a 350 grados.



### 3.5.2 Técnicas de huerta familiar

Al contar con huerta familiar, las actividades agropecuarias brindan la salud y economía familiar. Asimismo la huerta tiene propósitos de enseñanza y alimentación, para aprender a consumir los diferentes productos que se obtienen.

#### Paso 1: Preparación del espacio

Elegir una parte que reciba sol la mayor parte del día. Organizar espacios suficientes para desplazar,regar, arar la tierra, Mover la tierra para que se ablande y oxigene, con la ayuda de una pala, picota y rastrillo. Limpiar el lugar para que quede libre de piedras, malezas y pasto y quedar solo tierra suelta.

#### Paso 2: Preparación de semilleros

La mejor forma del semillero depende del clima y el suelo que del cultivo de referencia particular. Agregar tierra de hoja y composta a la huerta bien, la capa tiene que ser desde 2 a 10 cms.de alto. Si quieres mezclar abono con su semillero, los alimentos tendrán más nutrientes

#### Paso 3: Siembra de Semillas



Los semilleros ya estan listos y ahora tiene que sembrar. Para sembrar la semilla, no puede estar tan profunda y es necesario mantener una distancia suficiente entre cada semilla para que puedan crecer sin quitarle el agua y los nutrientes a otros cultivos.

Distancia de plantación					
Lechuga	20 cm	Tomate	30 cm	zanahoria	8 cm
Repollo	45 cm	Patatas	20 cm	Apio	30 cm
Cebolla	10 a 15 cm	Perejill	15 cm		

Lo más fácil son los tomates, perejil, espinaca, berenjenas cebollas, papas, pero puede sembrar lo que quieras.

#### **Paso 4: Controles de plagas y enfermedades**

Las plagas y enfermedades son factores que limitan el cultivo de su huerta. Por eso, tiene que controlarlos para evitar los daños en los cultivos.

Una forma de evitar las plagas es poner en huerta plantas aromáticas: salvia, romero, orégano, menta, ruda, albahaca, y flores como margaritas y copetes, en los bordes de los canteros. Además, puede dejar florecer algunas plantas (apio, brócoli, perejil, acelga) que atraen insectos benéficos para la huerta.

#### **Paso 5: Cosecha**

El producto final de todo el esfuerzo que ha hecho en su huerto.

Cultivos	Madurez y Recolección	Cultivos	Madurez y Recolección
Cebollina	15 a 20 días	Berenjena	130 a 140 días
Cebolla	120 a 150 días	Acelga	60 días
Ajo	30 a 40 días	Perejil	30 a 40 días
Remolacha	80 a 90 días	Pepinos	100 días
Zanahoria	90 a 110 días	Tomate	90 a 110 días

#### **\*\*REGISTROS BÁSICOS\*\***

Para organizar un control adecuado de las actividades que se realizan en su huerta y es importante registrar en un libro los siguientes datos:

Crecimiento de las plantas, Lluvia, Estado de senderos, Presencia de insectos benéficos y dañinos, Cantidad de frutos por planta, metro y parcela, Tipo de malezas, Días y horas trabajadas, Inversión

### 3.5.3 Técnicas de costura



En esta sección, se presentan las técnicas básicas de la confección.

Materiales y herramientas básicos para trazar patrón

Aguja de mano	Aguja de maquina	Dedal	Tijeras
Alfileres de cabeza	Rodo	Hilo	Regla metro
Lapiz	Cinta metrica	Plancha	Planchador

#### Trazar una falda recta

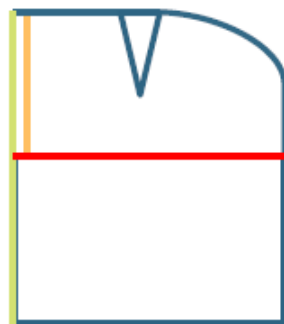
Las medidas necesarias :




Contorno de cintura: Es la medida que se toma alrededor de la cintura

Contorno de cadera: Es la medida que se toma alrededor de la parte más pronunciada de las caderas

Contorno de cadera chica: Es la medida que se toma en la parte menos pronunciada de las caderas

Largo de la falda: Este se toma partiendo de la cintura hacia abajo



-  Largo de la falda
-  Contorno de Cadera
-  Distancia de la cintura a la cadera

**Procedimiento:**

**Paso 1:** Se toma las medidas de contorno de cintura, contorno de cadera y largo de falda.

**Paso 2:** El margen del papel, de punto de partida para el trazo de la línea de cintura, se marca la cuarta parte del contorno de la cintura agregándole 3 cms. que corresponden a la pinza que se formará.

**Paso 3:** Se marca el centro para trazar la pinza, en la mitad de la cuarta parte del contorno de cintura y 1½ cms. a cada lado de éste. La medida del largo es de 8 a 11 cms. , si la persona es baja, en caso contrario el largo medirá entre 11 y 15 cms.

**Paso 4:** Se baja 1½ cms. yendo en disminución hacia el costado partiendo del centro de la cintura,

**Paso 5:** De la línea de la cintura se miden 20 cms. hacia abajo y se traza la línea de contorno de cadera.

**Paso 6:** Para el ancho se mide la cuarta parte de la misma.

**Paso 7:** Al largo de la falda se le agregarán 8 cms. para el ruedo. Para que la falda quede recta, se mide en el largo, la cuarta parte del contorno de cadera.

**Conocer parte de la máquina de coser:**

- 1) **Control de la puntada:** Una rueda que permite cambiar el tipo de puntada (recta, zigzag)
- 2) **Control de la longitud:** Un disco que avance más o menos la tela, regula el ancho de la puntada
- 3) **Control de la tensión:** Un disco en la parte superior de la máquina, controlando la tensión del hilo superior
- 4) **Dispositivo de bobinado de la canilla:** Esta devanadora enrolla el hilo en la bobina que se utiliza para el hilo inferior de la máquina de coser.
- 5) **Eje de carreta:** un lugar donde se coloca la bobina de hilo
- 6) **Palanca prensatelas:** esta planca sube y baja el pie del prensatelas
- 7) **Rueda de costura manual:** permitiendo a avanzar o retroceder la aguja manualmente
- 8) **Palanca de retroceso:** una palanca permitiendo hacer puntadas hacia atrás
- 9) **Pedal:** controlar la velocidad de cosido
- 10) **Portador de canilla inferior:** la bobina que proporciona el hilo de la parte inferior

### 3.5.4 Técnicas de cría de pollos

#### Construcciones:



Es necesario tener instalaciones que cumplan con los requisitos indispensables de economía, comodidad, resistencia y facilidad para el trabajo. Así mismo, ofrecer al pollo un ambiente adecuado, donde éste muestre todo el potencial genético. Se recomienda que el eje largo del galpón esté en dirección norte-sur en climas fríos y oriente-occidente en climas cálidos. El piso puede ser en cemento o tierra, siendo preferible en cemento ya que garantiza condiciones adecuadas de higiene.

#### Alistamiento:

1. Desinfectar todas las áreas del galpón.
2. Lavar con agua a presión todo el galpón, incluir detergentes durante el lavado. Lavar a fondo techo, cortinas y andenes
3. Flamear el galpón haciendo énfasis en mallas, ranuras y grietas.
4. Encalar pisos, muros y paredes; preferiblemente usar cal viva, así: en una caneca metálica con capacidad para 200 Litros; adicione 130 litros de agua.
5. Barrer a fondo el galpón y de ser necesario raspar las costras o empastes que hayan quedado del lote anterior.
6. Desinfectar tanques y tuberías
7. Implementar un estricto control de roedores
8. Sacar todo el equipo del galpón para lavarlo y desinfectarlo.
9. Retirar la pollinaza inmediatamente después de sacar los pollos.

### **Manejo del pollito en primera semana:**

Existe una estrecha relación entre el peso de la primera semana y el peso al sacrificio. Debemos recordar que la primera semana de vida es del 17 al 20% del tiempo total del ciclo y en esta semana el pollo debe ganar aproximadamente 4 veces su peso inicial en ninguna otra semana el crecimiento es tan alto.

Previo a la recepción de los pollitos

- Coloque el agua 3 o 4 horas antes de la llegada de los pollitos, para que cuando comiencen a beber no este demasiado fría.
- Coloque alimento en todos los comederos.
- Durante la primera semana la iluminación varia con la raza del pollito,
- Una vez lleguen los pollitos a la granja, ubíquelos en el círculo en el menor tiempo posible, la demora en la descarga ocasiona deshidratación.
- Estimule los pollitos para que estén activos, generando algún tipo de ruido moviéndolos permanentemente

### **Manejo del alimento:**

1. Mientras no estén armados los comederos o se estén utilizando las bandejas de cría o el comedero bebe es necesario suministrar alimento **“MUCHAS VECES POCO Y NO POCAS VECES MUCHO”**
2. Se debe eliminar la materia fecal y los restos de cama presentes en el comedero, raspar las bandejas o cocas diariamente con el fin de mantener el alimento fresco.
3. Nunca suministre alimento fresco encima del viejo, se debe juntar el alimento viejo en algunos comederos y en los demás comederos desocupados servir el alimento nuevo.
4. Usar el comedero bebe garantiza un consumo de concentrado sin contaminación de materia fecal y orina de los mismos pollitos.
5. Durante la primera semana de vida el suministro de alimento es a voluntad.



**ANEXO: Formato de registro de gastos e ingresos  
(para la contabilidad del hogar)**

**Registro de Ingresos**

Fecha	Detalle de Ingresos	Monto

**Meta de Ahorros**

- **Objetivo de ahorros (¿Para que usaremos?):**
- **Monto a ahorrar (monto meta):**
- **¿Cuándo logramos a ahorrar el monto meta?:**

Notas:



付属資料 6. ベースライン調査質問票（和訳版）

質問票（ベースライン調査の質問票）

基礎情報	
世帯の地域情報	
番号	/ / / / /
県	
市	
地区名	
地区名(より狭域の地区名)	
対象地域 1.市街地 2.村落部	
住居所在地の目印となるもの	

回答者氏名:
回答者身分証明書番号:
電話番号
● 固定電話:
● 携帯電話:

参照情報(同じ地区に住む隣人もしくは親類縁者氏名・電話番号)

親類縁者
氏名
電話番号: 固定( ) 携帯( )
隣人
氏名
電話番号: 固定( ) 携帯( )

調査日	/ / / / / / / / 年月日
監督者氏名と認識コード	/ / /
調査者氏名と認識コード	/ / /
実施結果(完了したかどうか)	/ / /
質問票適用開始時刻	/ / /
質問票適用終了時刻	/ / /

世帯構成に関わる質問

番号	世帯メンバー氏名	性別 1 女性、0 男性	年齢	世帯内 1. 家長 2. 配偶者 3. 子供 4. 親 5. 義親 6. 兄弟 7. 義兄弟 8. 甥姪 9. ほかに ( )	独身・結婚・ 離婚状態 1. 婚姻関係 にない同棲 2. 既婚 3. 別居 4. 離婚 5. 寡婦・夫 6. 独身	4歳以上の世帯メンバーの教育事情		現在(先 月時点) の状況 1. 学生 2. 退職者 3. 専業主 婦 4. 失業者 5. 事業実 施 6. 農業従 事 7. 雇用 者 8. その他 か	10歳以上の世帯メンバーの就業状況	現在(先 月時点) の状況 1. 学生 2. 退職者 3. 専業主 婦 4. 失業者 5. 事業実 施 6. 農業従 事 7. 雇用 者 8. その他 か	職業につ いていな い場合の 理由	雇用先 の業種	雇用の 種類	職種	最近12 か月間 で雇用 された 収入の 額	質問 13 職 種の 就業 月数
						最終学歴 区分	学年									
(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(10-2)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)
01																
02																
03																
04																
05																
06																
07																
08																
09																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
16																
17																

金融リテラシーと関連知識に関わる質問		
16	8 + 16 を暗算で計算できますか。	1. 正解 (24) 2. 不正解
17	24 + 38を暗算で計算できますか。	1. 正解 (62) 2. 不正解
18	35 - 16を暗算で計算できますか。	1. 正解 (19) 2. 不正解
19	年利4%の場合、100レンピーラの預金は、1年後にいくらになりますか。	1. 不正解 (104) 2. 不正解
20	金融機関の提供する金融商品を知っていますか。 (該当するものすべてをマークする)	A. 知らない B. 貯金 C. 融資 D. そのほか(送金、公共料金支払い等)
21	預金口座とは何か知っていますか。	0. 知らない。 1. 部分的に知っている(普通預金について、金利と引出しを知っている水準) 2. よく知っている(デビットカードの使い方を知り、さらに、様々な預金商品について知っている。)
22	預金口座開設のため、銀行または金融機関で必要とされる書類を知っていますか。	1. はい(身分証の写し、紹介状など) 2. いいえ
23	融資を申請するため、銀行または金融機関で必要とされる条件を知っていますか。	1. はい(担保、身分証の写し、公共料金領収書の写し、在勤証明書など) 2. いいえ
家計管理と金融アクセス		
24	最近12カ月において、収入や出費について、ノート等に記録したことがありますか。	1. はい 2. いいえ
25	どのような頻度で記録していますか。	1. ほとんどなし 2. 月1回 3. 半月に1回 4. 週1回 5. 毎日

26	(1)最近12か月間で発生した緊急事態は何ですか。	A. 自身の不慮の事故・病気 B. 家族の不慮の事故・病気 C. 家族・親族の死 D. 天候災害による農産物被害 E. 家計資産の盗難や災害による滅失 F. そのほか( )
	(2)それはいつ発生しましたか。	( )か月前
	(3)その際において、どのような金策をとりましたか？ (該当する項目すべてにチェック)	A. タンス預金の活用 B. 農村金庫の預金活用 C. フォーマル金融機関の預金活用 D. 家畜などの資産売却 E. 急いで仕事を見つける F. 家族・友人の無償の支援 G. 家族・友人からの借入れ H. 農村金庫からの借入れ I. フォーマル金融機関からの借入れ J. 保険 K. ほか
27	(1) 今後12か月間で、大きな支出が見込まれるイベント(結婚式など)がありますか。ある場合、それはなんですか。	1. はい (イベント: ) 2. いいえ
	(2) (はいの場合) 大きな支出の見込まれるイベントのある場合、どんな対策をとっていますか？ (該当する項目すべてにチェック)	A. 支出を切り詰める B. 農村金庫に口座を開設した C. フォーマル金融機関に口座を開設した D. タンス預金の額を増やす E. 農村金庫の預金を増やす F. フォーマル金融機関の預金を増やす G. タンス預金の額を維持する H. 農村金庫の預金を維持する I. フォーマル金融機関の預金を維持する J. 資産売却 K. 家族、友人、地区リーダーに支援を仰ぐ L. フォーマル金融機関に融資を申請する M. インフォーマルな融資を申請する N. 何もしない O. その他 ( )



28	<p>(1) 家庭内で、どのようにお金を管理していますか。共同で管理していますか？別々に管理していますか？</p> <p>(2) 家庭内で、お金を管理している人を全員マークして下さい。</p>	<p>1. 家長がお金を管理する。  2. 共同で管理する。  3. 収入源別に、該当者が管理する。  4. ほか( )</p> <p>A. 家長(男)                    G. 父親  B. 家長(女)                    H. 母親  C. 配偶者(男)                I. しゅうと  D. 配偶者(女)                J. しゅうとめ  E. 息子                         K. 男兄弟  F. 娘                             L. 女姉妹                                       M. その他( )</p>																																																																											
29	<p>年間の収入および平均的な月間支出、最近の週間支出を教えてください。</p>																																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="686 1176 726 1937">収入項目</th> <th data-bbox="686 817 726 1176">最近 12 か月間の収入</th> <th data-bbox="686 369 726 817">支出項目</th> <th data-bbox="686 369 726 817">平均的月間支出</th> <th data-bbox="686 369 726 817">最近 7 日間支出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="726 1176 766 1937">雇用収入(年間)</td> <td data-bbox="726 817 766 1176">Lps</td> <td data-bbox="726 369 766 817">食費</td> <td data-bbox="726 369 766 817">Lps</td> <td data-bbox="726 369 766 817">Lps</td> </tr> <tr> <td data-bbox="766 1176 805 1937">事業利益</td> <td data-bbox="766 817 805 1176">Lps</td> <td data-bbox="766 369 805 817">教育費</td> <td data-bbox="766 369 805 817">Lps</td> <td data-bbox="766 369 805 817">Lps</td> </tr> <tr> <td data-bbox="805 1176 845 1937">農業利益</td> <td data-bbox="805 817 845 1176">Lps</td> <td data-bbox="805 369 845 817">医療費</td> <td data-bbox="805 369 845 817">Lps</td> <td data-bbox="805 369 845 817">Lps</td> </tr> <tr> <td data-bbox="845 1176 885 1937">家畜収益</td> <td data-bbox="845 817 885 1176">Lps</td> <td data-bbox="845 369 885 817">電話代(固定)</td> <td data-bbox="845 369 885 817">Lps</td> <td data-bbox="845 369 885 817">Lps</td> </tr> <tr> <td data-bbox="885 1176 925 1937">CCT 給付金</td> <td data-bbox="885 817 925 1176">Lps</td> <td data-bbox="885 369 925 817">電話代(携帯)</td> <td data-bbox="885 369 925 817">Lps</td> <td data-bbox="885 369 925 817">Lps</td> </tr> <tr> <td data-bbox="925 1176 965 1937">補助金</td> <td data-bbox="925 817 965 1176">Lps</td> <td data-bbox="925 369 965 817">遊興費</td> <td data-bbox="925 369 965 817">Lps</td> <td data-bbox="925 369 965 817">Lps</td> </tr> <tr> <td data-bbox="965 1176 1005 1937">融資</td> <td data-bbox="965 817 1005 1176">Lps</td> <td data-bbox="965 369 1005 817">電気代</td> <td data-bbox="965 369 1005 817">Lps</td> <td data-bbox="965 369 1005 817">Lps</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1005 1176 1045 1937">年金</td> <td data-bbox="1005 817 1045 1176">Lps</td> <td data-bbox="1005 369 1045 817">水道代</td> <td data-bbox="1005 369 1045 817">Lps</td> <td data-bbox="1005 369 1045 817">Lps</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1045 1176 1085 1937">家族からの支援</td> <td data-bbox="1045 817 1085 1176">Lps</td> <td data-bbox="1045 369 1085 817">燃料費</td> <td data-bbox="1045 369 1085 817">Lps</td> <td data-bbox="1045 369 1085 817">Lps</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1085 1176 1125 1937">家族以外からの支援</td> <td data-bbox="1085 817 1125 1176">Lps</td> <td data-bbox="1085 369 1125 817">家賃</td> <td data-bbox="1085 369 1125 817">Lps</td> <td data-bbox="1085 369 1125 817">Lps</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1125 1176 1165 1937">外国送金受理</td> <td data-bbox="1125 817 1165 1176">Lps</td> <td data-bbox="1125 369 1165 817">家の資材</td> <td data-bbox="1125 369 1165 817">Lps</td> <td data-bbox="1125 369 1165 817">Lps</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1165 1176 1204 1937">内国送金受理</td> <td data-bbox="1165 817 1204 1176">Lps</td> <td data-bbox="1165 369 1204 817">貯蓄</td> <td data-bbox="1165 369 1204 817">Lps</td> <td data-bbox="1165 369 1204 817">Lps</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1204 1176 1236 1937">ほか( )</td> <td data-bbox="1204 817 1236 1176">Lps</td> <td data-bbox="1204 369 1236 817">融資返済</td> <td data-bbox="1204 369 1236 817">Lps</td> <td data-bbox="1204 369 1236 817">Lps</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td data-bbox="1236 369 1268 817">ケーブル TV 料金</td> <td data-bbox="1236 369 1268 817">Lps</td> <td data-bbox="1236 369 1268 817">Lps</td> </tr> </tbody> </table>			収入項目	最近 12 か月間の収入	支出項目	平均的月間支出	最近 7 日間支出	雇用収入(年間)	Lps	食費	Lps	Lps	事業利益	Lps	教育費	Lps	Lps	農業利益	Lps	医療費	Lps	Lps	家畜収益	Lps	電話代(固定)	Lps	Lps	CCT 給付金	Lps	電話代(携帯)	Lps	Lps	補助金	Lps	遊興費	Lps	Lps	融資	Lps	電気代	Lps	Lps	年金	Lps	水道代	Lps	Lps	家族からの支援	Lps	燃料費	Lps	Lps	家族以外からの支援	Lps	家賃	Lps	Lps	外国送金受理	Lps	家の資材	Lps	Lps	内国送金受理	Lps	貯蓄	Lps	Lps	ほか( )	Lps	融資返済	Lps	Lps			ケーブル TV 料金	Lps	Lps
収入項目	最近 12 か月間の収入	支出項目	平均的月間支出	最近 7 日間支出																																																																									
雇用収入(年間)	Lps	食費	Lps	Lps																																																																									
事業利益	Lps	教育費	Lps	Lps																																																																									
農業利益	Lps	医療費	Lps	Lps																																																																									
家畜収益	Lps	電話代(固定)	Lps	Lps																																																																									
CCT 給付金	Lps	電話代(携帯)	Lps	Lps																																																																									
補助金	Lps	遊興費	Lps	Lps																																																																									
融資	Lps	電気代	Lps	Lps																																																																									
年金	Lps	水道代	Lps	Lps																																																																									
家族からの支援	Lps	燃料費	Lps	Lps																																																																									
家族以外からの支援	Lps	家賃	Lps	Lps																																																																									
外国送金受理	Lps	家の資材	Lps	Lps																																																																									
内国送金受理	Lps	貯蓄	Lps	Lps																																																																									
ほか( )	Lps	融資返済	Lps	Lps																																																																									
		ケーブル TV 料金	Lps	Lps																																																																									

		Lps	ほか( )	Lps	Lps
30	今後3か月間の支出が予想できますか？		1. はい いくら? Lempiras ( ) 2. いいえ		
31	どの月が最も支出が多いですか？ それは何があるからですか？		月 _____ 支出をともなイベント( )		
32	金融機関の利用状況について教えて下さい				
	(1)口座を持っていますか 1. はい (1口座) 2. はい (複数口座) 3. いいえ	農村金庫	小規模金融実施機関	銀行	信用組合
	(2)口座を持っている金融機関名				
	(3)口座の名義人を教えて下さい。 A. 家長(男) B. 家長(女) C. 配偶者(男) D. 配偶者(女) E. 息子 F. 娘 G. 父 H. 母 I. しゅうと J. しゅうとめ K. 兄弟 J. 姉妹 M. ほか( )				
	(4)口座の種別を教えてください。 A. 普通預金・当座口座				
					インフォーマル金融

B. 定期預金口座 C. ほか( )									
(5) 口座残高はいくらですか？									
(6) 口座を開設したのは最近 12 カ月以内ですか？ 1. はい 2. いいえ 3. わからない									
(7) 各機関に対する信用度を教えてください。 1. 信用できない 2. どちらもない 3. 信用できる 4. とても信用できる									
(8) 金融機関への訪問頻度を教えてください。 1. 行かない 2. 週に一度 3. 隔週 4. 月に一度 5. 半年に一度 6. 年に一度									
(9) 過去 3 カ月以内に送金を実施しましたか。 1. はい 2. いいえ									
(10) 過去 3 カ月以内に口座を利用して公共料金を支払いましたか 1. はい 2. いいえ									

33	金融機関に口座を持っている理由は何ですか？ (すべての該当選択肢にマーク)	A.事業のための貯蓄 B.子息の教育のため C.浪費を避けるため D.緊急時の資金として E.病気への備えとして F.農業牧畜などの生産活動改善のため G.CCT受給金受口として H.ほか( )
34	世帯全体の貯蓄目標額はありますか？ ある場合いくらですか？ また、何ヶ月で貯める目標ですか？	1. はい 2. いいえ はいの場合:金額( )Lps、期間( )月
35	最近12か月間でいくら引き出しましたか？	( )Lps.
36	最近12か月間で何回預け入れを行いましたか？	( )回
37	平均預入額はいくらですか？	( )Lps.
38	口座を持っている場合、預入金利が、どの程度なのか知っていますか？ 複数口座を持つ場合、最も高い金利を回答下さい。	1. はい( )% 2. いいえ
39	貯金していない場合、フォーマル金融機関の貯金サービスを利用したいですか。 また、その理由は？	1. いいえ、お金の余裕がないから。 2. いいえ、金融機関が信用できないから。 3. いいえ、口座開設に手間がかかるから 4. いいえ(ほかの理由: ) 5. はい、事業資金を貯めたいから 6. はい、教育資金を貯めたいから 7. はい、無駄遣いを避けたいから 8. はい、緊急時に備えたいから 9. はい、医療資金を貯めたいから 10. はい、生産活動に使いたいから 11. はい、CCT給付金を貯めておきたいから 12. はい、今後購入するもの(具体的に: )のために貯めたいから 13. はい(ほかの事由: )
40	最近12か月間で融資の申請を行いましたか？	1. はい 2. いいえ
41	融資の申請していない場合、理由は何ですか？	A. 十分なお金がある。 B. 担保がない。

		C. 借金をすることに抵抗がある。 D. 担保を失うのが怖い E. 訪問しやすい金融機関がない F. どう申請したらよいのかわからない G. 金利が高い H. 申請しても、断られるから I. ほか( )
42	融資申請は認められましたか？	1. はい、申請通り認められました 2. はい、減額された上で認められました 3. いいえ
43	返済に難はありますか？ どのような難ですか？ (すべての該当選択肢にマーク)	A. いいえ、困難はありません B. 返済頻度が早すぎる C. 金利が高すぎる D. 1回あたり返済額が多すぎる E. 返済資金がない F. 返済するために別の借金をしなければならない G. ほか ( )
44	他の融資も得たいですか？ それは何故ですか？	1. はい (理由: ) 2. いいえ

45～47. 最近 12 か月間における融資の状態

	金融機関または貸出人は誰か？(インフォーマル含む)	借入総額	返済すべき元金	返済頻度	適用金利	世帯内の誰が申請したのか？	主な用途
	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)
(1)							
(2)							
(3)							





	<p>該当する選択肢全てをマークして下さい。</p>	<p>F. いいえ、それ以外の理由で借りたくないです。 (具体的に )</p> <p>G. はい、冠婚葬祭などの儀式用に借りたいです。</p> <p>H. はい、起業資金に借りたいです。</p> <p>I. はい、既存事業への追加投資に借りたいです。</p> <p>J. はい、既存事業の運転資金用に借りたいです。</p> <p>K. はい、農牧畜業への追加投資に借りたいです。</p> <p>L. はい、農牧畜業への消耗品購入のために借りたいです。</p> <p>M. はい、子息の教育用に借りたいです。</p> <p>N. はい、医療用に借りたいです。</p> <p>O. はい、食料購入のために借りたいです。</p> <p>P. はい、住居の購入や改良のために借りたいです。</p> <p>Q. はい、バイクを買うために借りたいです。</p> <p>R. はい、家電製品を買うために借りたいです。</p> <p>S. はい、それ以外の理由(具体的に )で借りたいです。</p>
--	----------------------------	---

51	<p>最寄金融機関までの交通手段は何ですか？</p>	<p>1. 自家用車またはバイク</p> <p>2. タクシー</p> <p>3. モトタクシー</p> <p>4. 路線バス</p> <p>5. ミニバス</p> <p>6. 徒歩</p> <p>7. ほか( )</p>
52	<p>最寄金融機関までの所要時間は？</p>	<p>( )時間( )分</p>
53	<p>最寄金融機関までの往復交通費は？</p>	<p>( _____ )</p> <p>( _____ )</p>
54	<p>Tigoマネーを知ってますか？</p>	<p>1. はい</p> <p>2. いいえ</p>
55	<p>最近12か月間でTigoマネーを使いましたか？</p>	<p>1. はい</p> <p>2. いいえ</p>
56	<p>Tigoマネーは、どのように使いましたか？</p>	<p>1. 送金</p> <p>2. 公共料金支払い</p> <p>3. ほか( )</p>

57	保険を申請・活用したことがありますか	<ol style="list-style-type: none"> <li>はい、保険に加入し、保険金を受け取ったことがあります。</li> <li>はい、保険に加入しています。</li> <li>申し込みましたが、却下されました。</li> <li>いいえ</li> </ol>
58	どのような保険ですか？ また、保険を掛けた機関名をお答えください	A = 生命保険 B = 医療保険 C = ほか( ) (保険機関名: )

### CCT給付

59	CCT給付金の受取り方法は？	<ol style="list-style-type: none"> <li>金融機関窓口で現金受取</li> <li>口座振込</li> <li>Tigo マネー</li> <li>ほか( )</li> </ol>				
60	銀行口座受取りの場合、直近の場合で、すぐに引き出しましたか？	<ol style="list-style-type: none"> <li>はい、全額引き出しました</li> <li>はい、一部引き出しました</li> <li>いいえ</li> </ol>				
(2)	最後に受け取ったとき、いくら引き出しましたか？	( )Lps.				
61	現金給付を受けた場合、口座に貯金していますか？	<ol style="list-style-type: none"> <li>毎回</li> <li>時々</li> <li>なし</li> <li>貯蓄口座なし</li> </ol>				
62	(1) 前回の受取額はいくらですか？ (2) 前々回の受取額はいくらですか？ (3) その前の回の受取額はいくらですか？	(1) _____ Lps. (2) _____ Lps. (3) _____ Lps.				
63	(1) 前回の受取時いくら貯金しましたか？ (2) 前々回は？ (3) その前の回は？	(1) _____ Lps. (2) _____ Lps. (3) _____ Lps.				
64	過去3回分の受給金額総額の用途を、費目ごとに、金額で教えてください。	<table border="1"> <tr> <td>食料</td> <td>Lps.</td> </tr> <tr> <td>教育</td> <td>Lps.</td> </tr> </table>	食料	Lps.	教育	Lps.
食料	Lps.					
教育	Lps.					

		医療	Lps.
		生産活動のための資機材購入	Lps.
		家賃	Lps.
		住宅改善	Lps.
		貯蓄	Lps.
		ほか ( )	Lps.

経済活動と資産生活		
65	土地にアクセスできていますか？	1. はい 2. いいえ
66	その場合の土地面積は？	( _____ )
67	そのうち、農牧業向けに使っている面積は？	( _____ )
68	いつから、土地アクセスがありますか？	( )年
69	(1) 土地の使用形態は？(所有、借地など)	1. 所有地 2. 所有地(購入代金支払中) 3. 無断使用地 4. 共有地 5. 借地 6. 借地(使用料無料) 7. 不明
	(2) 土地を所有・借用している場合、世帯内の誰の名義ですか？	A. 回答者 B. 父 C. 母 D. 配偶者(男) E. 配偶者(女) F. 兄弟 G. 姉妹 H. 息子

		I. 娘 J. しゅうと K. しゅうとめ I. ほか ( )	
70	アクセスしている土地を活用して、最近12か月間で農業に従事しましたか？	1. はい 2. いいえ	
71	最近12か月間において、基礎穀物の栽培をしましたか？	1. はい 2. いいえ	
72	最近12か月間において、基礎穀物以外の作物の栽培をしましたか？	1. はい 2. いいえ	
73	基礎穀物以外の栽培をしていない場合、その理由は？	A. 水不足 B. 知識不足 C. 資金不足 D. もうからないから E. 労働力不足 F. ほか: _____	
74	農業活動に関わる年間費用支出を教えてください。	種子	Lps.
		肥料	Lps.
		除草剤など	Lps.
		土地使用料	Lps.
		農業機械利用代金	Lps.
		農作業用家畜用飼料	Lps.
		ほか	Lps.

農業生産を行う世帯向けの質問

農産物	従事者	面積	最近12カ 月での収 穫有無	最近12 カ月で の収穫 量	生産量	収穫した うちの販 売量	平均的な 販売単価	販売先
75	76	77	78	79(1)	79(2)	80	81	82
販売先コード								
1. 仲買人								
2. 公営農産品市場								
3. 農協								
4. 卸売り市場								
5. 隣人								
6. ほか:( )								

83	最近12か月間で家畜飼育を行いましたか？	1. はい 2. いいえ									
84	家畜飼育に係る年間費用を教えてください。	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>成育用家畜購入費</td> <td></td> <td>Lps.</td> </tr> <tr> <td>飼料購入費</td> <td></td> <td>Lps.</td> </tr> <tr> <td>ほか( )</td> <td></td> <td>Lps.</td> </tr> </tbody> </table>	成育用家畜購入費		Lps.	飼料購入費		Lps.	ほか( )		Lps.
成育用家畜購入費		Lps.									
飼料購入費		Lps.									
ほか( )		Lps.									
85	家畜飼育をしていない場合、その理由。	A. 成育用家畜を購入する資金不足 B. 家畜用飼料購入資金不足 C. 知識不足 D. もうからない E. 労働力不足 F. ほか: _____									

**家畜飼育を行う世帯向けの質問**

家畜種	従事者	家畜数	家庭内での消費数(最近12カ月)	販売した数(最近12か月間)	販売金額(一頭あたり)	販売先
86	87	88	89(1)	89(2)	90	91

**86 の回答選択肢:**

1. 鶏
2. ヒヨコ
3. アヒル
4. シチメンチョウ
5. 豚
6. 山羊
7. ウサギ
8. 魚類
9. 蜂
10. イグアナ
11. ウズラ
12. 羊
13. その他( )

**91 の回答選択肢**

1. 仲買人
2. 牧畜業組合
3. 卸売業者
4. 隣人
5. その他( )

92	事業(ビジネス)をしていますか？	1. はい (質問94へ) 2. いいえ (質問93へ)		
93	事業を行っていない場合、その理由は？	A. 起業するよりも就労するほうがいい B. 知識不足 C. 資金不足 D. もうからない E. 労働力不足 F. ほか: _____		
94	事業に必要な年間費用を教えてください。	原材料購入費		Lps.
		販売関連費用		Lps.
		その他の操業費用		Lps.



**ビジネスを行う世帯向けの質問**

業種	従事者	年間売上げ	在庫金額	販売先
95	96	97	98	99

ビジネスのための資産・機材(マシンなど)	資産の数	単価(原価)
100	101	102

**住居**

103	廊下や浴室をのぞき、住居の部屋数はいくつですか？	/__/_/
104	いくつの部屋を寝室に使っていますか？	/__/_/
105	主な屋内照明の方法は？	1. 公的配電サービスによる電気 2. 民間配電サービスによる電気 3. 自家発電による電気 4. ガス照明 5. ろうそく 6. たいまつ 7. ソーラーパネル 8. その他 ( _____ )

106	調理の主な熱源は？	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 薪</li> <li>2. 炭</li> <li>3. ガス</li> <li>4. プロパンガス</li> <li>5. 電気</li> <li>6. その他 ( _____ )</li> </ol>
107	調理器具は？	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. かまど</li> <li>2. ストーブ</li> <li>3. その他 ( _____ )</li> </ol>
108	住居壁の素材	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 壁なし</li> <li>2. ヤシ/竹</li> <li>3. 石</li> <li>4. 日干し煉瓦</li> <li>5. 未加工木材</li> <li>6. 土</li> <li>7. 廃材</li> <li>8. 煉瓦</li> <li>9. セメントまたはコンクリート</li> <li>10. 加工木材</li> <li>11. 石とセメント</li> <li>12. プレハブ</li> <li>13. その他 ( ): _____</li> </ol>
109	住居天井の素材	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. わら、やしなど</li> <li>2. 木材</li> <li>3. 廃材</li> <li>4. 工業資材</li> <li>5. 亜鉛板</li> <li>6. アルミ板</li> <li>7. コンクリート</li> <li>8. アスベスト板</li> <li>9. 泥</li> <li>10. セメント</li> <li>11. その他 ( _____ )</li> </ol>

110	住居床の素材	1. 土間 2. セメント 3. 未加工木材 4. 煉瓦 5. 泥 6. 加工木材 7. タイル 8. 小石 9. セラミックス 10. その他 ( _____ )
111	住居は所有していますか、それとも賃貸ですか？	1. 所有(支払済) 2. 所有(支払中) 3. 借家 4. 無償賃借 5. 労働の対価として贈与 6. 所有権のない土地に不法に建築
112	所有・賃貸などの場合、名義人は？	A. 回答者 B. 父 C. 母 D. 配偶者 E. 息子 F. 娘 G. その他 ( _____ )

**ほかの生活資産**

生活資産(バイク、家具など) 113	数 114	単価 115

116 生活や生計活動において、どのような難しさがありますか？

特に問題を感じている項目を全体から5つ選んでください。

農業・ビジネスや就業(生計活動)	農業やビジネスにおける生産性の問題	
	農業やビジネスにおける機材の不足	
	新たな生産技術の適用困難性	
	農業やビジネスにおける生産および販売の計画の難しさ	
	会計の難しさ	
	農業やビジネスにおける財務管理の難しさ	
	販売が不安定	
	お客さんが見つからない	
	販売条件の難しさ	
	必要な資機材の購入・購入条件の難しさ	
	需要が分からない	
	市場への交通アクセス難	
	就業機会不足	
	就業に必要な技能不足	
外部条件	農業に関わる気象の問題	
	家畜の傷病	
	就業の不安定	
	公共セクターの支援不足	
	治安の問題	
	金融アクセス難	
生活	生活費高	
	隣人との関係難	
	子供の教育問題	
	健康問題	
	衛生的な水へのアクセス	
	家庭内メンバー間の対立	
	栄養問題	
	住居の状況	
	交通手段不足	
	家庭内における自分(女性)の立場の難しさ	
	家計管理の難しさ	
必要なときに必要な生活資金がない		
ほかの困難 ( )		

117	市長から認識されていますか？ (テグシガルパでは質問しない)	1. はい 2. いいえ
118	なにかの団体に所属していますか	1. いいえ 2. コミュニティ活動団体 3. 協同組合 4. 宗教グループ 5. 女性グループ

		6. 他 ( _____ )
119	家庭生活に満足していますか	1. 非常に満足 2. 満足 3. どちらでもない 4. 不満
120	隣人関係などコミュニティ生活に満足していますか	1. 非常に満足 2. 満足 3. どちらでもない 4. 不満
121	家庭の収入・経済生活に満足していますか	1. 非常に満足 2. 満足 3. どちらでもない 4. 不満

### 122 研修受講

世帯の中で、最近 12 か月間、研修(金融教育、生計向上関連研修、社会研修)を受講した人はいますか？ 1.はい、2.いいえ

はいの場合、研修内容

受講した家族メンバー	受講テーマ	実施機関	受講期間	研修場所	有用性 4=極めて有用 3=有用 2=ふつう 1=あまり有用ではない 128
123	124	125	126	127	128

### 129 技術支援および現物支給

最近 12 か月間で受けた技術支援や現物支給を受けましたか？

1. はい、2.いいえ

はいの場合、その内容

受益者  130	受益内容(かまど、家 屋資材の提供、販売支 援など)  131	実施機関  132	有用性 4=極めて有用 3=有用 2=ふつう 1=あまり有用ではない  133

134 何か受けた研修、技術支援、現物支給はあり ますか？	1. はい ( ) 0. いいえ
----------------------------------	------------------------

就業や生計向上に関わる技能

以下の技能がありますか	135 あなた自 身	136 配偶者	137 YES=1, No=0			138 YES=1, No=0		
			長 男	次男	三 男	長女	次 女	三 女
手工芸								
縫製								
販売用トルティーリヤ作り								
販売用の食事作り								
販売世のお菓子作り								
家畜飼育								
乳製品加工								
基礎穀物栽培								
野菜栽培								
養殖								
木材加工								
石工								
商品販売								
英語基礎								
会計基礎								
コンピュータ基礎								
ほか ( )								



ビジネスプランの知識および作成状況

<p>139. ビジネスプランとは何か知っていますか？</p> <p>はいの場合、生計向上のためのビジネスプランはありますか</p>	<p>1. はい 0.いいえ</p> <p>0. 必要を感じない。</p> <p>1. 必要と思うが、考えていない。 2. 計画は作成していないが、ビジョンはある。 3. 具体的な計画を作成しているが、実行していない。 4. 具体的な計画を持ち、実行に移している。</p>
<p>140. ビジネスプランにおいて、生産計画、販売計画、資機材購入計画、財務計画のうち、最初に考慮すべき計画は何でしょうか？</p>	<p>1. 生産計画 2. 販売計画 3. 原材料等物資調達計画 4. 資金調達計画</p>

## 付属資料 7. エンドライン調査質問票（和約版）

注：2017年実施の第1次エンドライン調査の質問票は前出のベースライン調査質問表と同様の質問が多いため、ここでは、2019年の第2次エンドライン調査質問票を掲載する。

0 回答者の情報	回答者コード( ) 回答日( )
回答世帯の居住場所	地区(市街地又は村落部) 市( ) 地区名( ) より狭い地区名( ) 当該地区で活動する家族ガイド(政府普及員)人数( )名  距離 ( ) 市庁舎からの距離 ( ) 最寄り金融機関本支店からの距離 ( ) 最寄り金融機関代理店からの距離 ( ) 最寄りTigoマネー(モバイル電子マネーサービス)代理店までの距離
回答者の基礎情報	ACTIVOモデル参加経緯(旧処置群、旧対照群、新規参加群、未参加群) ID番号( ) 携帯電話番号( ) 氏名( ) 回答者性別(1.女性, 0 男性)
ジェンダーに関わる状況	婚姻状況: 0 独身, 1 (異性と)同居, 2 結婚 夫又は父親の許可なく、外出することができるかどうか。(1 できる, 0できない)
回答者の学歴	1. 基礎教育6年生未満 2. 基礎教育6年生～9年生未満 3. 基礎教育修了 4. 高等学校終了 5. 大学修了(又は、それ以上)
家族構成	家族合計人数( ) うち15歳以上の人数( ) 基礎教育就業前の乳幼児数( )
何か地域の団体に参加しているかどうか?	1. 農村金庫 2. 事業者のグループ 3. 地域農家のグループ 4. 協同組合 5. 町内会運営委員会 6. ほか( ) 7. 参加なし
最近24か月において、ACTIVOモデル以外の支援を受けたことがあるか	1. 学校給食 2. 食糧・生活必需品の配給 3. 住宅資材の配給 4. 「より良い家族」施策による政府支援 5. 教育に関わる支援 6. 保健医療に関わる支援 7. ほか( ) 8. なし
ACTIVOモデルに参加した時点	月( ) 年( )
ACTIVOモデル参加後受けたことのある支援内容は何か?	<b>(該当する項目すべてをマークする)</b> 1. CCT給付 2. 家計管理研修 3. 金融教育 4. 生計向上計画研修 5. 生計向上に関わる技術研修(製パン、くす玉づくり、家畜飼育技能等) 6. コーチング 7. 生業用のアセットトランスファー(現金) 8. 生業用のアセットトランスファー(鶏、オープン等の現物) 9. 市場アクセス支援

1	世帯では貯蓄目標を持っているか？	1はい、0いいえ
2	(1)世帯では家計支出・収入を家計簿やノート類に記録しているか？	2. 月1回以上の頻度で記録している。 1. 記録しているが、頻度は月1回未満である。 0. 記録していない。
	(2)最近12か月間において実践している家計支出管理の方法は何か？	<b>(実践した方法すべてをマークする)</b> 1. 必要な支出と不要不急な支出との区分 2. 不要な支出の削減 3. 必要な支出における支出額削減の工夫 4. 収入と支出とのバランス(資金繰り管理) 5. 家計予算の見直し(数か月後の収入・支出見直し) 6. 緊急時における貯蓄資金の活用 7. 家計支出の意思決定における女性の参画 8. 他(具体的に: )
3	(1)世帯では、貯蓄をしているかどうか？	<b>(該当項目すべてをマークする)</b> 0. 貯蓄はしていない。 1. タンス貯金をしている。 2. 金融機関の口座に預金している。 3. モバイル金融サービスの電子マネー口座に貯金している。 4. 他(具体的に: )
	(2)貯蓄をしている場合、その目的は？	<b>(該当項目すべてをマークする)</b> 1. 緊急時のために、又は収入の少ない時期に対する備え。 2. 住居の増改築・新築のために。 3. 経済活動(自営業、農業、家畜飼育等)の原資を蓄えるために。 4. 子供の教育資金のため。 5. ほか(具体的に: )
4	(1)世帯は、金融口座を持っているかどうか？	3. 口座を持っており、過去3か月以内に預入又は引出をしたことがある。 2. 口座を持っているが、過去3か月以内に預入や引出はしていない。 1. 口座を持っていないが、関心がある。 0. 口座を持っておらず、また関心もない。
	(2)口座を持っている場合、メイン口座の金融機関はどこか？	(一つだけにマーク) 1. パンパル 2. オクシデンテ銀行 3. アトランティダ銀行 4. ピナレホ信用組合 5. サグラダ・ファミリア信用組合 6. ほか(具体的に: )
	(3)世帯の口座残高合計額は、12か月前と比べて増えたかどうか？	2. 増えた。 1. 同水準。 0. 減った。
	(4)口座残高の合計額は？	( ) Lps.
5	世帯では、モバイル金融サービスを利用しているかどうか？	3. 電子マネー口座を有し、12か月以内に、同口座を通じた資金のやり取りを行ったことがある。 2. 電子マネー口座はもっていないが、12か月以内に、モバイル金融サービスの代理店において、送金・支払いサービスを利用した。 1. 過去12か月以内にモバイル金融サービスを利用していないが、利用に関心はある。 0. 過去12か月以内に使ったこともないし、関心もない。
	電子マネー口座を持っている場合、そのプロバイダーは？	1. Tigoマネー 2. TENGO 3. 銀行系
6	世帯において、最近12か月間に使った金融商品・サービスは何か？	<b>(該当項目すべてをマークする)</b> 1. 送金の実施 2. 商業目的での送金受け取り 3. 国内にいる家族・親戚からの送金受け取り 4. 国外にいる家族・親戚からの送金受け取り 5. 公共料金支払い(電気・水など) 6. 融資 7. 保険 8. ほか(具体的に: )  注: 口座預金や電子マネー口座の利用は、他の質問項目でフォローできるので、この質問における回答選択肢に含めていない。

7	世帯において、最近12か月間、新たな生計活動を開始したかどうか？	<b>〔該当項目すべてをマークする〕</b> 1. 新たな農作物の栽培を開始した。 2. 新たな家畜の飼育(養蜂や養殖を含む)を開始した。 3. 新たな自営業(マイクロビジネス)を開始した。(具体的に: ) 4. 新たな被雇用機会を得た。(具体的に: ) 5. なし
	(2) 最近12か月において新規開始された生計手段の数	( )
8	(1) 世帯において、最近12か月間に既存の生計活動手段を強化したかどうか？	<b>〔該当項目すべてにマークする〕</b> 1. 農業を強化した。 2. 家畜飼育(養蜂や養殖を含む)を強化した。 3. 自営業を強化または拡張した。 4. 被雇用収入を伸ばした、又は労働条件を改善した。 5. なし。
	(2) 最近12か月において強化された既存生計手段の数	( )
9	(1) 現在の世帯収入は、12か月前と比べて増減しているか。	2. 増えた。 1. 同水準。 0. 減った。
	(2) 生計のための経済活動の手段の数が幾つあるか？	( ) 家畜種類、農産品種類、自営業種類、被雇用件数を含めたすべての生計手段数
10	世帯の年間収入は？	(1) 被雇用収入 ( ) Lps. (2) 農業利益 ( ) Lps. (3) 家畜による利益 ( ) Lps. (4) 自営業による利益 ( ) Lps.

付属資料 8. プロジェクト・デザイン・マトリックス (2018 年改訂版) (英文)

**Project Design Matrix**

Project Title: Project on Life Improvement and Livelihood Enhancement of Conditional Cash Transfer Beneficiaries through Financial Inclusion

Implementing Agency: Vice-Ministry of Social Integration (SSIS)

Target Group: CCT beneficiary households in targeted municipalities

Period of Project: FEB. 2015 - ABR 2020

Project Site: 5 municipalities (Tegucigalpa in FRANCISCO MORAZAN, Quimistán in SANTA BARBARA, San Rafael in LEMPIRA, Villa de San Francisco in FRANCISCO MORAZAN, Las Vegas in SANTA BARBARA)

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumption
<b>Overall Goal</b>			
The model established for promoting life improvement and livelihood enhancement of CCT beneficiary households is institutionalized for nationwide delivery.	i) The established model is enacted as a law or ordinance. ii) Budget to implement the established model is secured by SSIS/PRAF, municipality and Inter-municipal Council.	i) Enacted law/ordinance ii) Budget plans by SSIS/PRAF, municipality, and Inter-municipal Council	NIL
<b>Project Purpose</b>			
The model is established to promote life improvement and livelihood enhancement for CCT beneficiary households.	i) At least 500 CCT beneficiary households in targeted municipalities start the project activities for life improvement and livelihood enhancement. ii) Guideline in Output 4 is approved by SSIS	i) Activity monitoring record based on activity plans of CCT beneficiary households ii) Approval of the Guidelines	- Security and economic situation in Honduras do not deteriorate significantly. - Financial situations of the local governments do not deteriorate significantly
<b>Outputs</b>			
1. The capacity to manage family budget is enhanced for CCT beneficiary households in targeted municipalities.	1-1. At least 2,000 CCT beneficiary households in targeted municipalities participate in family budget management training. 1-2. At least 1,000 CCT beneficiary households in targeted municipalities manage family budget by keeping household accounts, etc.	1-1. Family budget management training implementation report 1-2. Monitoring the status of family budget management	- Roles and policies of such relevant organizations as SSIS/PRAF and Inter-municipal Council do not change significantly. - Security and economic situation in targeted municipalities do not deteriorate significantly.
2. The access to financial services is improved for CCT beneficiary households in targeted municipalities.	2-1. At least 2,000 CCT beneficiary households in targeted municipalities take financial education. 2-2. Examples and number of cases implemented by financial institutions, etc. provide financial service for CCT beneficiary households. 2-3. At least 1,000 CCT beneficiary households in targeted municipalities open a bank account, and start saving money.	2-1. Financial education implementation report 2-2. Interview survey on financial institutions, etc. 2-3. Monitoring records on the condition of utilizing financial service	- The Honduran government policy on CCT does not change significantly. - Policies on CCT support by other donors concerned do not change significantly.
3. CCT beneficiary households in targeted municipalities acquire skills necessary for life improvement and livelihood enhancement.	3-1. At least 2,000 CCT beneficiary households in targeted municipalities participate in training for life improvement and livelihood enhancement. 3-2. At least 500 CCT beneficiary households in targeted municipalities formulate activity plans for life improvement and livelihood enhancement, including their business plan	3-1. Implementation report on training for life improvement and livelihood enhancement 3-2. Record of monitoring the activities of CCT beneficiary households	
4. By summarizing Outputs 1 to 3, Guidelines are prepared to promote life improvement and livelihood enhancement for CCT beneficiary households.	4. Guidelines for organizations to promote for life improvement and livelihood enhancement for CCT beneficiary households	4. Guidelines	

Activities	Inputs		Pre-Conditions
	The Japanese Side	The Side of Honduras	
<p>1-1. Conduct a participatory survey to confirm the current status of family budget management among beneficiary households in pilot areas.</p> <p>1-2. Plan and Implement family budget management training for beneficiary households in pilot areas.</p> <p>1-3. Monitor/ evaluate the status of family budget management among beneficiary households in pilot areas to revise training contents. Retraining is conducted as needed.</p> <p>1-4. Conduct training to improve the capacity to manage family budget for beneficiary households in target municipalities.</p> <p>1-5. Support family budget management among beneficiary households in target municipalities.</p> <p>2-1. Conduct a participatory survey regarding the status of utilizing financial service/financial literacy among beneficiary households in pilot areas.</p> <p>2-2. Plan and implement financial education for beneficiary households in pilot areas.</p> <p>2-3. Support to acquire international-standard financial technique (microfinance) for financial institutions, etc. in pilot areas.</p> <p>2-4. Share the needs for financial service among beneficiary households with financial institutions, etc. in pilot areas. The project supports development and promotion of use of financial products for beneficiary households by financial institutions, etc..</p> <p>2-5. Conduct training to improve financial access for beneficiary households in target municipalities.</p> <p>2-6. Support actions of beneficiary households in target municipalities to improve financial access.</p> <p>3-1. Conduct a participatory survey on the status of living/livelihood of beneficiary households in pilot areas.</p> <p>3-2. Identify organizations that can provide support necessary for the life improvement and livelihood enhancement and coordinate them for gaining support.</p> <p>3-3. Conduct training for the life improvement and livelihood enhancement for beneficiary households in pilot areas.</p> <p>3-4. Support beneficiary households in pilot areas in order to conduct activities for life improvement and livelihood enhancement.</p> <p>3-5. Monitor/evaluate activities for beneficiary households in pilot areas for life improvement and livelihood enhancement, revises training contents and conduct retraining as needed.</p> <p>3-6. Support training for life improvement and livelihood enhancement of beneficiary households in target municipalities, and activities that lead to the life improvement and livelihood enhancement.</p> <p>4-1. Prepare an overall plan for training for activities in Outputs 1 - 3 to mutually interact and enhance the effect.</p> <p>4-2. Prepare guidelines (draft) to summarize Outputs 1 - 3 and promote the life improvement and livelihood enhancement of CCT beneficiary households.</p> <p>4-3. Share guidelines (draft) to relevant organizations including areas other than the target municipalities to collect comments.</p> <p>4-4. Finalize guidelines in reference to comments from relevant organizations including areas other than the target municipalities, etc.</p>	<p>(i) Experts  • Chief advisor/Life improvement and livelihood enhancement  • Family budget management  • Financial access  • Business Coordination  • Coordinator /Training plans</p> <p>(ii) Training in Japan and/or third countries</p> <p>(iii) Provision of Equipment</p> <p>(iv) Project Activity Cost (budget for Training and hiring NGO)</p>	<p>(i) Assignment of counterparts  (ii) Budget for training  (iii) Equipment and materials necessary for the Project activity  (iv) Project office with necessary equipment  (v) Official authorization and permits necessary for the implementation of the project</p>	<p>Inter-municipal Council and municipality in the targeted area cooperate for the project.</p>

(以上)